

独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業

シンガポールにおける 文化芸術活動に対する支援をはじめとする 文化振興方策等に関する実態調査報告書

報告書 別冊



独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業

シンガポールにおける 文化芸術活動に対する支援をはじめとする 文化振興方策等に関する実態調査

報告書 別冊

関連文献(日本語訳) 目次

■別-1 ナショナルアーツカウンシル

P.1

TAKING SHAPE 年次報告書 2022/2023会計年度 TAKING SHAPE Annual Report FY2022/2023

〈原文献〉

<https://www.nac.gov.sg/about-us/media-centre/annual-reports>

■別-2 ナショナルアーツカウンシル

P.46

シンガポールアーツプラン 2023-2027 Our SG Arts Plan 2023-2027

〈原文献〉

[https://www.nac.gov.sg/docs/default-source/our-sg-arts-plan-\(2023---2027\)/our-sg-arts-plan-2023---2027.pdf](https://www.nac.gov.sg/docs/default-source/our-sg-arts-plan-(2023---2027)/our-sg-arts-plan-2023---2027.pdf)

※日本語訳中、黒に着色されているP1、P2、P3等は、原文献の頁を表しています。

※脚注も原文に従い記載しています。

- 日本語訳の公開は、本調査の報告書としての公開を目的として、一定の条件で発行者から承諾を得ております。
- 原文献に用いられているコンテンツの内、著作権が第三者に帰属する写真・ロゴ・イラスト等は使用しておりません。
- 引用等には、著作権者である発行者にも必ずお問い合わせください。

表紙

ナショナルアーツカウンシル(NAC) TAKING SHAPE 年次報告書 2022/2023会計年度

P2

目次

会長による声明 ...4

CEOによるレビュー...5

カウンシルメンバー...7

上級管理職...9

組織構造...12

一年を振り返って...13

シンガポールアーツプラン(2023-2027年)への移行...15

第1章:創造性の構築...18

第2章:地域社会の強化...28

第3章:リーチの拡大...36

第4章:芸術シーンの展開...40

財務...F1

補遺...A1

(表紙写真:パブリックアート作品「noon (at play)」を体験する来園者。アデリーヌ・クエ(Adeline Kueh)とヘイゼル・リム=シェレゲル(Hazel Lim-Schelegel)による作品。「As You Were」(2022年)の一環としてパブリックアート・トラスト(Public Art Trust)によって委嘱(ブンゴル・ウォーターウェイ・パークにて撮影)。

(写真右:メッシュマインズ(MeshMinds)制作の拡張現実(AR)フィルターが、ウォータールー・リンクにあるRSCLSのストリートアート壁画に命を吹き込む。クレジット: Colossal Pro)

P3

ミッション

社会にインスピレーションを与え、創造性を刺激し、シンガポールと世界を繋ぐ文化芸術分野を推進する

ビジョン

インスピレーションを与える創造的な都市

戦略的成果

つながりのある社会

芸術と文化を共有するための拠点

特色ある都市

芸術に触発される都市、芸術のための都市

クリエイティブエコノミー

芸術的才能、卓越性、革新性を活力とする経済

テクノロジーとイノベーション、データインサイト、パートナーシップによって実現

P4

会長による声明

この1年は、文化芸術分野にとって多事多端で有意義な年でした。広範囲に及んだCOVID-19の流行の影響から世界が回復しつつある中で、その情勢は複雑な社会経済的力学や経済的不確実性によりますます舵取りが難しくなっています。刻々と変化する状況において、芸術は社会の団結力を育み、開かれた対話を促進し、共同体としての希望を反映させる上で、極めて重要な役割を担っています。

次期のシンガポールアーツプランを策定するために文化芸術分野内外のステークホルダーと関わる中で、シンガポール国民が芸術に対して抱いているポジティブなイメージと希望に強く勇気づけられること

がありました。また、2022年の「芸術に関する人口調査」でも、文化芸術分野の堅調な回復が示唆されています。芸術イベントへの物理的な入場者数と参加者数は、COVID-19の流行以前の水準に匹敵するまでに回復しており、芸術への関心が著しく高まっています。

ダイナミックな世界での盛り上がり

2022年、ナショナルアーツカウンシル(National Arts Council、以下、NAC)は、観客を楽しませ、芸術に対する国民の理解を深める魅力的なプログラムを次々と発表しました。COVID-19の規制緩和により、シンガポール・アート・ウィーク(Singapore Art Week, SAW)2023のようなメインイベントが、オンラインではないリアルな開催形式で再び戻ってきました。とはいえCOVID-19の流行以降、オンラインとのハイブリッド形式はニューノーマルとなっており、私たちのプログラムでも芸術の創造および表現において物理的空間とオンライン空間の融合を発信し続けています。例えば2022年のシンガポール国際芸術祭では、過去最多となる11点もの委嘱作品が発表されましたが、バーチャルパフォーマンスとライブパフォーマンスが見事に溶け合い、プラットフォームの垣根を越えて観客の想像力をかき立てるものになりました。

私たちの文化芸術分野が急速に進化するクリエイティブエコノミーの最前線に立ち、日々変化する世界と歩調を合わせられるよう、NACは文化芸術分野の成長と長期的な持続可能性をサポートする機会を大切にしています。その重要なマイルストーンのひとつは、NAC-ユニテッドオーバーシーズ銀行覚書(MoU)の調印です。これは、官民双方のアイデア、リソース、エコシステム・パートナーを統合した戦略的パートナーシップです。このコラボレーションは、芸術家の能力を開花させると同時に、新たな聴衆を取り込むための道のりを開くものでもあります。より多くのパートナーシップとプログラムを確立することで、シンガポールで活気に満ちた、レジリエントな芸術シーンを育成することを目指しています。

日々の生活に芸術の力を

文化芸術団体や芸術家の能力を育成するだけでなく、観客の層を広げ、シンガポールのすべての人々に芸術に対する理解をさらに深めてもらえるよう努力しています。2023年2月、「芸術があなたの毎日を刺激する(The Arts Can Inspire Your Every Day)」キャンペーンを公共スペースで開催し、青少年、高齢者、働く人々、若い家族など、シンガポール社会を支える主要な層の声を届けました。彼らの感動的な物語を通して、芸術がいかに人々の心に触れ、人生を変える力を持っているかを訴え、芸術が持つ深い影響を私たちの集団意識に根付かせることに成功しました。

芸術におけるシンガポールの影響力拡大

2022年、NACは文化芸術政策における世界のオピニオンリーダーとしてのシンガポールの地位を確立しました。文化政策に関する世界会議、通称「Mondiacult2022」(Mondiacult 2022 World Conference on Cultural Policies)や、2022年9月に開催された国際アーツカウンシルおよび文化機関連盟(International Federation of Arts Councils and Cultural Agencies、IFACCA)第8回総会およびリーダーシップサミットなど、権威ある国際会議へ参加することで、文化的ガバナンスやクリエイティブエコノミーに関する世界的な対話へ有意義な貢献をしました。また、名立たる国際的な舞台でも芸術的な才能を披露しており、第59回ビエンナーレ・アルテ2022(59th Biennale Arte 2022)ではシンガポール・パビリオンとして参加しました。このヴェネチアでのイベント参加は今年で10年目の節目を迎えます。この成功を地域のコミュニティと分かち合うために、2023年1月、シンガポール・アート・ウィーク(SAW)の期間中に、シンガポール・パビリオン・リターン・ショー(Singapore Pavilion Return Show)を開催しました。

3,000人を超える来場者を集めたこのショーは、シンガポールの人々に芸術を楽しんでもらいたいというNACの献身的な姿勢を示すとともに、芸術が共有体験を通じてより大きなコミュニティを結びつけることを証明しています。

エキサイティングな時代はすぐそこに

今後の予定としては、シンガポールアーツプラン(2023-2027年)が新たに始まることにより、文化芸術分野にとって計り知れない成長と機会の場が到来します。この計画は、多くのステークホルダーとの1年にわたる対話や意見収集のプロセスを経て策定されました。シンガポールの芸術シーンがますます盛んになり、多様性を増し、集団所有や社会的支援の強化によって発展していくための指針となることでしよう。

この会計年度における当アーツカウンシルの功績を振り返り、当時のNACのCEOであったローザ・ダニエル(Rosa Daniel)に心から感謝の意を表したいと思います。彼女は過去6年間にわたり先見のリーダーシップを発揮し、強靱な文化芸術分野の育成に極めて重要な役割を果たしました。今後は現CEOであるロー・エン・ティオン(Low Eng Teong)が、文化芸術分野を支援するために、引き続きアーツカウンシルにおいて貢献し、シンガポールの芸術を新たな高みへと導いてくれると確信しています。

ゴー・スイー・チェン(Goh Swee Chen)会長

P5

CEOによるレビュー

COVID-19の流行によってかつてないほど大きな課題がもたらされたにも関わらず、芸術シーンは近年、成熟の一途を辿っています。私たちは、アートプラクティショナーたちの回復力と適応力に日々勇気づけられ、励まされています。彼らは芸術的革新のための新たな道を見出すために、その作品と創造性において揺るぎない献身を示してくれました。

今年の年次報告書のテーマ「Taking Shape」は、NACの次のステージでの活動や抱負を的確に表現しています。アーツプランの第2弾であるシンガポールアーツプラン(2023-2027年)が始動しましたが、これは芸術発展に向けたNACの優先事項を盛り込んだ第1弾のシンガポールアーツプラン(2018-2022年)で達成された成果を振り返る良い機会だと考えています。第1弾の計画では、芸術が今後も繁栄し、シンガポール国民の生活を豊かにできるような、輝かしい未来のための基盤が築かれました。

主要プログラムの維持

2022年、シンガポールは重要な節目を迎えましたが、私たちは引き続き独自のプログラムによってシンガポールの力強い芸術シーンに貢献しています。2022年11月に開催された第25回シンガポール・ライターズ・フェスティバル(Singapore Writers Festival)では、シンガポール国内外の作家や講演者475名が、200を超えるプログラム(リアルとオンライン合わせ)を通じて、数多くの素晴らしい作品を披露しました。また、毎年恒例の「文化勲章およびヤング・アーティスト賞(Cultural Medallion and Young Artist Award, CMYAA)」を通じて、優れた芸術家たちを評価し、表彰しました。NACは年間を通してレジデンスプログラムや教育プログラムを提供し、芸術家が能力を高め、芸術的な可能性をさらに伸ばせるよう支援し、後押ししています。さらに、2023年3月には、多様な文化芸術コンテンツを取り揃えたシンガポール初のプラットフォーム「Catch」のベータ版がスタートしました。個人向けのレコメンデーションや芸術コンテンツの紹介を通じて、シンガポール国民にとって芸術がより身近で魅力的なものになることを期待しています。

すべての人に芸術を

NACの中心となる目標は、芸術を鑑賞し、参加する機会をすべての人に提供することであり、多様な観客層の取り込みにおいて目覚ましい成果を達成しています。2022年9月から12月にかけて開催された「#SilverArts」という高齢者向けプログラムでは、高齢者に芸術制作の現場に参加する機会を提供しました。また、美術館ベースの学習(アート)プログラム(Museum-Based Learning (Art) programme)では、ナショナルギャラリーシンガポールが企画したガイドツアーを通じて、32,000人以上の小学生がシンガポールの芸術に触れる機会を得ることができました。

また、より多くの観客に芸術を楽しんでもらうため、シンガポール政府観光局をはじめとする4つの機関と提携して、2022年6月に第1回ウェルネス・フェスティバル・シンガポール(Wellness Festival Singapore)を開催しました。このような取り組みは、芸術を取り巻く産業の活性化につながる可能性をもっており、芸術とより大きな関連経済との間の相乗効果を生み出す新たな道を切り開いています。

ロー・エン・ティオン(Low Eng Teong)最高経営責任者

P6

CEOによるレビュー 芸術の持続可能性を確保

私たちは引き続きさまざまな手段を通じて、シンガポールにおける芸術の持続的な成長を推進することに尽力して参ります。また、芸術への支援プログラムを通じて芸術家にインセンティブを付与できるよう、「文化マッチングファンド(Cultural Matching Fund)」を運営しています。これは、芸術や遺産関連の慈善団体へ個人が現金寄付を行った場合、1ドル単位で同額の助成金を提供するプログラムです。同ファンドは、2022年4月からさらに1億5,000万ドルもの出資を受け、当アーツカウンシルが地域の芸術シーンのオーナーシップを共有することを可能にしています。

地域の芸術シーンのアウトリーチを拡大するというコミットメントのもと、芸術家に国際的な発表の場からの収穫を得られるような機会についても模索しています。2022年7月、在シンガポール・フランス大使館とMoUを締結し、今後5年間にわたる二国間のアーティスト・イン・レジデンス・プログラム(Artist-in-Residency Programme)の創設を支援しています。

芸術の勢いを維持

2021年7月から2023年2月にかけて、16,500人以上のステークホルダーとシンガポールアーツプラン(2023-2027年)を共同策定する取り組みを行いました。そこで私たちは市民からの提案やフィードバックに強く心を打たれ、シンガポール人の生活における芸術の関連性を再認識致しました。芸術の中心にあるのは人々であり、芸術にはすべてのシンガポール人に帰属意識を共有させる力があると信じています。そのために、私たちは芸術家、ステークホルダー、そして一般の方々との強い関係を育み続け、芸術を通じたつながりを強化するために協力していきます。

私たちは、都市の中心部から内陸部に至るまで、人々が芸術にアクセスできる手段をどのように国内に組み込むことができるかを探索して参ります。これは、シンガポールの芸術が、私たちが誇りを持って故郷と呼んでいる、この特徴的な都市景観に貢献してほしいと願う私たちのビジョンにも結実するものです。私たちはまた、芸術の新たな可能性を探るためにも、官・民・人のセクター間のより大きな協力関係を促進することに重点を置きながら、クリエイティブエコノミーを構築するための機会を、より熱意を持って求めていきたいと思っています。テクノロジーとデータは、これからも芸術を変革する力となることでしよう。

私たちは今後もテクノロジーを活用し、芸術の創造や表現において革新的なアプローチを探索していきます。

全体として、シンガポールアーツプラン(2023-2027年)の次章へと、私たちはこれまで手に入れた勢いを維持しつつ、新たな高みへと推し進めていきます。

内部能力の強化

シンガポールアーツプラン(2023-2027年)の一環として構想されている文化芸術分野全体の発展を推進するためにも、当アーツカウンシルは内部からも進化を続けています。戦略的パートナーシップ&エンゲージメントチームを設立し、官・民・人の各セクター間のパートナーシップと相互融合の道をさらに模索しています。

さらに、テクノロジー&イノベーションチームがテクノロジーを通じて文化芸術分野および内部の変革を推進する一方で、専門のインセンティブポリシーチームは助成制度の方針とプロセス管理を検討します。これらの変更により、ステークホルダーは、より効率的なプロセス、支援の拡大、そして技術力を磨き、観客にインスピレーションを与える機会を得ることができるでしょう。

これからを見据えて

今後の展開を期待しながら、私たちはシンガポールの人々が文化芸術分野の未来を楽しみ、芸術を支援し続けてくれることを心から願っています。シンガポールの街並みを彩る芸術やそれによって生まれるつながり、より広範なクリエイティブエコノミーと芸術の統合などにより、芸術の卓越性や情熱が花開く機会は無限に広がっています。

芸術活動を始めたばかりの学生であれ、個人的・職業的な成長の道を模索しているアートプラクティショナーであれ、文化芸術分野の創造的な可能性を活用するために協力の機会を求めている企業経営者であれ、次期シンガポールアーツプラン(2023-2027年)は、すべての人に貴重な機会を提供します。

当アーツカウンシルを代表し、芸術家の皆様、一般の方々、そして芸術の未来を形成するためにさまざまな対話に貢献してくださったすべての関係者の皆様に、心から感謝の意を表したいと思います。また、私たちが毎年活気ある芸術シーンを展開できるよう、国家資源を提供し、揺るぎない支援を送ってくださった文化コミュニティ青年省(MCCY)には、心より感謝の意を表したいと思います。

P7

カウンシルメンバー

会長 ゴー・スイー・チェン(Goh Swee Chen)
南洋理工大学理事会会長(Chairman, Nanyang Technological University, Board of Trustees)

副会長 ウィルソン・タン(Wilson Tan)
アーツ・ハウス会長(Chairman, Arts House Limited)

ベアトリス・チアーリッチモンド(Beatrice Chia-Richmond)
プレスプレイ クリエイティブディレクター(Creative Director, Presplay Pte Ltd)

ウォーレン・フェルナンデス(Warren Fernandez)
エデルマン アジアパシフィック最高経営責任者(Chief Executive Officer, Asia Pacific, Edelman)

ロー・エン・ティオン(Low Eng Teong)
ナショナルアーツカウンシル最高経営責任者
(Chief Executive Officer, National Arts Council)

シャロン・アン(Sharon Ang)
保健省グループディレクター(企画)
(Group Director (Planning), Ministry of Health)

ゴー・ゲオク・チェン(Goh Geok Cheng)

アズマン・ジャアファル(Azman Jaafar)
RHT法律事務所 Asia マネージングパートナー (Managing Partner, RHTLaw Asia LLP)

P8

カウンシルメンバー

アン・リー(Arne Lee)
ボーエン・エンタープライズ投資ディレクター(Investments Director, Bowen Enterprises Pte Ltd)

リョウ・チニョン・ジョセフ(Liow Chinyong Joseph)教授
南洋理工大学(NTU)人文・芸術・社会科学部 学部長(Dean, College of Humanities, Arts and Social Science, Nanyang Technological University)

カレン・テオ(Karen Teo)
グーグルAPAC 地域 アンドロイド パートナーシップ担当副社長
(Vice President, Android Partnerships (APAC), Google)

ウォン・ティエンホア(Wong Tien Hua)博士
ミューチュアルヘルスケア ディレクター(Director, Mutual Healthcare Pte Ltd)

タン・チェン・キー(Tan Chen Kee)
文部省教育局次長(学校)兼学校局長(Deputy Director-General of Education (Schools) & Director of Schools, Ministry of Education)

タン・ケイ・ニー(Tan Kay Ngee)
ケイ・ニー・タン・アーキテクト プリンシパルアーキテクト(Principal Architect, Kay Ngee Tan Architects)

ワウアブ・ユソフ(Wahab Yusoff)
レカネクスト・キャピタル・パートナーズ設立パートナー/CEO代理
(Founding Partner / Acting CEO, Rekanext Capital Partners Pte Ltd)

P9

上級管理職

ロー・エン・ティオン(Low Eng Teong)
最高経営責任者(Chief Executive Officer)

リネット・パン(Lynette Pang)
副最高経営責任者(Deputy Chief Executive Officer)

バノン・ジーン(Bannon Jean)
ワークプレイス
責任者(Head, Workplace)

アリス・コー(Alice Koh)
財務、文化マッチングファンド
最高財務責任者(Chief Financial Officer, Finance, Cultural Matching Fund)

アルナ・ジョンソン(Aruna Johnson)
文芸、アクセス&コミュニティエンゲージメント
ディレクター(Director, Literary Arts, Access & Community Engagement)

クララ・ダイオ(Clara Dyeo)
ポリシー&プランニング
ディレクター代理(Acting Director, Policy & Planning)

メイ・タン(May Tan)
教育&人材開発
ディレクター(Director, Education & Manpower Development)

P10

上級管理職

レベッカ・リー(Rebecca Li)
人材と組織文化
ディレクター(Director, People & Culture)

サブリーナ・チン(Sabrina Chin)
インフラ計画&開発
ディレクター(Director, Infrastructure Planning & Development)

シャロン・チャン(Sharon Chang)
データ&リサーチ
チーフ・リサーチ・オフィサー(Chief Research Officer, Data & Research)

テイ・トン(Tay Tong)
ビジュアルアート
ディレクター(Director, Visual Arts)

サム・レイ(Sam Lay)
戦略的パートナーシップ&エンゲージメント
ディレクター(Director, Strategic Partnerships & Engagements)

セレーネ・リム(Serene Lim)
パフォーミングアート、インセンティブポリシー
ディレクター(Director, Performing Arts, Incentive Policy)

ビクター・アン(Victor Ang)
テクノロジー&イノベーション
ディレクター(Director, Technology & Innovation)

P11

上級管理職

ビクター・レオン(Victor Leong)
内部監査責任者(Head, Internal Audit)

ヨー・フィー・スアン(Yeoh Phee Suan)
戦略的コミュニケーション&マーケティング
ディレクター(Director, Strategic Communications & Marketing)

ザキ・ジュマリ(Zaki Jumahri)
法務
部長(Head, Legal)

P12

組織構造

最高経営責任者
ロー・エン・ティオン

人材と組織文化
ディレクター
レベッカ・リー

内部監査
責任者
ビクター・レオン

アートエコシステムグループ
パフォーミングアート、インセンティブポリシー
ディレクター
セレーネ・リム

ビジュアルアート
ディレクター
テイ・トン

文芸、アクセス&コミュニティエンゲージメント
ディレクター
アルナ・ジョンソン

教育&人材開発
ディレクター
メイ・タン

インフラ計画&開発
ディレクター
サブリーナ・チン

副最高経営責任者
リネット・パン

イノベーション&プランニンググループ

ポリシー&プランニング
ディレクター代理
クララ・ダイオ

データ&リサーチ
チーフ・リサーチ・オフィサー
シャロン・チャン

戦略的パートナーシップ&エンゲージメント
ディレクター
サム・レイ

戦略的コミュニケーション&マーケティング
ディレクター
ヨー・フィー・スアン

テクノロジー&イノベーション
ディレクター
ビクター・アン

コーポレートデベロップメントグループ

財務、文化マッチングファンド
最高財務責任者
アリス・コー

ワークプレイス
責任者
パノン・ジーン

法務
部長
ザキ・ジュマリ

2017年8月1日から2023年2月28日までの任期を務めたローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前最高経営責任者に感謝の意を表する。

P13

一年を振り返って

2022年シンガポール国際芸術祭(Singapore International Festival of Arts 2022)

2022年シンガポール国際芸術祭(SIFA2022)では、シンガポールのライブパフォーマンスが力強く復活しました。地元デザイナー、シンガポール華楽団(Singapore Chinese Orchestra)、ボルネオ文化機関(Borneo cultural agency)、ツヤン・イニシアチブ(The Tuyang Initiative)によるコラボレーション作品「MEPAAN」(於: パシル・パンジャン発電所(Pasir Panjang Power Station))など、過去最多の11作品が上演されました。

(写真上: シンガポール華楽団とツヤン・イニシアチブによるMEPAAN)

クレジット: Arts House Limited

フランス大使館 - NAC MoU調印式

在シンガポール・フランス大使館とNACは2022年7月、5年間の覚書(MoU)に調印し、視覚芸術、文学芸術、舞台芸術の分野において文化芸術機関による二国間のアーティスト・イン・レジデンス・プログラム(Artist-in-Residency Programme)の創設を支援することを約束しました。

(写真上: 二国間のレジデンスプログラムに関する覚書に署名するマルク・アベンスール(Marc Abensuur)フランス大使とローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC CEO)

シンガポール・ライターズ・フェスティバル2022(Singapore Writers Festival 2022)

旧国会議事堂の敷地内に建てられたアート施設「ザ・アーツハウス(The Arts House)」の前庭に設置された虹色の看板が来場者を魅了しました。

クレジット: Arts House Limited

NAC - UOB MoU調印

ユナイテッドオーバーシーズ銀行(United Overseas Bank、UOB)副会長兼CEOのウィー・イー・チョン(Wee Ee Cheong)とNACのローザ・ダニエル(Rosa Daniel)。3年間にわたるパートナーシップの調印式にて。本パートナーシップにおいては、芸術団体がより持続可能かつ永続するキャリアを築き上げ、観客の裾野を広げ、社会的にプラスの影響を与えるアートプロジェクトのコラボレーションを実現できるように支援します。

クレジット: United Overseas Bank(UOB)

#SilverArts

2022年、NACは社会セクターや地域パートナーと手を結び、芸術家が高齢者と関わる機会を創出しました。芸術制作の現場に参加することで、高齢者たちは、自らの多様な背景からの視点を芸術家と共有し、絆を深めるユニークな体験を生み出し、芸術への理解と認識を深めることができました。

(写真上: シルバーアーツ2022の一環としてアングリカン・シニアセンター(イー・シェン)で開催されたシニア参加型プログラム「物語を語り、思い出を分かち合おう(Telling Your Stories, Sharing Your Memories)」の最終日にクイズを披露する高齢者たち。

クレジット: Singapore Chinese Cultural Centre)

P14

一年を振り返って

グロウイング・ホーム - アーツプランとあなたについてのショーケース

NACはグロウイング・ホーム: アーツプランとあなたについてのショーケース(Growing Home: A showcase about Arts Plan and You)というイベントを開催し、地域の芸術シーン発展のための次の5年間のマスタープランを構築するために一般市民を招き、意見を交換するインタラクティブな場を提供しました。第1回は2023年1月6日から15日までシビック・ディストリクトのザ・アーツハウスで、第2回は2023年2月10日から12日までワン・ブンゴル(One Punggol)で開催されました。

クレジット: Island Boys

#ArtsInYourNeighbourhood

テロック・ブランガー地区(Telok Blangah)の住民たちが集まり、そこでの生活について語り合いました。これをヒントに、3ヶ月にわたって自分たちの家のミニチュアユニット、好きな食べ物、共有のコミュニティスペースをペーパークラフトで制作しました。これらの作品はアート・インスタレーションとしてまとめられ、テロック・ブランガー・マーケット(Telok Blangah Market)とフード・センター(Food Centre)に展示されました。

(写真上: Better2Gatherのプロデューサーのラリー・ヨン(Larry Yeung)、芸術家でイラストレーターのシェリル・テオ(Cheryl Teo)、西海岸GRC(テロック・ブランガー)のレイチェル・オン(Rachel Ong)議員、および#ArtsInYourNeighbourhood Creditの一環としてBetter2Gatherの立ち上げに参加した参加者と来場者たち。

クレジット: Participate in Design)

2022年文化勲章およびヤング・アーティスト賞(Cultural Medallion and Young Artist Award 2022)

「2022年文化勲章およびヤング・アーティスト賞」の受賞者。(1列目左から)ローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC CEO、エドウィン・トン(Edwin Tong)MCCY大臣兼第二法相、ハリマ・ヤコブ(Halimah Yacob)元大統領、ゴー・スイー・チェン(Goh Swee Chen)NAC会長、ロー・イェン・リン(Low Yen Ling)MCCY大臣兼通商産業大臣、リー・トゥン・ジーン(Lee Tung Jean)MCCY(文化・スポーツ)次官

シンガポール・アート・ウィーク2023(Singapore Art Week 2023)

「S.E.A. Focus」の来場者たち。「シンガポール・アート・ウィーク2023」の一環として、STPI - クリエイティブ・ワークショップ・アンド・ギャラリー(STPI Creative Workshop and Gallery)が開催した東南アジアの現代アートに特化したショーケースとキュレーションプラットフォームです。

P15

シンガポールアーツプラン(2023-2027年)への移行

シンガポールのアートの次の5年を形成

シンガポールアーツプラン(2018-2022年)の最初の5年間のロードマップでは、文化芸術分野のビジョンが示されました。文化芸術分野の進むべき道を示すために、以下のような3つの戦略的柱と8つの重要な優先事項が特定されました:

3つの戦略的柱

- 人々を鼓舞する
- 地域社会をつなぐ
- 世界におけるシンガポールの地位の確立

8つの重要な優先事項

- ・シンガポールの芸術をリードし、擁護するNACの役割を強化
- ・成長する観客への注力を強める
- ・文化芸術分野における多様な能力の構築
- ・フリーランスの芸術家に対するセクター全体での支援
- ・芸術制作とアウトリーチ活動を向上させるためのテクノロジーの活用
- ・文化芸術分野における研究の強化
- ・芸術が社会に与える影響を最大化するためのプログラムデザインの強化
- ・シンガポールの芸術を国外へ

フェーズ1&2: フォーカスグループディスカッション&エンゲージメント

開催日 2021年7月～2022年7月

二部制のイベントの一環として、約1,000人のステークホルダーがバーチャルおよびオンラインでのフォーカスグループディスカッションに参加しました。一部では、ステークホルダーが考える文化芸術分野のあるべき姿について、さまざまな領域にわたる知見を共有しました。二部では、共有された洞察を分析し、シンガポールアーツプラン(2023-2027年)に向けて提案された戦略的柱を深く掘り下げました。本イベントにはアートプラクティショナーや官・民・人からのステークホルダーが参加しました。共有された洞察とフィードバックは、2022年11月に一般公開された計画案に反映されています。

(左から): エメリン・ヨン(Emmeline Yong)、マー・ヤンリン(Ma Yanling)、ダニエル・ゴー(Daniel Goh)、メイ・アンダーソン(Mae Anderson)、キャスリーン・ディツィグ(Kathleen Ditzig)、エドウィン・トン(Edwin Tong) MCCY大臣兼第二法相
クレジット: Colossal Pro

P16

シンガポールアーツプランへの移行

フェーズ3: アーツプランから始めよう - 対話形式のウォーキングツアー

開催日 2022年7月28日～8月2日

場所 ウォータールー・ストリート・アート・ベルト(Waterloo Steet Arts Belt)

リーチ 300

協賛 クリエイティブ・パートナー: マーク・ナイール(Marc Nair)、ユージン・ソー(Eugene Soh)、ショーン・コウ(Shaun Koh)、メッシュマインズ(MeshMinds)

パフォーマンス・パートナー: マヤ・ダンス・シアター - ダイバーズ・アビリティーズ・ダンス・コレクティブ、ストロベリー社

会場パートナー: ザ・シアター・プラクティス(住所: 42ウォータールー・ストリート)、ナショナル・デザイン・センター、スタンフォード・アート・センター

ウォータールー・ストリート・アート・ベルト沿いの11回にわたるオーディオツアーに約300人の関係者が参加しました。このオーディオツアーは、シンガポールアーツプラン(2023-2027年)の3つの柱を織り交ぜて行われました:

- ・メッシュマインズ作成の拡張現実(AR)フィルターが、ウォータールー・リンクにあるRSCLSのストリートアート壁画に命を吹き込みました。
- ・ストロベリー社によるゲームショーのスケッチを通して、クリエイティブエコノミーの可能性を探ります。国境を越えたプロジェクトや、異なるセクターの垣根を越えてスキルを発揮したアーティストたちが集結しました。
- ・マヤ・ダンス・シアターの「ダイバーズ・アビリティーズ・ダンス・コレクティブ」によるダンスパフォーマンスで、「つながりのある社会」を提唱しました。

本ショーケースは短編映画「インターバル: シンガポールの芸術シーンからの声」で幕を閉じました。本作品では、アートプラクティショナーが今後5年間、そしてそれ以降のシーンを形成するためにどのように協力しあえるかを共有しました。またツアーの最後には、参加者がシンガポールアーツプラン(2023-2027年)についての意見を交換しました。

(写真上: ロー・イェン・リン(Low Yen Ling) MCCY貿易産業省大臣をはじめ、各関係者がナショナル・デザイン・センターのオーディオ・ウォーキング・ツアーに参加。

クレジット: Ministry of Culture, Community and Youth)

フェーズ4: 公開イベント、リスニングポイントおよび「アーツプラン」のウェブページ

開催日 2022年11月～2023年2月

場所 各地

リーチ 15,000人以上

協賛 リスニングポイント: 通信情報省(MCI) REACH TAPロードショー: ワン・ブンゴル(One Pungol)、ザ・アーツハウス

一般の人々の芸術への参加を促すため、NACは「グローイング・ホーム: アーツプランとあなたについてのショーケース」を開催し、100人近いアーティストが参加しました。本イベントはザ・アーツハウス(2023年1月6日～15日)とワン・ブンゴル(2023年2月10日～12日)で開催され、さまざまな層にアプローチすることができました。

また、政府のフィードバックユニットである「REACH」と提携し、2回のリスニングポイントを設定しました。まず2022年11月21日から12月9日まで、デジタル調査で若者の意見を収集し、2023年1月14日に複合施設「ハートビート@ベドック」で高齢者の意見に耳を傾けるためのフィードバックブースを会場に設置しました。2022年11月から2023年2月にかけて、計15,000人以上の一般市民が参加しました。

NACはまた、2022年12月から2023年2月にかけて、TAPウェブページを開設し、一般市民が計画案の内容を確認し、フィードバックフォームを通じて意見を投稿できるようにしました。

(写真下: 通信情報省・保健省上級国務大臣であり、パシリス・ブンゴルGRCの国会議員でもあるジャニル・プーチャーリー博士(Dr Janil Puthucheary)は、ワン・ブンゴルでのアーツプランのロードショーに参加。

クレジット: Island Boys)

P17

シンガポールアーツプラン(2023-2027年)への移行

本プランでは、アートプラクティショナー、後援者、官・民・人のステークホルダーを含む16,500人以上からのフィードバックにより、3つの戦略的柱を特定しました。芸術の卓越性とそれに関わる観客が、持続可能な芸術エコシステム構築の中核となることを目指しています。

つながりのある社会

つながりのある社会: 私たちシンガポール人のアイデンティティが共有の芸術と文化に支えられ、さまざまなライフステージにあるあらゆる経験をもつ国民が、より質の高い芸術プログラムを楽しみ、参加できるようになります。

特色ある都市

特色ある都市: 芸術によって空間が活気づき、シンガポールを魅力的な故郷・魅力的な目的地とすることに貢献します。芸術が慣れ親しんだ空間に新たな命を吹き込み、シンガポールを象徴的な文化都市へと変化させます。

クリエイティブエコノミー

クリエイティブエコノミー: 文化芸術分野が、芸術的才能、卓越性、革新性、そしてより大きなクリエイティブ産業との緊密な協力関係によって活性化されます。

P18

第1章:
創造性の構築

芸術は私たちの日常の一部です。芸術専用のスペースだけでなく、私たちの生活、仕事、遊びの場にも融合しています。シンガポールの芸術家を支援し、応援するために、私たちはシンガポール各地に、芸術家が腕を磨き、作品を展示し、来場者とより良い関係を築けるようなスペースを作り上げました。私たちの目標は、クリエイティブな芸術家たちを国内外の適切なパートナーや機会と結びつけ、彼らがその領域において生き生きと活躍できるようにすることです。

クレジット: Arts House Limited

シンガポール華楽団とツヤン・イニシアチブによるMEPAAN

クレジット: Arts House Limited

P19

第1章: 創造性の構築 > フェスティバルとプログラム > 文芸

シンガポール・ライターズ・フェスティバル2022(Singapore Writers Festival 2022)

開催日 2022年11月4日～20日

場所 リアルな会場(ザ・アーツハウスその他)およびオンライン会場

リーチ 46,000人以上

協賛 Arts House Limited

Arts House Limitedが主催し、NACが業務を請け負った「シンガポール・ライターズ・フェスティバル(SWF)2022」は、芸術イベントが徐々にリアルな会場へと戻ってきたことを示すものとなりました。節目となる25回目の開催となったSWF2022では、期間を延長して3週間の週末にわたって、200以上のリアルおよびオンラインプログラムを通じて、475人のシンガポール人と国際的な作家やプレゼンターが参加しました。

ヒューゴー賞(Hugo)やネビュラ賞(Nebula)を受賞したSF作家のテッド・チャン(Ted Chiang)や、英国王立文学会フェローの高名な作家であるジャンネット・ウィンターソン(Jeanette Winterson)など、多彩な作家やプレゼンターが名を連ねました。他にもシュビギ・ラオ(Shubigi Rao)、ウォン・コイ・テット(Wong Koi Tet)、ハメッド・イスマイル(Hamed Ismail)、スリヤ・レスナナ(Suriya Rethnna)といった地元出身の受賞作家も参加しています。

フェスティバルのハイライトは以下の通り:

- ・ラジャ・アイシャ・スライマン(Raja Aisyah Sulaiman)、アディバ・アミン(Adibah Amin)、ハディジャ・ラーマット博士(Dr Hadijah Rahmat)、サエダ・ブアン博士(Dr Sa'eda Buang)、ラシア・ハリル(Rasiah Halil)、クンプラン・ベバス・メラタ(Kumpulan Bebas Melata)といった先駆けとなるマレー人女性作家を紹介するSWF文学パイオニア展
- ・文化勲章受章者またはその代理人による多言語朗読会
- ・青年キュレーターをプログラム開発に参加させた過去の成功に基づき、プログラムセッションに青年モデレーターを招聘

(写真上: シンガポール・ライターズ・フェスティバルが今年も会場数を増やして開催され、会場は読者や作家、愛書家たちで賑わいました。クレジット: Arts House Limited)

NAC-NLBワンストーリープロジェクト 2022-2023
(NAC-NLB One Story Project 2022-2023)

開催日 2022年7月～2023年5月31日

場所 NLB図書館(シンガポール全域)およびオンライン会場

リーチ 波及中

協賛 国立図書館庁(National Library Board: NLB)

「NAC-NLBワンストーリープロジェクト」は、シンガポール人作家が執筆した小説『蹲向传统或坐看现代』(伝統のためにしがみ、現代のために座る、Squat for Tradition, Sit for Modernity)の翻訳と出版を支援しました。文化勲章受章者(Cultural Medallion)であるチア・ジュウミン(Chia Joo Ming)による本作品は、3つの言語に翻訳・出版されるとともに、この物語を題材にした公共プログラムをスタートし、一般市民の読書を奨励しました。2023年2月25日に出版記念イベントが開催され、『ワンストーリー(One Story)』シリーズ第3弾が紙媒体とデジタル媒体の両方で発売されました。

(写真下: 2023年2月25日、『ワンストーリー』シリーズ第3弾『蹲向传统或坐看现代』を発表。(左から)ウン・チャー・ポン(Ng CherPong)国立図書館庁CEO、チア・ジュウミン(Chia Joo Ming)文化勲章受章者および本作品著者、ロー・エン・ティオン(Low Eng Teong)NAC CEO
クレジット: National Library Board)

P20

第1章:創造性の構築 > フェスティバルとプログラム > パフォーミングアート

シンガポール国際芸術祭2022:「パフォーミングの解剖学 - 儀式」(Singapore International Festival of Arts 2022, The Anatomy of Performance – Ritual)

「シンガポール国際芸術祭(SIFA)2022」の開催とともに、新フェスティバルディレクター(FD)であるナタリー・ヘネディゲが就任し、3年間のテーマである「パフォーミングの解剖学」を描く最初の年となりました。このフェスティバルでは、3セクションのプログラムが紹介されます:

- Creation - SIFAが提供する主要商品のプラットフォーム。
- Life Profusion - ライブフェスティバルと並行して行われるSIFAのバーチャルステージ。
- SIFA X - 多様で多彩なパフォーミングを提供。

SIFA2022では、シンガポール全域でライブパフォーミングが復活し、70以上のパフォーミングが、リアルとバーチャルの両方で行われました。国内外から430人以上の芸術家が参加し、過去最多となる11の委嘱作品を展示しました。

フェスティバルディレクターであるナタリー(Nataliw)は、ショーや会場のユニークな特徴を引き出すために、さまざまな分野の主要デザイナーを参加させるという型破りなアプローチで私たちを驚かせました。これは、SIFAのオープニングアクトである『MEPAAN』に強く反映されています。マルチメディアアーティストのブライアン・ゴトン・タン(Brian Gothong Tan)、衣装デザイナーのマックス・タン(Max Tan)、照明デザイナーのアンディ・リム(Andy Lim)、舞台美術デザイナーのウォン・チー・ワイ(Wong Chee Wai)が集結し、視覚的美学をコンセプトとした作品となりました。パシル・パンジャン発電所をパフォーミング会場にし、シンガポール華楽団とボルネオ文化機関、ツヤン・イニシアチブによる音楽の旅を実現し、観客を魅了しました。

開催日 2022年5月20日～6月5日

場所 各地およびオンライン会場

リーチ 20,000人以上

協賛 シンガポール政府観光局(Singapore Tourism Board)、シンガポール米国大使館(US Embassy Singapore)、ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー(Warner Bros. Discovery)、グランド・パーク・シティ・ホールDSV(Grand Park City Hall DSV)、JCDecaux、ザ・ショウ・カンパニー(The Show Company)、シンガポール航空(Singapore Airlines)

シンガポール華楽団とツヤン・イニシアチブによるMEPAAN
クレジット: Arts House Limited

P21

第1章:創造性の構築 > フェスティバルとプログラム > ビジュアルアート

シンガポール・アート・ウィーク2023(Singapore Art Week 2023)

開催日 2023年1月6日～15日

場所 シンガポール全域およびオンライン会場

リーチ 140万人以上

協賛 シンガポール政府観光局、人民協会(People's Association)ほか

11回目を迎えるシンガポール・アート・ウィーク(SAW)2023では、遊び心溢れる新作がダイナミックに展示され、都心から中心部まで、シンガポール全土の空間を一変させました。

「遊び」をテーマに、SAW2023では、2つの著名なアートフェア「S.E.A.Focus」と「第一回アートSG」を含む180以上のイベントが開催されました。2つのハイライト作品は『パルプIII:追放された本の略歴(Pulp III: A Short Biography of the Banished Book)』(第59回 ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展出品)のホームカミングプレゼンテーションと、シンガポール・ビエンナーレ『ナターシャ(Natasha)』です。さらに、シビック地区は、「ライト・トゥ・ナイト2023:今ここに(Light to Night 2023: Here and Now)」(ナショナルギャラリーシンガポール、NGS)の一環として、魅力的なアートのインスタレーションで彩られました。

芸術コミュニティが近隣の空間を盛り上げ、より多くの観客が実際にアートに触れ、交流する機会をもたらしました。SAWは人民協会(PA)と協力し、芸術家がコミュニティ・アーツ&カルチャー・クラブ(CACCs)と共に活動し、シンガポール全土の5つの地区(ユー・ティー、プキ・ゴンバック、ベドック、パシールリス、ラディンマス)で地域社会との関わりを深めるための新しいプラットフォームを創出しました。各コミュニティで芸術家によるワークショップが行われ、そこでの共同作品がSAWで展示されました。

SAWに合わせて開催されたNACアート・リーダーシップ・フォーラムには、シンガポール国内外の著名なオピニオンリーダーが100人以上参加しました。SAWは、芸術に対する共通の愛情によって国内外の観客を結びつけ、シンガポールの芸術家たちの世界的な知名度を高めています。

NGSはSAWの目玉イベント「ライト・トゥ・ナイト2023:今ここに(Light to Night 2023: Here and Now)」を開催しました。「ライト・トゥ・ナイト」では、シビック地区在住の国内外の芸術家による新しいアート・インスタレーションや光のプロジェクションが展示されました。

「アートの都に:今後10年のビジュアルアートを形作る世界の主要トレンド(Becoming an Art Capital: Key Global Trends Shaping Visual Art in the Next Decade)」がテーマの初のパネルディスカッション。(左から)シャリーン・カッター(Shareen Khattar)、アロン・シート(Aaron Seeto)、エレーン・W・ウン(Elaine W. Ng)、ゾエ・ウィットリー博士(Dr Zoe Whitley)、リト・カマーチョ(Lito Kamacho)
クレジット: Family Office for Art

「昆虫インベントリウム(Insect Inventorium)」ワークショップに参加するプキ・ゴンバック区の住民たち(芸術家のイザベル・デジュエ(Isabelle Desjeux)とフェイ・リムFaye Limによる作品)
クレジット: Alicia Lim

アジア太平洋では10数年ぶりに開催される最大規模のアートフェアである「アートSG」の来場者。ガゴシアン(Gagosian)、ホワイト・キューブ(White Cube)、レーマン・モーピン(Lehmann Maupin)など、国内外の一流ギャラリーが勢揃いしました。
クレジット: ART SG.

P22

第1章:創造性の構築 > フェスティバルとプログラム > ビジュアルアート

シンガポール・パビリオン・リターン・ショー2023
(Singapore Pavilion Return Show 2023)

開催日 2023年1月6日～24日

場所 アートサイエンス・ミュージアム(ArtScience Museum)

2022年の第59回ヴェネチア・ビエンナーレでの成功に続き、芸術家、シュビギ・ラオ(Shubigi Rao)とウテ・メタ・パウアー(Ute Meta Bauer)のキュレーションによるイベント「パルプIII:追放された本の略歴」がアートサイエンス・ミュージアムで開催され、シンガポールの聴衆を魅了しました。同イベントは、ヴェネチアでのプレゼンテーションを再現したもので、ラオ監督の映画『Talking Leaves』に焦点を当て、会期中毎日一般公開されました。18日間の会期中、3,000人以上の来場者を集めました。

(写真上:シュビギ・ラオ、『パルプIII:追放された本の略歴』本作品はシンガポールのNACによって委嘱され、第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展のシンガポール・パビリオンのためにウテ・メタ・パウアー(Ute Meta Bauer)がキュレーション、ラウラ・ミオット(Laura Miotto)が展示デザインを担当しました。
クレジット:Photograph by Ung Ruey Loon)

スタンフォード・アート・センターの新しいパブリックアートの委嘱作品(Stamford Arts Centre)

パブリックアート・トラスト(PAT)は2022年8月17日、スタンフォード・アート・センター(SAC)の建物正面にて、ビジュアルアーティスト、レオ・ヒー・トン(Leo Hee Tong)による新しいパブリックアートの委嘱作品を展示しました。この作品は、ツァイ・エンルン(Tsai Eng Rung)からの寄付を受けて制作されました。

『文化と調和(Culture and Harmony)』と題されたこの作品は、舞台芸術を通じてシンガポールの多民族文化遺産を支援するというSACの使命を象徴しています。鮮やかなブルーは、舞台芸術の新たなビジョンと革新を強化するダイナミズムの精神を表し、その印象的な存在感とモチーフでランドマークとしてのSACを強調しています。

(写真下:レオ・ヒー・トン(Leo Hee Tong)作『文化と調和』(2022年)、夜間撮影(一部クローズアップ)。SACにて。)

P23

第1章:創造性の構築 > フェスティバルとプログラム > ビジュアルアート

第7回シンガポールビエンナーレ:ナターシャ(Singapore Biennale 7th Edition: Natasha)

開催日 2022年10月16日～2023年3月19日

場所 シンガポール全域

リーチ 110万人以上

協賛 シンガポール美術館(Singapore Art Museum)

NACの委託を受け、シンガポール美術館(Singapore Art Museum、SAM)が主催した第7回シンガポールビエンナーレが2022年10月16日から2023年3月19日まで開催されました。2006年に開始されたビエンナーレは、コンテンポラリーアートにおける国際的な対話のための国内有数のプラットフォームへと発展し、グローバルな文脈においてシンガポールと地域の芸術活動の表現の場となっています。

今回のビエンナーレは、共同芸術監督のビンナ・チョイ(Binna Choi)、ニダ・グハウス(Nida Ghousw)、ジュン・ヤップ(Junue Yap)、アラ・ユーニス(Ala Younis)によって『ナターシャ』と命名されました。名前には、芸術家、共同制作者、そして観客に、現代アートという媒体を通して、世界の見方や関わり方を再発見するよう促すという思いが込められています。タンジョン・パガー・ディストリパーク(Tanjong Pagar Distripark)に所在するSAM、各地域の図書館、ヤン・キット・プレイフィールド(Yan Kit Playfield)、No.22オーチャード・ロード(No.22 Orchard Road)、セントーサ・コーブ(Sentosa Cove)、サザン・アイランド(Southern Islands)など、シンガポールのさまざまな場所に作品が展示され、従来とは異なる空間でアートが日々の交流の手段になるような挑戦を行いました。

(写真上:ヘーグ・ヤン(Haegue Yang)の『ハイブリッド媒介物 - 爛漫のエレクトロフォラス・デュオ(ソニック媒介物 - 毛深い炭素からなる住人とランディング媒介物 - 毛のない無色の住人)(The Hybrid Intermediates - Flourishing Electrophorus Duo (The Sonic Intermediate - Hairy Carbonous Dweller and The Randing Intermediate - Furless Uncolored Dweller))』のデモンストレーション
クレジット:Image courtesy of SAM)

As You Were

開催日 2022年4月28日～10月16日

場所 ジュロン・レイク・ガーデンズ(Jurong Lake Gardens)、ビシャン・アン・モーキオ・パーク(Bishan-Ang Mo Kio Park)、ブンゴル・ウォーターウェイ・パーク(Punggol Waterway Park)

リーチ 78,000人以上

協賛 国立公園局(National Parks Board, NParks)

パブリックアート・トラスト(PAT)が主催する『As You Were』では、新進作家からベテランまで様々な芸術家の新作5点が展示され、COVID-19の流行が、自己発見や将来の願望といった人々の理想形にどのような影響を及ぼしたかについて表現しています。ジュロン・レイク・ガーデンズ、ビシャン・アン・モーキオ・パーク、ブンゴル・ウォーターウェイ・パークというシンガポールの3つの公園で展示されたアート作品は、希望、回復、変容というアイデアを内包し、内向き、外向きの視覚的対話を表現しようとしたものです。この一連の特別公共プログラムは、私たちが共有する人間性をテーマに取り込んだ作品となりました。

(写真下:ビシャン・アン・モーキオ・パークにて、ケク・ジア・チー(Quek Jia Qi)とアーロン・リム(Aaron Lim)によるパブリックアート・コミッション『Can You Hear Me』を鑑賞する来園者たち)

P24

第1章:創造性の構築 > 能力開発 > 卓越性への賞賛と能力向上プログラム

卓越性への賞賛

2022年文化勲章(Cultural Medallion)およびヤング・アーティスト賞(Young Artist Award 2022)

開催日 2022年12月5日
場所 イスタナ(Istana)およびザ・アーツハウス

2022年12月5日、イスタナで開催された文化勲章およびヤング・アーティスト賞(CMYAA)の授賞式で、6人の芸術家にシンガポール最高の芸術賞が授与されました。同文化勲章は、地元の伝統的なインド舞踊と演劇シーンにおける偉大な貢献をしたアプサラス・アーツのアーティストックディレクター(Artistic Director of Apsaras Arts)であるアラヴィンス・クマラサミー(Aravinth Kumarasamy)と、演劇活動家・演出家・劇作家のкок・ヘン・レウン(Kok Heng Leun)に授与されました。

ヤング・アーティスト賞は、サウンドデザイナーのグオ・ニングル(Guo Ningru)、ビジュアルアーティストのホー・ルイアン(Ho Rui An)、アニメーション映画監督のジェロルド・チョン(Jerrold Chong)、フルート奏者で作曲家のリット・シュウ(Rit Xu)という、ジャンルを超えた活動によって芸術の境界線を超越した4人の芸術家に授与されました。

同日夜には、エドウィン・トン(Edwin Tong)MCCY大臣および第二法相主催による式典後のレセプション「Arts to-GATHER」がザ・アーツハウスで開催されました。同レセプションには、過去の文化勲章受章者やヤング・アーティスト賞受賞者、芸術コミュニティのメンバーを含む200人以上のゲストが出席しました。

(写真上: (左から)文化勲章2022を受章したアラヴィンス・クマラサミー(Aravinth Kumarasamy)とкок・ヘン・レウン(Kok Heng Leun)(イスタナにて))

能力向上プログラム

NAC-NTUアジア・クリエイティブ・ライティング・プログラム 2022(NAC-NTU Asia Creative Writing Programme 2022)

開催日 2020年1月～2023年3月
場所 各地
協賛 南洋理工大学(NTU)

NACとNTUの協力のもと、専門家や経験豊富な作家が指導する中級から上級レベル向けのクリエイティブライティングコースを通年で提供し、シンガポールの作家を支援するプログラムです。著名作家であるジン・ジン・リー(Jing Jing Lee)、メアリー・ジーン・チャン(Mary Jean Chan)、コー・エウェ・ピン(Khor Ewe Pin)、アクヒル・シャルマ(Akhil Sharma)、クレア・キーガン(Claire Keegan)、A.L.ケネディ(A.L.Kennedy)、アリス・ブン(Alice Pung)、アリエット・ド・ボダール(Aliette de Bodard)、フェン・エン・トゥ博士(Dr. Feng-en Tu)が教鞭を取ります。現在までにこのプログラムは619人もの参加者を指導してきました。

(写真下: 2023年5月のACWPイベント「クレア・キーガンとのタベ」に出席したクレア・キーガン(Claire Keegan)とプラサンティ・ラム博士(Dr. Prasanthi Ram))

能力向上プログラム

NACサンガム・ハウス・レジデンス 2022 - 2023 (NAC-Sangam House Residency 2022 - 2023)

開催日 2022年11月2日～23日
場所 ザ・ジャムン(The Jamun)インド ベンガルール
協賛 サンガム・ハウス(Sangam House)

アーティストレジデンスであるサンガム・ハウスの協力により、NACは毎年1名、インドのベンガルールで開催される「サンガム・インターナショナル・ライターズ・レジデンス・プログラム」に参加するシンガポールのタミール語作家を選出しています。シンガポールのタミール人作家は、サンガムの広範な国際ネットワークの恩恵を受けながら、スキルを磨き、原稿を推敲し、他のレジデンス作家と交流する機会を得ることができます。2022年11月2日から23日まで、シンガポールのタミール語作家パンチャクシャラム・アジャグニラ(Panchaksharam Azhagunila)がともに、NACとサンガム・ハウスによるレジデンスプログラムに選出されました。

(写真上: 地元作家とのディナーパーティー(前列左から右へ)ニキータ・サクセナ(Nikita Saxena)、メヘル・ヴァルマ(Meher Verma)、リヤ・マシュー(Riya Matthew)、アルシャ・サッター(Arshia Satter)、ジート・タイル(Jeet Thayil)、ナンディニ・オザ(Nandini Oza)、アズハグニラ(Azhagunila)(シンガポールのタミール語作家)、(後列左から右へ)アジャイ・クリシュナン(Ajay Krishnan)、チャンドニー・ドゥラトラマニ(Chandni Doulatramani)、ジャーナヴィ・ファルキー(Jahnavi Phalkey)、ソヒニ・バサック(Sohini Basak)。

クレジット: Sangam House)

P25

第1章:創造性の構築 > 能力開発 > 能力向上プログラム

ナショナル・センター・フォー・ライティング - シンガポール・バーチャル・ライターおよび翻訳者プログラム 2022 (National Centre For Writing - Singapore Virtual Writers & Translators Programme 2022)

開催日 2022年6月～12月

NACは、英国のナショナル・センター・フォー・ライティング(NCW)が運営する「バーチャルライターおよび翻訳者プログラム」に参加するシンガポール人作家を支援しています。これはNACの能力開発の取り組みの一環であり、作家の能力開発と国際的なネットワーク構築の機会を提供することを目的としています。

NCWは、2022年のバーチャルレジデンス第2弾として、散文作家のアクシタ・ナندا(Akshita Nanda)(アンジャリ・ジョセフによる指導)、詩人のクリスピン・ロドリゲス(Crispin Rodrigues)(ウィル・ハリスによる指導)、散文作家のダリル・チリン・ヤム(Daril Qilin Yam)(ジュリエット・ジャックによる指導)の3人を選出しました。

英国のノリッチを拠点とするメンターとの定期的なバーチャルミーティングに加え、参加者は同地域の作家や翻訳家と交流する機会が提供されました。その一例として、ワークインプログレスの共有、NCWのユースグループと合同のライティングワークショップ「Lit from the Inside」、英国文学翻訳センターとの翻訳ワークショップ、NCWブログのポッドキャストや記事などが挙げられます。特にポッドキャストは、シンガポールやアジアの作家の声を英国の観客に届ける一助となりました。

(写真上: アクシタ・ナندا、ナショナル・センター・フォー・ライティング(NCW)シンガポールの「バーチャルライターおよび翻訳者プログラム2022」参加者

クレジット: Joyce Fang)

創作?リメイク?脚色?2022(Create, Remake or Adapt? 2022)

開催日 2022年12月5日～6日

場所 ラサール芸術大学シンガポール

協賛 シンガポール・フランス大使館、情報通信メディア開発機構 (Infocomm Media Development Authority, IMDA)

在シンガポール・フランス大使館との共催で、トランスメディア脚色ビジネスに関するワークショップ「創作?リメイク?脚色?(Create, Remake or Adapt?)」が開催されました。文芸およびオーディオビジュアル業界で働く専門家や実務家を対象としたこの試験的な取り組みでは、本、スクリーン、オーディオビジュアルといったメディアを横断して脚色する方法を模索するために必要なさまざまなトピックを取り上げました。同ワークショップの進行役は、フランス、シンガポールの業界関係者らが務めました。

参加者は2日間にわたり、パネルディスカッション、ケーススタディ、分科会を行い、プログラム最後には交流会が行われました。アジアTVフォーラム&マーケットで自身の作品をPRする方法についての指導もありました。

(写真下: 在シンガポール・フランス大使館ミンディ・タン(Minh-di Tang)大使による歓迎の辞)

伝統芸術レジデンシー2022(Traditional Arts Residencies 2022)

開催日 2022年6月～10月

場所 スタンフォード・アーツ・センター

2022年で4回目を迎える「伝統芸術レジデンシー」は、伝統的な舞台芸術を中心に、革新的なコンテンツのインキュベーションを支援する16週間のプログラムです。今年は、中国の舞踊家、振付家、教育者である李瑞敏(Li Ruimin)のプロジェクト『草動知风向 Ta Ri Ki Ta(藁が風向きを示す: 私たちのダンス[A straw will show which way the wind blows: Our Dance])』が、同プログラムに選出され、資金、スペースの提供と担当者によるアドバイスを受けました。スプリ・ジュワヒルとのコラボレーションにより、このプロジェクトには中国舞踊、インド舞踊、コンテンポラリーダンスが取り入れられており、シンガポールのアイデンティティに異文化が融合されています。

また、芸術家とアカデミックのコラボプロジェクトをサポートする研究のためのレジデンスプログラムも導入され、実践に基づいたリサーチや保存のためのプログラムが共同で行われています。キャロライン・チア博士は、『中国伝統演劇の再生: 海南最後の人形劇団サンチュンロン(Revitalising traditional Chinese theatre: Case study of the last Hainanese puppet troupe San Chun Long)』というプロジェクトにより、レジデンスプログラムに選出されました。このプロジェクトを通じて、芸術家らは、伝統的な芸術形式を保存しその認知度を高めるとともに、現代演劇の実践家たちにより、どうすればこの伝統的な芸術形式への観客の関心を持続させることができるかについて考えてもらいました。

(写真上: ワークインプログレス・ショーケースの一環として、自身のレジデンス・プロジェクトでパフォーマンスを披露する李瑞敏(Li Ruimin)。

クレジット: Jingkai Kuang)

P26

第1章:創造性の構築 > 能力開発 > 能力向上プログラム

コンテンポラリー・パフォーミング・アーツ・リサーチ・レジデンシー 2022(Contemporary Performing Arts Research Residency 2022)

開催日 2022年4月～6月

エスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ(Esplanade - Theatres on the Bay)主催、NAC後援による「コンテンポラリー・パフォーミング・アーツ・リサーチ・レジデンシー(Contemporary Arts Research Residency)」は、身体、空間、アイデンティティに関する集約的かつ多様な視点をパフォーマンスリサーチにおいて発展させたイベントであり、パフォーマンス制作の慣習を拡大することを目的としています。2022年のレジデンスの第1回目のテーマは、「潜在的領土: パフォーマンスにおける身体、空間、アイデンティティ(Potential Territorialities: Body, Space, and Identity in Performance)」でした。COVID-19の流行の経験から生まれたこのテーマは、地球規模の変化の時期に見られた領土(地理的、政治的、社会的、文化的、芸術的)における関係性の再編成の可能性を探るものでした。

この公募には、分野を超え、多様な文脈で活動する実践家から300件の応募があり、そのうち、7人の個人活動家、2組の二人組アーティスト、1組のグループが、レジデンスアーティスト、レジデンスリサーチャーとして選ばれました。(シンガポール、フィンランド、デンマーク、インド、ベトナム、日本、フィリピン、香港)。本レジデンスプログラムは2022年4月から6月にかけて開催され、メインイベントである公開ワークインプログレス共有セッションは計10回開催され、合計114人が参加しました。

(写真上: ウェイシン・クェク・チョン(Weixin Quek Chong)(シンガポール/スペイン)とアストリッド・スウィーニー(Astrid Sweeney)(デンマーク/ベルギー)による「個体発生の夢: 感覚的な手足の横への伸縮(Ontogenesis dreams: a sideways stretching of sensory limbs)」は、パフォーマンス、彫刻オブジェ、インスタレーションのハイブリッドによる共同プロジェクト。

クレジット: Image courtesy of the artist)

UOB-NACによる芸術のためのアクセラレーション・プログラム(Inaugural UOB-NAC Acceleration Programme For the Arts)

開催日 2023年3月14日～4月4日

場所 ナショナルギャラリーシンガポール(National Gallery Singapore)、UOBファー・イースタン銀行ビル(UOB Far Eastern Bank Building)、Bridge+@CapitaSky

第1回目となる「芸術のためのアクセラレーション・プログラム(Acceleration Programme for the Arts)」は、2023年3月14日から4月4日にかけて実施されました。この4週間のプログラムは、NACとユナイテッドオーバーシーズ銀行(UOB)の3年間の覚書の一環として、芸術団体の成長・発展のビジョンを達成するためのデジタル、ビジネス、財務の各能力を強化するために初めて実施されました。20の芸術団体がプログラムに参加し、ビジネス開発やデジタルマーケティングなどのトピックについて、厳選されたワークショップやコンサルテーション、ピアディスカッションを通じて業界の専門家から学ぶ機会を得ました。

(写真下: プログラム講演者、NAC、UOBおよび参加者の集合写真。
ナショナルギャラリーシンガポール(NGS)で開催されたオープニング
セレモニーの様子)

デジタルプラットフォーム「Catch」

開催日 2023年3月下旬

協賛 国家遺産局(National Heritage Board、NHB)、ナショナル
ギャラリーシンガポール(NGS)、ザ・エスプラネード・カンパニー・リ
ミテッド(The Esplanade Company Limited、TECL)、Arts
House Limited(AHL)、SISTIC

2023年3月末のテクニカルベータ版の提供開始に続き、「Catch」
(catch.sg)が2023年9月に正式開始ローンチされました。シンガ
ポールのあらゆる文化や芸術を紹介するパーソナルなガイドブックと
して、「Catch」は、NHB、NGS、TECL、AHL、SISTICといった文化
機関やチケット販売プラットフォームからのイベントを集約しています。
ユーザーは、このワンストップデジタルプラットフォームから最新のイベ
ントを検索・予約をすることができます。また、ユーザーの好み、検索
履歴、予約履歴に基づいて、各個人に最適な体験のキュレーションリ
ストを配信します。

推薦機能の強化、パートナーとの自動コンテンツシンジケーション、追
加チケットプラットフォームとの統合といったその他の機能が、来年か
ら順次展開される予定です。

(写真上: あらゆる芸術と文化に関するパーソナルガイド、「Catch」の
ホームページのベータ版。ユーザーの好みに合わせたキュレーション
リストにより、簡単に文化芸術体験を検索可能)

P27

第1章: 創造性の構築 > 能力開発 > デジタル化

デジタル化への取り組み

NACは、デジタル化を推進する現在進行中の栄典制度である「公共
部門変革(Public Sector Transformation)」と歩調を合わせて、
テクノロジーとデータを活用したプロセスの改善、デジタル導入の促
進、デジタルとデータの能力のスキルアップの機会を提供する取り組
みを続けて参ります。

プロセス改善

NACの人材と組織文化、テクノロジー&イノベーション、ワークプレ
イスの各チームの新スタッフ研修は、「ワークフロー」(Workflow)の導
入でさらに強化されました。ワークフローとは、1つの文書で情報を
提出、サポート、レビューするために、複数のユーザー間のコミュニ
ケーション能力を強化するソリューションです。

「アセット・マネジメント・システム」(Asset Management System)
とは、契約者中心のデジタルツールおよび契約追跡システムのことで
、アセットライフサイクル全体を追跡することができます。その成功
例のひとつが、NACにおけるIT資産の貸与の追跡プロセスをデジタ
ル化したケースです。もうひとつ進行中の別のプロジェクトでは、キ
ュムラスシステムへの移行の一環として、財務チームが現物資産の追
跡と棚卸しのプロセスを合理化できるよう支援する予定です。

デジタルツールの導入

NACは引き続きGovTechと提携し、前年度に当アーツカウンシルが
採用したデジタルワークプレイス(DWP)ツールに加え、ファイル共有
プラットフォームおよびコラボレーションプラットフォームの「SG-Teams」、

自動音声テキスト化プラットフォームの「Transcribe」、テキスト分析
ツールの「GovText」などの新たなDWPツールも導入します。これら
の新しいDWPツールは、管理業務や手作業に費やす時間を削減
し、デジタルツールによって中核業務を支援できるようにしました。

特筆すべき業績

私たちのこういった努力は、受賞という形で評価されました。NACの
コーポレートサイトが、WOGAA(Whole-Of-Government
Application Analytics)デジタルサービスアワード2022(Digital
Services Awards 2022)、ベストアクセシビリティ(Best
Accessibility)部門第2位、ベストSEO(Best SEO)部門第3位、ベ
ストファンクショナリティ(Best Functionality)部門第4位を受賞と、
見事3つのカテゴリでトップ5入りを果たしました。

2022年12月9日、NACのコーポレートサイトで「アーツプラン(TAP)」
の特設サイトがオープンしました。このサイトでは、シンガポールアーツ
プラン(2023-2027年)の草案が公開され、今後5年間のシンガポール
の文化芸術分野の道筋と、私たちのエンゲージメントの道程が描か
れています。本特設サイトは、2023年1月に行われた展示イベントを補
完するデジタルな拡張機能として、一般の人々がデジタルプラット
フォーム上で意見を交換できる機会を提供しました。

これらの受賞は、働き方改革におけるNACのデジタルトランスフォー
メーションの取り組みを証明するものです。

デジタルとデータの能力のスキルアップ

2022年4月から7月にかけて、NACのポリシー&プランニング、アクセ
ス&コミュニティエンゲージメント、テクノロジー&イノベーションの各
チームは、MCCYのリサーチチーム(Research Team)と協力して
Text Analyticsを活用し、主要な取り組みの分析を行いました。得
られたトピックと洞察は今後の取組計画に活かされシンガポール
アーツプラン(2023-2027年)の草案に取り入れられました。その後、
ポリシーおよびプランニングチーム、市民およびセクターエンゲジ
メントチーム、デジタル戦略チームからなる合同チームは「データ・アー
ケード・トーナメント(DAT) x MCCY(MCCY)ファミリー・トーナメン
ト2022」(Data Arcade Tournament (DAT) x Ministry of
Culture, Community and Youth (MCCY) Family
Tournament 2022)に参加し、見事チャンピオンに輝きました。これ
は、MCCYが主催するデータビジュアライゼーションとストーリーテ
リングのコンテストで、シンガポールのGovTechによる、
「Whole-of-Government (WOG) DAT」の一環として開催され
たものです。同チームの参加者は、データとテキスト分析についてよ
り理解を深める機会を得ることができました。

P28

第2章: 地域社会の強化

芸術は、私たちが世界を体験するための強力な手段です。自分探
しの旅において、周囲の人々との有意義なつながりを形成してくれま
す。私たちは、芸術が日常生活の中に存在すると信じています。だか
らこそ、あらゆる階層のシンガポール人が共に芸術シーンを楽しみ、
参加し、貢献できる機会もたらすことに重点を置いているのです。

マネーオウル社リードクライアントアドバイザー、コリン・ライ(Colin
Lai)(元SOTA講師)、音楽輸出プロフェッショナルのデビッド・シウ
(David Siow)、女優、司会者、声優のローラ・キー(Laura Kee)。
ARHコネクツイベント「ファイナンシャル・リテラシー・ダイアログ:あ
なたのお金をあなたに生かす(Financial Literacy Dialogue:
Making Your Money Work for You)」の芸術に従事する個人
事業主にて。
クレジット:Luire Image

P29

第2章:地域社会の強化 > 子供と青少年

幼児教育向けナショナルアーツカウンシル芸術教育プログラム(NAC Preschool Arts Education Programme)

開催日 2022年3月～11月

場所 シンガポール全域およびオンライン会場

協賛 プリスクール・アンカーオペレーターおよびセンター

NACは、NAC-AEP(芸術教育プログラム)を通じて、就学前の生徒を対象に芸術家が主導する体験学習を行っています。早くから芸術に触れることで、子どもたちは自信を持ち、自分の考えを述べ、創造的な人間になることを学ぶことができます。また、さまざまな方法で自分を表現し、コミュニケーション能力を養うことができます。2022年には、217もの芸術教育プログラムが幼稚園で行われました。

PAPコミュニティ財団(PCF)、NTUC My First Skool、E-Bridge Pre-School、M.Y World Pre-School Ltd、Skool4Kidzの5つのプリスクール・アンカーオペレーターと提携し、NACは2022年に2万4,000人以上の未就学児のための芸術教育プログラムに78万ドル以上を拠出しました。文芸、演劇、ダンス、音楽、ビジュアルアートなどの学習体験は、子どもたちのホリスティック教育をサポートし、異文化への理解を深めてくれます。

(写真上:My First Skool(ハイグロード)の子供たちは「シンガポール・アートの色(Colours of Singapore Art)」シリーズの一環として、インドの伝統的なラングリー模様を学び、体験しました。

クレジット:My First Skool)

ワーズ・ゴー・ラウンド 2022(Words Go Round 2022)

開催日 2022年5月23日～8月31日

場所 リアルおよびハイブリッド

協賛 シンガポールブックカウンシル(Singapore Book Council)、シンクリットステーション(Sing Lit Station)、クローゼットフルオブブックス(Closetful of Books)

「ワーズ・ゴー・ラウンド(Words Go Round、WGR)」は、2011年にシンガポール・ライターズ・フェスティバルの一環として始まった学校支援プログラムで、文学作家やプログラムを各学校に招聘することを目的としています。WGR2022は現在、英語、中国語、マレー語、タミール語の多言語プログラムを扱う独立委員会に発展しています。

WGR2022には45のプログラムが含まれており、バリ・カウル・ジャスワル(Balli Kaur Jaswal)、チェン・シュアイ(Chen Shuai)、ニルロゼット(Nirrosette)といったシンガポールの作家やプレゼンターが、ジーヴァ・ラグナス(Jeeva Raghunath)、ナット・アモア(Nat Amore)、ジェイソン・チン(Jason Chin)といった国際的な作家やプレゼンターたちとコラボしました。シンガポールブックカウンシルは就学前／初等教育向けのプログラムを、Sing Lit Stationは中等教育／高等教育向けのプログラムを紹介しました。Closetful of Booksは、WGR2022の特約販売店として同プログラムをサポートしています。

(写真下:プログラム「だから...私はストレス(を受けた)ボールなの! (So... I am a Stress(ed) Ball!)」に参加するスー・チャンカイとCherie Hearts @ Charltonの園児たち
クレジット:Singapore Book Council)

P30

第2章:地域社会の強化 > 子供と青少年

ナショナルギャラリーシンガポールとの「博物館を活用した学習(美術)」(Museum Based Learning (Art) With National Gallery Singapore)

開催日 2022年4月～2023年3月

場所 ナショナルギャラリーシンガポール(NGS)

協賛 教育省およびNGS

NACが協力して実施された「博物館を活用した学習(美術)プログラム」(Museum Based Learning (Art) programme)では、3万2,000人以上の小学4年生が、芸術カリキュラムの一環としてNGS企画のガイド付きツアーに参加し、シンガポールの遺産の一部である地元の美術作品に心を寄せるという学習成果を達成しました。

2022年後半に向けて安全管理対策が徐々に緩和されるにつれ、デジタル形式やハイブリッド形式のツアーではなく、実際の現地見学に参加する学校が増加しています。現地ツアーでは、シンガポールのビジュアルアーティストやその作品を鑑賞し、美術教育者やファシリテーターからレクチャーを受けることで、学生たちが共有のコホート体験に参加する機会となりました。

(写真上:現地ツアーにて、コエ・シアヨンの『もう野菜は作れない(Cannot Grow Vegetables Anymore)』についてファシリテーターと話し合う学生たち。

クレジット:National Gallery Singapore)

アーティスト・イン・スクール・スキーム(Artist-in-School Scheme)

公立学校を対象とした「アーティストインスクールスキーム」(AISS)には、2022年9月から10月にかけて過去最多の応募があり、59校で合計67のプロジェクトが実施されましたが、これは2001年の同スキーム導入以来最多となりました。美術教員らは、この取り組みは生徒がアートプラクティショナーと本格的な交流を持ち、さまざまな芸術形態に触れることができるまたとない機会であると評価しています。

「特別支援教育アーティストインスクールスキーム」(Special Education Artist-in-School Scheme、SPED-AISS)は、学校と芸術専門家とのパートナーシップを継続的に支援し、生徒の芸術への取り組みや芸術を通じた授業への理解を深めるとともに、特別支援教育関係者の芸術をベースとした授業に関する知識やスキルを向上させることを目的としており、現在13校で合計24のプロジェクトが支援されています。

(写真下:各生徒には、芸術家によるフィードバックと指導が行われ、プログラム中に習得した新しい技術や知識を用いて作品を再制作します。

クレジット:Singapore Book Council)

P31

第2章:地域社会の強化 > 高齢者

#SILVERARTSと「アーツ&エイジング・フォーラム2022」
(Arts and Ageing Forum 2022)

開催日 2022年9月～12月

協賛 ライオンズ・ビフレンダーズ・サービス協会 (Lions Befrienders Service Association)、シンガポール・チャイニーズ・カルチャー・センター (Singapore Chinese Cultural Centre, SCCC)、ザ・エスプラネード・カンパニー・リミテッド (The Esplanade Co. Ltd.)

NACは、「#SilverArts 2022」を通して、高齢者の芸術における有意義な可能性を賞賛し、1,000人以上の参加者と触れ合いました。芸術団体、ソーシャルセクター、コミュニティパートナーとのパートナーシップを確立し、シンガポール美術館、テング・アンサンブル、シンガポール交響楽団など、シンガポール全土のさまざまな芸術団体や文化施設の協賛による、高齢者を中心とした芸術プログラムを開催しました。

芸術と高齢化の未来に関するネットワーク作りと意見交換を促進するため、NACは2022年10月7日に「アーツ&エイジング・フォーラム (Arts and Ageing Forum)」を開催しました。芸術、社会、教育などの分野から120人以上の参加者が来場し、海外からのゲストも参加しました。NPO法人のLifetime Arts (米国)からは、アンジー・シー (anGie Seah) やグレース・ローと (Grace Low) といった著名な芸術家や代表者、またエミ・キヨタ博士 (Dr Emi Kiyota) などヘルシーエイジングの専門家が参加し、意見交換を行いました。

「#SilverArts 2022」の一環として開催された「アーツ&エイジング・フォーラム」でのパネルディスカッション。(左から) シャーリーン・ラジェンドラン博士 (Dr Charlene Rajendran)、マウラ・オマリー (Maura O' Malley)、アンジー・シー (anGie Seah)、グレース・ロー (Grace Low)、エミ・キヨタ 教授 (Professor Emi Kiyota)

アングリカン・シニアセンター・ヘーブロック (Anglican Senior Center Haveblock) で、観客に作品を披露する高齢の参加者たち
クレジット: Singapore Chinese Cultural Centre

「アーツ&エイジング・フォーラム」の高齢者向けプログラムを体験する参加者と触れ合うSCCCプログラムディレクターのリー・イーウォン (Lee Ee Wurn)。

SCCCにて、「SINGAPORE 人」を見学する来場者
クレジット: Singapore Chinese Cultural Centre

P32

第2章:地域社会の強化 > すべての人のための芸術

アート・アンド・カルチャー・ノード (Arts And Culture Nodes)

場所 各地

リーチ 100万人以上

協賛 人民協会 (People's Association)、国立図書館庁 (National Library Board)、国立公園委員会 (National Parks Board)、SAFRA など

2012年に開始されたNACのシンガポール全域的なネットワーク「アート・アンド・カルチャー・ノード (Arts and Culture Nodes)」は、人々がアートに参加し、楽しみ、体験できるような質の高いアートプログラムを定期的に提供しています。

2022年10月には、スポーツとコミュニティの総合拠点であるブキ・キャンベラ (Bukit Canberra) がネットワークに加わり、ノード総数は21か所となりました。

安全管理対策の規制が緩和されたことで、ノードでは、魅力的な会場でのプログラムとオンラインの芸術プログラムが融合し、合計で100万人以上の観客を動員しました。

(写真上: セカンド・ブレイクファスト・カンパニー (The Second Breakfast Company) は、ウィスマ・ゲイラン・スライ (Wisma Geylang Serai) において、若者が直面する問題をテーマにしたミュージカル「パイセ・ピース (The Paiseh Pieces)」を上演しました。
クレジット: Wisma Geylang Serai)

ウェルネス・フェスティバル・シンガポール2022 (Wellness Festival Singapore 2022)

開催日 2022年6月3日～12日

場所 各地

協賛 ブキ・キャンベラ (Bukit Canberra)、エンタープライズ・シンガポール (Enterprise Singapore, ESG)、健康増進委員会 (Health Promotion Board, HPB)、ジュロン・レイク・ガーデンズ、カランCC (Kallang CC)、全国青年協議会 (National Youth Council)、ナショナルギャラリーシンガポール (National Gallery Singapore)、リパブリック・ポリテクニク (Republic Polytechnic)、SAFRA プンゴル (SAFRA Punggol)、SAFRA トアパヨ (SAFRA Toa Payoh)、セントーサ開発公社 (Sentosa Development Corporation, SDC)、シンガポール政府観光局 (Singapore Tourism Board, STB)、スポーツシンガポール (Sports Singapore, SportSG)

「ウェルネス・フェスティバル・シンガポール (Wellness Festival Singapore, WFS)」は、STBがESG、HPB、NAC、SDC、SportSGと共同開催する、ホリスティックヘルスを促進する取り組みです。

第1回WFSでは、NACは政府機関、アート・アンド・カルチャー・ノード・ネットワーク (Arts and Culture Nodes Network)、文化機関などさまざまなパートナーと協力し、35,000人以上の参加者が参加するエキサイティングなアートとウェルネスプログラムを企画しました。その内容は、ワークショップから、音楽、文芸、視覚芸術、ダンス/ムーブメントといった芸術形態を融合するアートトレイルまで多岐にわたります。

(写真下: SAFRA トアパヨ (SAFRA Toa Payoh) の10メートルの壁画「静止状態 (Becoming Still)」。

つながろう! 2022 (Let's Connect! 2022)

開催日 2022年6月7日

場所 生涯学習研究所 (Lifelong Learning Institute)

リーチ 200人以上

「つながろう! (Let's Connect!)」は、コミュニティパートナー、芸術家、アートをコミュニティ活動に活用したいと考えるすべての人々のために、ベストプラクティスを共有し、ネットワークを作り、共通の利益を発見するための新しいプラットフォームです。

本取り組みの2022年版は「芸術を通してウェルビーイングをサポート (Supporting Well-being through the Arts)」と題し、アプライド・シアター・プラクティショナーのローズマリー・マクゴワン (Rosemary McGowan)、詩人・劇作家のアマンダ・チョン (Amanda Chong)、アプライドドラマプラクティショナーのチャン・メイ・イー (Chang Mei Yee)、セント・ジョセフ・ホーム (St. Joseph's Home) のアライド・ヘルス・サービス責任者のメイ・ウォン (May Wong)、ブリーズ・アーツ・ヘルス・リサーチ (英国) の創設者イヴォンヌ・ファークハーソン (Yvonne Farquharson) が登場しました。出席者は多様なユースケースを称賛。芸術がいかにか癒しをもたらすかについてプラットフォームで議論し、芸術と福祉への新たなアプローチを探索するこの取り組みを高く評価しました。

(写真上:「つながろう!」の「芸術を通してウェルビーイングをサポート (Supporting Well-being through the Arts)」のパネリストと参加者 2022年6月7日、生涯学習インスティテュートで開催され、Zoomでライブストリーミングされました)

P33

第2章:地域社会の強化 > すべての人のための芸術

芸術と障がいフォーラム2023 (Arts & Disability Forum 2023)

開催日 2023年2月18日～23日

場所 ART:DIS シンガポール@ブキ・メラ (DIS Singapore @ Bukit Merah)、ゲートウェイ・シアター (Gateway Theatre)、シンガポール美術館 (Singapore Art Museum)

協賛 ART:DISシンガポール (ART:DIS Singapore) とシンガポール美術館 (Singapore Art Museum)

ART:DISシンガポールとNACが主催する第5回芸術と障がいフォーラム (ADF) には、障がい者アートとそのアクセス方法のためのベストプラクティスについて議論するため、アートと障がい者セクターから516名の国内外の講演者が集まりました。フォーラムのテーマは、「志を可能にし、道を多様化する (Enabling Aspirations, Diversifying Pathways)」で、コミュニティベースのプログラムにおけるアクセスの連続性から、ろう者、障がい者、神経障がい者の専門的な育成とリーダーシップを支援するプログラムに焦点を当てました。

(写真上:ティモシー・リー (Timothy Lee)、イヴニ・ヤアクブ (Ivni Yoakub)、チョウ・ジュン・ウェイ (Choo Jun Wei) による『王子様と出会った日 (Day I Met The Prince)』の公演。アートワーク:アメリア・タン (Amelia Tan)。ADF 2023にて
クレジット:ART:DIS Singapore)

#ArtsInYourNeighbourhood

開催日 ポットラック・ジン (Potluck Zine) (トア・パヨ・イースト (Toa Payoh East) にて): 2022年6月～11月
Better2gather (テロック・ブランガー (Telok Blangah) にて): 2022年7月～11月

アクト3インターナショナル (Act 3 International) による OTH コミュニティシアター (OTH Community Theatre): 2022年7月～11月
喜びの庭 (Garden of Joy): 2023年1月～4月

場所 キャンベラ、タンピネス、テロック・ブランガー、トア・パヨ・イースト
リーチ 10,000人以上

協賛 ビشان・トア・パヨ町議会 (Bishan-Toa Payoh Town Council)、タンピネス・ハブおよびブキ・キャンベラ (Our Tampines Hub and Bukit Canberra)、PA統合部門 (PA Integration Division)、テロック・ブランガーCC (Telok Blangah CC)、テロック・ブランガー町議会 (Telok Blangah Town Council)、トア・パヨ・イーストCCおよび西海岸GRC (Toa Payoh East CC and West Coast GRC)

NACは、近隣のスペースでコミュニティと関わるができる芸術プログラムをパートナーとともに発表しました。その目的は、#ArtsInYourNeighbourhoodを通じて、よりつながりのある社会を構築することです。プログラムのひとつはトア・パヨ・イーストでのポットラック・ジン (POTLUCK ZINE)、もうひとつはアワ・タンピネス・ハブでの OTH コミュニティシアター (OTH Community Theatre) です。

OTH コミュニティシアターは、アワ・タンピネス・ハブ (Our Tampines Hub) と共同で企画され、アクト3インターナショナルの指導のもと、タンピネスの住民と毎週演劇ワークショップを行い、家族ベースのパフォーマンスを創り上げました。参加者たちは、創造的なプロセスにおいて、協力し合って演劇創作に取り組み、自分たちのコミュニティや愛する人たちのためにパフォーマンスを行いました。

人民協会と協力し、システム・ソプリングがプロデュースしたトア・パヨ・イーストでの「ポットラック・ジン」は、芸術、食文化、ストーリーの共有を通じてコミュニティをひとつにしました。参加者たちは4ヶ月間にわたり、個人的なストーリーを共有し、写真や印刷などさまざまなスキルを身につけながら制作を行いました。完成した作品はトア・パヨ・イーストのボイドデッキに展示しました。

(写真下: 分野を越えたアートスタジオであるシステム・ソプリングの指導のもと、トア・パヨ・イーストの住民たちは、個人的なストーリーを共有し、写真、文章、版画のスキルを身につけ、電子雑誌の作成とボイドデッキでの作品展示のために協力し合いながら、絆を深めていきました。この展覧会では、近隣でサイチョウが目撃されたという住民同士の会話からインスピレーションを得て、芸術家のBAKEDと住民が協力して壁画を描きました。

クレジット: Participate in Design)

芸術があなたの毎日を刺激する (The Arts Can Inspire Your Every Day)

開催日 2023年2月1日～3月31日

協賛 通信情報省 (MCI)、ステラエース (StellarAce)、デメンシャ・シンガポール (Dementia Singapore)、デカダンス、ロロン・ボーイズ (Decadance Co, Lorong Boys)、ステファニー・ドッグフット (Stephanie Dogfoot)、クェク・ジア・チー (Quek Jia Qi)、ルーク・チョン (Luke Chong)

「芸術があなたの毎日を刺激する」と銘打った同イベントは、芸術に対する認識を広め、シンガポール人の日常生活と芸術との関連性を感じてもらうことを目的としています。若者、高齢者、社会人、若い家族など、社会の主要な層と声を取り上げた4本の委嘱作品を通じて、芸術産業の活気を賞賛する内容となりました。

このイベントは、2023年2月1日から3月31日まで、130万人以上の人々を対象に行われ、芸術がいかにか私たちの毎日にポジティブな影響を与えることができるかを証明しました。様々な芸術形態との出会いを通して、私たちは何気ない瞬間が非日常的な体験に変わるのが目の当たりにし、観客は「#OurSGArts」を新たな視点で楽しむことができました。

(写真上:「芸術があなたの毎日を刺激する」で上映された4本の映画のうちの1本、『思い出のダンス (A Dance to Remember)』からの抜粋)

P34

第2章:地域社会の強化 > 地域社会との対話

芸術に従事する個人事業主エンゲージメント・セッション
(Arts SEPs Engagement Session)

開催日 2023年2月3日

場所 42ウォータールー・ストリート

NACは、MCCYおよび通商産業省のロー・イェン・リン(Low Yen Ling) 国務大臣主催のもと、個人事業主(SEP)、SEP擁護者、芸術に従事する個人事業主と密接に協力する文化芸術団体の代表者を含む芸術関係者との交流会を開催しました。セッションでは、芸術に従事する個人事業主の継続的雇用の可能性、キャリアモビリティ、労働条件についてのアイデアを話し合いました。アーツリソースハブ(Arts Resource Hub、ARH)が引き続き芸術に従事する個人事業主をサポートできるよう、NACはARHの見直しを行い、そのプロセスの一環として芸術に従事する個人事業主にフィードバックを求める予定です。

(写真上:ロー・イェン・リン(Low Yen Ling)MCCYおよび通商産業省国務大臣との芸術に従事する個人事業主セッション)

アーツ・マターズ会議(Arts Matters Conference)

開催日 2022年9月26日

場所 *スケープ(SCAPE)

リーチ 主要な文化芸術団体や個人事業主(SEP)コミュニティから70名以上の関係者が参加

2022年9月26日、クリエイティブエコノミーに焦点を当てた第1回の「アーツ・マターズ会議」がブランデッド社との共催で開かれました。このイベントには、主要な文化芸術団体や芸術に従事する個人事業主から70人を超える文化芸術分野の参加者が集まり、学び、スキルを高め、より広範なクリエイティブエコノミーとの新たなつながりをもたらしました。

本会議では世界的なリーダーたちが業界のインサイトについて紹介し、Web3、ブロックチェーン、テクノロジー、音楽、ゲーム、マーケティング、ブランディングの各領域にまたがるトピックを議論し、分野をまたぐ学習の機会を促進しました。

(写真下:Q&Aセッションでパネルスピーカーと対話する観客)

P35

第2章:地域社会の強化 > 地域社会との対話

ARHコネクツ(ARH Connects)

場所 42ウォータールー・ストリート(42 Waterloo Street)およびオンライン会場

協賛 バヌプリヤ・ボンナラス(Banupriya Ponnarasu)

センター42&アートウェーブ・スタジオ(Centre 42 & Artwave Studio)

チョン・グア・キー&フェイ・リム(シトラス・プラクティス)(Chong Gua Khee & Faye Lim(CITRUS Practices))

デビッド・タン(David Tan)

フィエ ネオ(Fié Neo)

カマル・ドラー&サイフル・アムリ(カマル・アーツ、シンガポール)(Kamal Dollah & Saiful Amri (Kamal Arts, Singapore))

リー・セチン(Lee Sze-Chin)

マーヴィン・イエ(ベンチャー・ミュージック・アジア)(Mervyn Ye (Venture Music Asia))

ナショナルギャラリーシンガポール(NGS)(National Gallery Singapore (NGS))

ン・ゼー・ミン&フー・クアン・シエン(プロデューサーSG)(Ng Sze Min & Hoo Kuan Cien (Producers SG))

NTUCフリーランス・自営業ユニット(U FSE)(NTUC Freelancers and Self-Employed Unit(U FSE))

プロボノ・シンガポール(Pro Bono Singapore)

シート・ユン・テン&チョン・グア・キー(Seet Yun Teng & Chong Gua Khee)

シンガポール精神衛生協会(Singapore Association for Mental Health)

ユーシャ・メノン(Usha Menon)

ARHコネクツ・イベント・シリーズは、芸術に従事する個人事業主(SEP)のための学習とネットワーク構築を支援することを目的としており、その範囲は財務、法律、健康にまたがっています。

2022年5月、プロボノ・シンガポール(当時は法律協会プロボノ・サービス)、NGS、シンガポール精神衛生協会は、芸術に従事する個人事業主を対象に、フリーランスとの契約や著作権法、非代替性トークンにまつわる噂の信憑性、マークメイキングによるストレス解消法などについてのオンラインセッションを実施しました。

2022年9月、ARHコネクツは、2021年度個人事業主グラント(SEPG)および組織変革グラント(Organisation Transformation Grant、OTG)の受給者と芸術に従事する個人事業主が一堂に会する対面セッションを再開し、インサイトを共有する場を提供しました。さらに、プロデューサーSGとセンター42は、プロジェクト管理、オーディオ制作、編集に関する実践的なワークショップを開催しました。2023年3月、芸術に従事する個人事業主が一堂に会し、ネットワーク構築、芸術プロジェクトにおけるテクノロジーの活用、各芸術分野にわたる著作権法、利用可能なさまざまな財源について学びました。

(写真上:2023年3月に開催された「ネットワーキング:重要なマーケティング戦略(Networking:A Vital Marketing Strategy)」セッションでの芸術に従事する個人事業主と講演者のユーシャ・メノン)

バスキング・エンゲージメント・セッション(Busking Engagement Sessions)

開催日 2022年3月~11月

場所 各地

2022年3月29日にバスキング(路上パフォーマンス)が再開されたことを受け、NACは2022年3月から11月にかけて、バスキングコミュニティの関係者と15回以上のエンゲージメント・セッションやブリーフィングを行いました。バスキングの経験や課題から、バスキングEサービスポータルやオーディションに関するフィードバックまで、さまざまなトピックについてバスカーたちが意見を交換しました。

(写真下:エンゲージメント・セッションで意見交換するバスカーたち)

P36

第3章:リーチの拡大

芸術を通して、私たちは自分たちの文化や物語を世界中の人々と共有することができます。国内芸術家への国際的な舞台の提供や、高い評価を得ている業界の著名人らを招聘し私たちの芸術シーンを体験してもらうなど、視野やリーチの拡大に取り組んでいます。

シュビギ・ラオ(Shubigi Rao)、『パルプIII: 追放された本の略歴(Pulp III: A Short Biography of the Banished Book)』(2022)。第59回国際美術展(ヴェネチア・ビエンナーレ)のシンガポール・パビリオン。シンガポール・ナショナル・アーツ・カウンシル委嘱、ウテ・メタ・パウアー監修、ラウラ・ミオット展示デザイン
クレジット: Photograph by Alessandro Brasile
クレジット: Arts House Limited

P37

第3章:リーチの拡大 > 国際化への取り組み

シンガポール・パビリオン(Singapore Pavilion)(第59回ヴェネチア・ビエンナーレ2022)

開催日 2022年4月23日～11月27日
場所 イタリア、ヴェネチア
リーチ 244,000人(シンガポール・パビリオン)
823,000人(ヴェネチア・ビエンナーレ)

この権威あるコンテンポラリーアートの祭典に、芸術家のシュビギ・ラオ(Shubigi Rao)とキュレーターのウテ・メタ・パウアー(Ute Meta Bauer)が、シンガポールを代表して10回目の参加を果たしました。『パルプIII: 追放された本の略歴』と題された本展は、本の破壊と、それが知識の未来に与える影響の歴史を探索するラオの10年にわたるプロジェクト「パルプ」のちょうど中間地点となりました。ビエンナーレは2022年4月23日から11月27日まで開催され、会期中、シンガポール・パビリオンには過去最高の24万4000人近くが訪れました。

(写真上: (左から)ロー・エン・ティオン(Low Eng Teong) NAC前副CEO、エドウィン・トン(Edwin Tong) MCCY大臣、ウテ・メタ・パウアー(Ute Meta Bauer)学芸員、シュビギ・ラオ・アーティスト、リー・トゥン・ジーン(Lee Tung Jean) MCCY次官(文化・スポーツ)、テイ・トン(Tay Tong) NACセクター開発(視覚芸術)ディレクター)

ARKO 国際芸術シンポジウム2022(ARKO International Arts Symposium 2022)

開催日 2022年6月7日～8日
場所 デジタル
協賛 韓国アーツカウンシル(Arts Council Korea)

韓国アーツカウンシル(ARKO)が主催した「国際芸術シンポジウム2022」では、NACのローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前最高経営責任者がオンライン開会の挨拶を行いました。また、エスプラネードのイヴォンス・タム(Yvonne Tham)最高経営責任者は、持続可能性と芸術について語り、デジタルアーティストデュオのスパン&レイは「クリエイティブ・フリクション」とARKO-NAC覚書(MoU)によって現在進行中のプロジェクト「プルリトピア(Pluritopia)」について語りました。

(写真下: デジタルアーティストデュオのスパン&レイが、「クリエイティブ・フリクション」とARKO-NAC覚書(MoU)によって現在進行中のプロジェクト「プルリトピア(Pluritopia)」について語りました。)

P38

第3章:リーチの拡大 > 国際化への取り組み

第8回 世界都市サミット(8th World Cities Summit)

開催日 2022年7月31日～8月3日
協賛 居住可能都市センター(Centre for Liveable Cities)、国家開発省(Ministry of National Development, MND)、都市再開発局(Urban Redevelopment Authority, URA)

NACのローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前CEOとロー・エン・ティオン(Low Eng Teong)前副CEOは、第8回世界都市サミット(World Cities Summit, WCS)に参加し、世界各国の政府リーダーや業界の専門家とともに、クリエイティブエコノミー、コネクテッド・ソサエティ、そしてシンガポールの特色ある都市を推進する上で、文化芸術が不可欠な役割を果たすことについての見識を共有しました。本サミットのテーマは「住みやすく持続可能な都市: より強くなる都市へ(Liveable and Sustainable Cities: Emerging Stronger)」であり、持続可能な資金調達、スマートシティ、不動産、計画に焦点を当てました。

世界都市サミットは、居住可能都市センター、MND、URAが主催する2年に1度の全国イベントです。市長、政府高官、国際機関の幹部、ビジネスリーダー、学者、政策立案者、一般市民が出席しています。

(写真上: 第8回世界都市サミットのシニア・リーダーズ・ラウンドテーブルで講演するローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC CEO)

IFACCA第8回 総会およびリーダーシップサミットおよび文化政策に関する世界会議、通称「Mondiacult2022」(Mondiacult 2022 World Conference on Cultural Policies)

開催日 2022年9月27日～30日
場所 国際アーツカウンシル・文化機関連盟(The International Federation of Arts Councils and Agencies, IFACCA)およびメキシコ政府文化省

メキシコ政府文化省は、2022年9月27日～30日に開催された文化政策に関する世界会議、通称「Mondiacult2022」とIFACCA第8回総会(GA)およびリーダーシップサミットに、当時NACのCEOであったローザ・ダニエル(Rosa Daniel)を招待しました。文化政策に関する世界会議、通称「Mondiacult2022」は、ユネスコ加盟国と国際社会が、この文化領域における多国間の協力と行動を促進するための重要な対話の場です。また、2022年9月27日にIFACCA第8回総会が同時開催されました。

ローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC最高経営責任者(CEO)は、文化・クリエイティブ部門の労働条件を改善するための政策について議論するIFACCAのイン・フォーカス・フォーラム(In Focus Forum)のパネリストを務めました。

(写真下: IFACCAのイン・フォーカス・フォーラムで講演するローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC CEO)

P39

第3章:リーチの拡大 > 国際化への取り組み

プルリトピア・ビエンナーレ(Pluritopia Biennale)

開催日 2022年9月23〜28日

リーチ 2,000人以上

協賛 韓国文化芸術委員会(Arts Council Korea)、スパン&レイ(Spang & Lei)

NACの委託を受け、スパン&レイは、ARKOとNACのMoUのためのNAC委託事業である「プルリトピア・ビエンナーレ」を企画。1週間にわたるバーチャルツアーで構成され、メタバース空間で開催された2日間のビエンナーレでクライマックスを迎えました。シンガポールと韓国から参加した芸術家は、メタバースという新しいエコロジーにおける芸術の実践や、複数のユートピア間、さまざまな存在間の相互接続性などをテーマに、講演やマスタークラスを開催しました。NAC副CEOのリネット・パン(Lynette Pang)は、ビエンナーレで開会の辞を述べました。

(写真上:メタバースで開催された「プルリトピア」祝賀パーティー。韓国、シンガポール等から数千人の視聴者が集まりました。
クレジット:Pluritopia)

第4回 国際アート・リーダーシップ・ラウンドテーブル(4th Edition of The International Arts Leadership Roundtable)

開催日 2022年12月15日

場所 香港芸術發展局(Hong Kong Arts Development Council)

香港芸術發展局はローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC最高経営責任者(CEO)を2022年12月15日に開催された第4回国際アート・リーダーシップ・ラウンドテーブル(International Arts Leadership Roundtable, IALR)に招待しました。2013年に発足したIALRは、国際的なアートのリーダーたちを集め、芸術のエコシステムを発展させるための新しいアイデアを共有しています。今回のIALRは、香港特別行政区(HKSAR)25周年の節目として、文化芸術産業の地域的・国際的な文化協力を促進するため、第12回アジア文化協力フォーラム(12th Asia Cultural Co-operation Forum)と併催されました。

ローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC最高経営責任者(CEO)は、韓国文化芸術委員会(Arts Council Korea)のイ・ユンヒ(Lee Yoon-he)ビジネスイノベーション局長、オーストラリア芸術協議会のエイドリアン・コレット(Adrian Collette)CEOとともに、IALRのパネルディスカッションで「デジタル変革の時代を再考する」というテーマで講演しました。

(写真下:ローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC CEO(左から4人目)。第4回国際芸術リーダーシップ・ラウンドテーブル(International Arts Leadership Roundtable)にてリーダーたちとともに)

国際舞台芸術協会2023年大会(2023 International Society For The Performing Arts Congress)

開催日 2023年1月10日〜12日

場所 ニューヨーク、国際舞台芸術協会(International Society For The Performing Arts, ISPA)

NACとISPAとのパートナーシップの一環として、2021年から2024年までフェローシップに参加する以下の4人の芸術家が選ばれ、ISPA2023ニューヨーク大会「今の緊急性(Urgency of Now)」に参加しました。

- 1.クイック・スウィー・ブーン(Kuik Swee Boon)、T.H.Eダンスカンパニー創設芸術監督、ボード・ディレクター、プリンシパル・コレオグラファー
- 2.郭建宏(クオ・ジェンホン)(Kuo Jian Hong)、シアター・プラクティス(実践劇場)』芸術監督
- 3.モハマド・シャイフルバフリ(Mohanmad Shaifulbahri)、パフリ&カンパニー芸術監督
- 4.シュリダール・マニ(Shridar Mani)、オペラ・ピープル社カンパニー・マネージャー兼共同芸術監督

フェローたちは、芸術におけるインクルーシブな実践、リーダーシップ、デジタルプログラミングなどをテーマにしたパネルセッションやディスカッションに参加しました。また、ネットワーキングセッションやProEx(非公式見本市)にも参加し、自分の作品を売り込む機会を得ました。2023年1月、同大会には200以上の都市、51カ国から500人以上の代表が参加しました。

(写真上:ISPAフェロー、ニューヨーク在住のシンガポール人芸術家、シンガポール政府観光局、在ニューヨーク・シンガポール共和国領事館職員とのランチセッション)

P40

第4章:芸術シーンの展開

芸術は私たち皆のものです。シンガポールにおいて持続可能な芸術エコシステムを確保するということは、誰もがその役割を担っているということを意味します。パートナーやパトロンたちは、私たちと密接に協力し、パートナーシップ、助成金、インフラを通じて芸術コミュニティを支えてくれています。強固で活気ある芸術シーンを発展させ続けるために協力し合いながら、市民の皆様からのさらなるご支援がありますことを願っています。

ART:DISシンガポール(ART:DIS Singapore)とNACが主催する「芸術と障がいフォーラム(Arts & Disability Forum)」。(左から)バルビール・シン博士(Dr Balbir Singh)ダウン症協会顧問・設立委員長、エリック・チュア(Eric Chua)MCCY・社会家族開発省上級政務官、スカイ・シェン(Sky Shen)シンガーソングライター

P41

第4章:芸術シーンの展開 > 文化芸術分野への支援策

NAC - UOB MoU調印式

2022年10月10日、ユナイテッドオーバーシーズ銀行(UOB)とNACは、シンガポールの活気ある芸術シーンの発展を支援するため、協力的かつ戦略的なパートナーシップを約束する3年間の覚書に調印しました。

このパートナーシップは、文化芸術分野のビジネスや資金管理における能力の強化、新たな潜在的パトロンや観客の開拓、芸術の価値を実証するために必要な支援の提供を目的としています。これは、UOBによる40年以上にわたる東南アジアにおける芸術と芸術家の支援活動に基づく提携であり、同分野の長期的な持続可能性を目指すものです。

(写真上:調印式に出席したウィー・イー・チョン(Wee Ee Cheong)UOB副会長兼CEOとローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC CEO
クレジット:United Overseas Bank)

フランス大使館 - NAC MoU調印式

開催日 2022年7月22日
場所 ザ・アーツハウス
協賛 シンガポール・フランス大使館

シンガポール・フランス大使館とNACは2022年7月にMoUを締結し、今後5年間にわたり、文化芸術機関による視覚芸術、文学、舞台芸術の分野における二国間のアーティスト・イン・レジデンス・プログラム(Artist-in-Residency Programme)の創設を支援することを約束しました。

(写真下:2022年7月22日、ザ・アーツハウスにてフランス大使館とNACのMoU調印式が行われました。マルク・アベンスール(Marc Abensour)フランス大使、ローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC最高経営責任者(左から6人目、7人目)。ゲストは(左から)シンガポール国際写真祭ディレクターのグウェン・リー(Gwen Lee)、グレイ・プロジェクト創設者のジェイソン・ウィー(Jason Wee)(右))

P42

第4章:芸術シーンの発展 > 芸術への寄付

アートボランティア

2021年、アートボランティアの管理者がベストプラクティスを共有するためのプラットフォーム「実践コミュニティ(Community of Practice)」がスタートしました。フィッシュボウル(Fishbowl)やワールド・カフェ(World Café)といったファシリテーションのテクニックを使い、アートボランティアの募集、維持、認知といった問題を克服するための方法を模索しました。コンサルタントのゴピナサン(Gopinathan)が率いるこのグループは、フリーの芸術家のほか、ナショナルギャラリーシンガポール(National Gallery Singapore)、シンガポールブックカウンシル(Singapore Book Council)、シンガポール演劇教育者協会(Singapore Drama Educators Association)、ヴォイス・オブ・シンガポール(Voices of Singapore)といった芸術団体の代表者で構成されています。

主な業績

調達金額710万ドル以上
助成を受けた芸術団体数31

組織資金

資金提供された芸術団体数15(うち3団体は2022年)
公益団体(IPC)として認可ステータスを取得した芸術団体数7(うち5つは2022年に取得)

プログラム助成

資金提供されたプログラム数19(2022年、13団体に対して)
2022年完了したプログラム数16

芸術の持続基金(Sustain the Arts Fund)

芸術の持続(Sustain the Arts, stART)基金は、小規模な文化芸術団体の長期的な持続可能性を高め、芸術への寄付文化を育成するために、NACが民間セクターの支援を受けて実施しているプログラムです。組織資金を通じて小規模な芸術団体の能力開発を行い、プログラム助成を通じて地域社会にインパクトのあるプログラムを提供できるよう、これまで710万ドル以上の資金調達を行いました。

この業績は、芸術の持続(Sustain the Arts, stART)基金の創設者、大口寄付者、そして地域社会の寄付によって実現したものです。これは、2022年第2四半期に発表されたstARTインパクト評価報告書において、望ましい成果とインパクトを生みしました。

P43

第4章:芸術シーンの発展 > 芸術への寄付

文化マッチングファンド(Cultural Matching Fund)

NACが運営する文化マッチングファンド(Cultural Matching Fund, CMF)は、2022年4月からさらに1億5,000万ドルの寄付金を受領しました。これにより政府が拠出する資金は総額5億ドルに達しました。これは、シンガポールの芸術・遺産慈善団体の長期的な持続可能性を高め、同地域の文化的慈善活動をさらに促進するものです。

現在までに、CMFは121を超える芸術と遺産の慈善団体に資金を提供し、芸術と遺産の慈善団体および公共の性格を有する機関(IPC)に対する3億4,000万ドルを超える個人からの現金寄付において、1ドルにつき1ドルのマッチング寄付を行ってきました。

CMFの小規模なチャリティ団体への継続的な支援活動を通じて、シンガポップ・ミュージック・リミテッド(Singpop Music Limited)、チェンバー・ミュージック・アンド・アーツ・シンガポール・リミテッド(Chamber Music and Arts Singapore Limited)、レッド・ドット・バロック・リミテッド(Red Dot Baroque Ltd)など多くの芸術団体がその恩恵を受けています。

CMFにより、ART:DISシンガポールのようなインパクトのあるプログラムのキュレーションを可能にします。ART:DISシンガポールのビジュアルアートやパフォーマンスアートのプログラムでは、障がい者(PwD)が芸術的な関心や自己肯定感を高め、支援されたコミュニティの積極的な一員となることを実現してきました。

(写真上:「芸術と障がいフォーラム(Arts & Disability Forum) 2023」にてART:DISによる舞台『王子様と出会った日(Day I Met The Prince)』
クレジット:ART:DIS)

第40回パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード2023(Patron of the Arts Award 2023)

主要寄付統計

4,500万ドル以上を404人の受賞者が寄付
1,900万ドル以上の現物寄付
2,500万ドル以上の現金寄付
45%以上の初受賞者

パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード2023(Patron of the Arts Awards 2023)

2023年9月12日ホテル・エクエリアスにて、「第40回パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード(Patron of the Arts Awards 2023)」が開催され、404名のパトロン(後援者)が表彰されました。COVID-19以降、400人以上の受賞者から4,500万ドル以上の芸術への寄付が寄せられました。これは3年ぶりの高水準で、COVID-19の流行からの力強い回復を示すものとなりました。SPHメディアとUOBは、地域の芸術環境の総合的な発展に向けた長年の支援と、芸術家がより広いコミュニティにポジティブな影響を与えられるよう支援していることが評価され、第1回芸術名誉後援者賞を受賞しました。文化芸術分野では近年パトロン数が45%の増加をみせていますが、これはアート・フィナンソロピーが成熟し、芸術団体の資金調達能力が向上していることの証です。著名なパトロンであるニー・アン・コンシ(Ngee Ann Kongsi)、UOL、パン・パシフィック・グループ(Pan Pacific Group)、そして劉国星財団(The Liu Kuo-sung Foundation)とのパートナーシップのおかげで、芸術家たちはその技術を高め、芸術体験を共有し、コミュニティ間の絆を強める上で、強力なサポートを受けてきました。

P44

第4章:芸術シーンの展開 > 調査とリソース

芸術と文化のデジタルエンゲージメントに関する調査

芸術活動、観客動員、芸術プログラムやサービスの提供、さらには文化芸術分野の運営方法に至るまで、アートにおけるテクノロジーの影響はますます強くなっています。COVID-19の大流行といった外的要因も、文化芸術分野のデジタル化や観客との関わり方などに転換をもたらしました。

「芸術と文化のデジタルエンゲージメントに関する調査」の第2弾では、全体的なデジタル芸術への関与については2016年の第1回調査とほぼ同じ結果であることが分かりました。

一方で、芸術形態全体におけるオンライン消費は顕著に増加を見せており、より多くの人々がコンテンツを検索・消費していることが明らかになりました。

ライブとオンラインの芸術活動に対する嗜好は、芸術の形態によって異なりますが、オンラインコンテンツに対する支払い意欲は高まりをみせています。

また、より多くのデジタルユーザーが、文化芸術に誇りを感じ、帰属意識を持ち、文化芸術を家族や友人とのより良い関係を築くための媒体であると考えています。

オンラインコンテンツへの支払い意欲の増加

特定の条件下ではオンラインコンテンツに対する支払い意欲が増加（価格がライブより安い場合や、ライブ配信や、オンライン講座である場合）
オンラインコンテンツは無料であるべき

2021年60%

2016年63%

ライブより安ければ、オンラインコンテンツにお金を払う

2021年45%

2016年33%

ライブ配信にお金を払う

2021年35%

2016年24%

アートに関するオンライン講座にお金を払う

2021年32%

2016年24%

P45

第4章:芸術シーンの展開 > 調査とリソース

アートフィランソロピー:企業寄付リサーチ2022(Arts Philanthropy: Corporate Giving Research 2022)

NACは、民間セクターからの支援を拡大・深化させるための知見を得るために、2022年に第2回目となる「アートフィランソロピー調査」を委託によって実施しました。

アートフィランソロピーに対する企業の動機と感情に焦点を当てたこの調査では、芸術団体の成長分野を特定し、エンゲージメントを強化するための包括的な現在と将来の寄付傾向に関する情報が提供されました。企業が芸術に寄付を行う動機には、クリエイティブエコノミーと芸術に秀でた都市を築き上げることで、企業の事業目標の達成や人々を惹きつけることによる人材の確保につながるといったものがあることが明らかになりました。

主要統計

今後3年間:

● 約3分の1が芸術への寄付を始める意向

● 現在の企業寄付者の半数以上が、芸術分野への寄付を増やす意向を示す

第3回全国音楽消費調査2022年(3rd National Music & Consumption Survey 2022)

開催日 2022年6月10日～7月22日

「第3回全国音楽消費調査」は、シンガポール人の音楽消費習慣と、シンガポール人が作曲または演奏した音楽に対する認識を調査することを目的としたものです。15歳以上のシンガポール在住者1,000人以上を対象に、2022年6月10日から7月22日まで戸別訪問による聞き取り調査を実施しました。

2022年版は、COVID-19の流行後のライフスタイルや嗜好の変化を捉えたもので、COVID-19の流行後に実施された最初の調査となります。

調査結果によると、シンガポール人は1日3時間音楽を聴いていますが、これは2019年と比較して1時間多く、2022年の世界週間平均20.1時間を上回っています[1]。オンラインメディアは音楽を聴く、新しい音楽を発見する主要な手段として、着実に支持を集めています。また回答者のうち、音楽に興味を示す人の割合が15歳から34歳で有意に高いことも明らかになりました。

回答者の10人に7人が過去1年間にシンガポール人芸術家の音楽を聴いています。2022年もCOVID-19の流行後に音楽イベントの入場者数が増加傾向にありました。

[1] 出典: IFPI Engaging with Music Report 2022, <https://www.ifpi.org/ifpi-releases-engaging-with-music-2022-report/>

P46

第4章:芸術シーンの展開 > 調査とリソース

NAC芸術教育フレームワーク(NAC Arts Education Framework)

2023年1月に発足した「NAC芸術教育フレームワーク」は、3つの重点分野と5つの重点ポイントから構成されています。この枠組みは、芸術に関する学習だけでなく、芸術を通じた学習の重要性を強調しており、NAC、教育省(Ministry of Education, MOE)、文化芸術分野の間で共有されている優先事項が反映された、明確な学習成果を得られるようなプログラム設計を行うための指針となっています。

芸術家主導の芸術教育プログラムが望ましい教育成果を達成し続け、就学前から高等教育レベルまでの幅広い学校形態に対応し続けるためにも、2019年、NACは戦略的見直しに着手し、MOEと幼児開発庁(Early Childhood Development Agency)、学校の指導者や教師、ティーチングアーティスト、芸術団体、芸術教育会社からの意見を募りました。COVID-19の流行の数年間には生徒たちの学習体験にも混乱が生じましたが、同時にレベル横断的な芸術学習の重要性を再確認し、社会的・感情的な幸福を強化し、地域や文化を超えた理解を促進すべき機会であるとの考えに至りました。

2021年芸術に関する人口調査(Population Survey for the Arts 2021)

NACは、シンガポールの文化芸術状況を調査する継続的な取り組みの一環として、2009年から隔年で「芸術に関する人口調査」を実施しています。2022年11月24日に発表された同調査では、シンガポール人の芸術・文化の価値に対する認識、芸術・文化活動への参加レベル、芸術・文化イベントや活動に参加する際にシンガポール人が直面する動機や障壁について調査されています。

2019年の前回調査と比較すると、2021年の全体的な鑑賞率は8%減の79%となり、COVID-19の流行の影響で、会場での鑑賞率は69%から43%に低下しました。デジタルアートの鑑賞についてはわずか4%ポイントの減少でした。この調査では、回答者の82%が芸術を自分たちが誇れるものとして考えており、71%が文化芸術は創造的な産業としてシンガポールの経済に貢献できると回答しています。芸術に関わる人のうち、3分の1以上がシンガポールの芸術家のコンテンツを意図的に消費し、47%が興味を示し、40%がシンガポールの芸術家を支援したいと回答しました。

(写真下:「芸術に関する人口調査(the Population Survey on the Arts)2021」で把握された全体的な芸術鑑賞者数)。

P47

第4章:芸術シーンの展開 > 調査とリソース

ショッピングモールで芸術に触れる

協賛 GR.iD、カラン・レジャー・パーク

2013年以来、NACはURAのコミュニティ／スポーツ施設スキームを活用し、地域住民が身近なスペースで文化芸術を体験できるように、ショッピングモール内に芸術活動スペースを併設しています。

2022年3月～4月には、2つの定評あるダンスカンパニー、シンガポール・バレエ・アカデミー(Singapore Ballet Academy, SBA)とOスクール(O school)がショッピングモールのカラン・レジャー・パーク(Kallang Leisure Park)とGR.iDに併設されました。GR.iDモールに移転したことで、Oスクールはより多くのスペースを利用できるようになりました。またフリーランスの芸術家やグループによるダンスイベント(ショーケース、バトル、コースなど)にスペースを開放することで、地域のダンスコミュニティをモールに集結させることができます。さらにGR.iDとOスクールは強い連携でターゲット層である若者にアピールし、同地区に活気をもたらしています。SBAは地域社会に、ダンスクラスや教育的プレゼンテーション、講義、デモンストレーションといった教育プログラムの提供も行ってきました。また、カラン・レジャー・パーク内に併設することで、この活気のあるスポットに集まる人々との相乗効果も期待できます。

(写真上:カラン・レジャー・パーク内のシンガポール・バレエ・アカデミーのスタジオでバレエクラス
クレジット:Singapore Ballet Academy)

公募による芸術団体へのアートの提供

NACが管理するアートのスペースの延べ床面積(GFA)は、1985年から比べて5倍以上に増加しています。NACは、作品制作、リハール、プログラミング、創造的な場づくりのために芸術活動スペースを提供しています。

NACは、2010年に「アートのスペースのためのフレームワーク(Framework for Arts Spaces)」を展開するにあたり、アートハウジング事業が文化芸術分野にとって重要なリソースであることを再認識しました。また同スペースには補助金が拠出されるため、定期的な公募を通じて利用を確保するよう努めました。

さらに、2022年9月から10月にかけて、グッドマン・アートセンター(Goodman Arts Centre)内のスペースの公募を行い、プレスメイキングに関心のある芸術団体に、ウォータールー・ストリートとミドル・ロードのアートセンター・スペースでの公募に参加するよう呼びかけました。

(写真下:ウォータールー・ストリートとミドル・ロードのアートセンター・スペースの公募例)

政策研究所 - NAC芸術文化研究シンポジウム2022 (Institute of Policy Studies - NAC Arts and Culture Research Symposium 2022)

開催日 2022年8月25日

協賛 政策研究所(Institute of Policy Studies:IPS)

毎年開催される「芸術文化研究シンポジウム」は、芸術研究の多様性を認識し、アートプラクティショナーと研究者がアイデアを議論する場となっています。

IPSとの共催で「幸福と社会的包摂における芸術の役割(The Role of Arts in Well-Being and Social Inclusion)」をテーマに開催された今回のシンポジウムでは、従来の臨床的アプローチを補完し、個人的・社会的レベルにおける幸福を向上させるものとして、医療に芸術を活用することへの関心と研究の高まりについて掘り下げました。シンポジウムはハイブリッド形式で開催され、芸術、学術、公共、医療、社会分野から200人以上が参加しました。

(写真上:左から)キャスリーン・アグレス博士(Dr Kathleen Agres)、ビクター・チワン(Victor Zhuang)、ジェスビン・ヨー博士(Dr Jesvin Yeo)によるパネルディスカッション(司会はジャスティン・リー博士(Dr Justin Lee))
クレジット:Institute of Policy Studies)

F1

財務

目次

ページ

アーツカウンシルメンバーによる声明...F2

独立監査人の報告書...F2-F4

包括損益計算書...F5

財政計算書...F5

資本金および準備金の増減計算書...F6

キャッシュフロー計算書...F6

財務諸表に関する注記事項...F7-F21

F2

財務

アーツカウンシルメンバーによる声明

2023年3月31日に終了する会計年度

ナショナルアーツカウンシル(以下、「当アーツカウンシル」)のメンバーは、2023年3月31日に終了した会計年度の監査済み財務諸表とともに、声明を発表する。

当アーツカウンシルメンバーの意見では、

- (a) F5 ページから F21 ページに記載されている当アーツカウンシルの財務諸表は、公共部門(ガバナンス)法 2018 の規定に従い、2023 年 3 月 31 日現在の当アーツカウンシルの真実かつ公正な見解、ならびに同日終了した会計年度の当アーツカウンシルの財務実績、資本および準備金の変動、キャッシュフローを示すように作成されている。2018年法律第5号(「公共部門(ガバナンス)法」)、1991年ナショナルアーツカウンシル法(以下、「NAC法」)、1994年慈善事業法およびその他の関連規則(「慈善事業法および規則」)、および法定理事会財務報告基準(「SB-FRS」)の規定に従って、当該会計年度の財務実績および資本金、準備金の変動、キャッシュフローを報告する。
- (b) 会計年度中、当アーツカウンシルによる資金の受領、支出、投資、資産の取得と処分が、公共部門(ガバナンス)法、NAC法、慈善事業法および規則、ならびに当アーツカウンシルの資金または当アーツカウンシルが管理する資金に適用されるその他の成文法の要件に従っていたこと。
- (c) 購入、寄付、その他を問わず、当アーツカウンシルのすべての資産に関する記録を含め、適切な会計記録およびその他の記録が当アーツカウンシルによって保管されていること。
- (d) 寄付金の使途が、慈善団体(公共的性格を有する機関)規則第11条に定める芸術支援基金の目的に沿ったものであること。
- (e) 芸術支援基金は、慈善団体(公共的性格を有する機関)規則第15条(募金費用)の要件を遵守している。

当アーツカウンシルメンバーを代表して

ゴー・スイー・チェン会長

2023年6月1日

ロー・エン・ティオン

最高経営責任者

独立監査人の報告書

ナショナルアーツカウンシルのメンバー各位
2023年3月31日に終了する会計年度

財務諸表の監査に関する報告書

監査意見

当監査法人の意見では、ナショナルアーツカウンシル(以下「当アーツカウンシル」という)の添付の財務諸表は、2018年法律第5号「公共部門(ガバナンス)法」(以下「公共部門(ガバナンス)法」という)、1991年国立芸術アーツカウンシル法(以下「法」という)の規定に従って適正に作成されている、1994年慈善事業法およびその他の関連規則(以下、「慈善事業法および規則」)および法定理事会財務報告基準(以下、「SB-FRS」)の規定に従って作成されており、2023年3月31日現在のカウンシルの財政状態、および同日をもって終了する年度のカウンシルの業績、資本金および準備金の変動、キャッシュフローをすべての重要な側面において公正に表示している。

監査内容

当アーツカウンシルの財務諸表は以下のように構成されている:

- 2023年3月31日に終了する年度の包括損益計算書
- 2023年3月31日現在の財政計算書
- その時点で終了した年度の資本金および準備金の増減計算書
- その時点で終了している年度のキャッシュフロー計算書
- 重要な会計方針の要約を含む財務諸表の注記

監査意見の表明の根拠

我々は、シンガポール監査基準(SSA)に準拠して監査を実施した。これらの基準における我々の責任は、我々の報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」の項に詳しく述べられている。

我々は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

独立性

我々は、会計企業規制機構(Accounting and Corporate Regulatory Authority)の「公認会計士および会計事業者の職業上の行動および倫理に関する規範」(ACRA Code of Professional Conduct and Ethics for Public Accountants and Accounting Entities)(以下「ACRA規範」)に従い、シンガポールにおける我々の財務諸表監査に関連する倫理的な要求事項とともに当アーツカウンシルから独立しており、これらの要求事項およびACRA規範に従ってその他の倫理的責任を果たしている。

F3

財務

独立監査人の報告書

ナショナルアーツカウンシルのメンバー各位
2023年3月31日に終了する会計年度(続き)

その他の情報

その他の情報については、経営者がその責任を負っている。本監査報告書の日付時点で入手できるその他の情報は、当アーツカウンシル構成員による声明書であるが、財務諸表およびそれに対する監査報告書は含まれていない。

財務諸表に対する我々の意見はその他の情報を対象としておらず、我々はそれに対していかなる保証結論も表明しない。

財務諸表の監査に関連して、我々の責任は、その他の情報を読み、その際に、その他の情報が財務諸表または監査で得た我々の知識と重要な矛盾がないか、あるいは重要な誤謬があるかどうかを検討することである。

監査報告書の日付以前に入手したその他の情報に関して実施した作業に基づいていて、この他の情報に重要な虚偽表示があると結論付けた場合、その事実を報告することが要求される。この点に関して、当監査法人は何ら報告する必要性はない。

財務諸表に対する経営者及び監査役等の責任

経営陣は、公共部門(ガバナンス)法、NAC法、慈善事業法および規則、SB-FRSの規定に従って財務諸表を作成し、公正に表示すること、ならびに不正または誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成するために経営陣が必要と判断する内部統制について責任を負う。

法定理事会はその憲法に基づき構成され、その解散には議会の承認が必要となる。財務諸表の作成にあたり、経営陣は、継続企業として継続する能力を評価し、該当する場合には継続企業に関する事項を開示し、当アーツカウンシルを清算する意向または当アーツカウンシルが事業を停止する意向がない限り、継続企業を基準として会計処理を行う責任がある。

ガバナンスを担う者は、当アーツカウンシルの財務報告プロセスを監督する責任を負っている。

独立監査人の報告書

ナショナルアーツカウンシルのメンバー各位
2023年3月31日に終了する会計年度(続き)

財務諸表の監査に関する監査人の責任

我々の目的は、不正又は誤謬によるかどうかにかかわらず、財務諸表に全体として重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得ること、及び我々の意見を含む監査報告書を発行することである。合理的な保証とは、高いレベルの保証であるが、SSAに準拠した監査の基準に準拠して実施された監査が、重要な虚偽表示が存在する場合に必ず発見できることを保証するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から生じる可能性があり、個別又は全体として、これらの財務諸表に基づいて行われる利用者の経済的意思決定に影響を及ぼすと合理的に予想される場合には、重要であると判断される。SSAに準拠した監査の一環として、当監査法人は、専門的な判断を以て、監査の期間中、職業的懐疑心を持続させるとともに、当該基準に従った監査を行った。また、我々は以下を実施する。

- 不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクを識別し、評価し、それらのリスクに対応する監査手続を立案し、実施し、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を取得する。不正行為には、共謀、偽造、意図的な省略、虚偽表示、内部統制の無効化などが含まれるため、不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、過誤によるものよりも高くなる。
- 状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解するが、当アーツカウンシルの内部統制の有効性について意見を表明することを目的としない。
- 経営者が採用した会計方針及び経営者が行った会計上の見積り並びに関連する開示の適正性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として会計処理を行うことの適切性、及び入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関する重要な不確実性が存在するか否かについて結論を下す。重要な不確実性が存在すると結論づけた場合、監査報告書において、財務諸表における関連する開示に注意を喚起し、その開示が不十分な場合には、意見を修正することが要求されている。当監査法人の結論は、当監査法人の監査報告書日までに入手した監査証拠に基づくものである。しかし、将来の事象や状況により、継続企業の前提(ゴーイングコンサーン)を失う可能性がある。
- 開示内容を含む財務諸表の全体的な表示、構造及び内容、並びに財務諸表が公正な表示を実現する方法で基礎となる取引及び事象を表しているかどうかを評価する。

我々は、計画した監査の範囲および時期、監査中に識別した内部統制の重要な不備を含む重要な監査結果などについて、監査役等と意思疎通を図る。

F4

財務

独立監査人の報告書

ナショナルアーツカウンシルのメンバー各位
2023年3月31日に終了する会計年度(続き)

その他の法規制要件に関する報告

監査意見

我々の意見では、

(a) 当該年度の当アーツカウンシルの収入、支出、資金の投資、資産の取得および処分が、すべての重要な点において、公共部門(ガバナンス)法、NAC法、慈善事業法および規則、ならびに当アーツカウンシルの資金または当アーツカウンシルが管理する資金に適用されるその他の成文法の要件に従っている、そして、
(b) 当アーツカウンシルにより、購入、寄付、その他を問わず、当アーツカウンシルのすべての資産に関する記録を含め、適切な会計記録およびその他の記録が保管されている。

当監査法人の監査の過程で、当監査法人が当該事業年度中に以下のような事態が発生したと信じるに足る事実はない。
(a) 芸術支援基金が、慈善団体(公共的性格を有する機関)規則第11条に定める目的に従って寄付金を使用していないこと
(b) 芸術支援基金が慈善団体(公共的性格を有する機関)規則第15条の要件を遵守していないこと。

監査意見の表明の根拠

我々は、SSAに準拠して監査を実施した。これらの基準に基づく当監査法人の責任は、当監査法人の報告書の「コンプライアンス監査に関する監査人の責任」の項に詳しく記載されている。我々は、シンガポールの財務諸表監査に関連する倫理的要求事項とともにACRAコードに従って当アーツカウンシルから独立しており、これらの要求事項およびACRAコードに従ってその他の倫理的責任を果たしている。当監査法人は、経営陣のコンプライアンスに関する意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

法的規制要件遵守のための経営者の責任

経営陣は、資金の収支、投資、資産の取得および処分が、公共部門(ガバナンス)法、NAC法、慈善事業法および規則、ならびに当アーツカウンシルの資金または当アーツカウンシルが管理する資金に適用されるその他の成文法の要件に従っていることを保証する責任がある。この責任には、当アーツカウンシルに関連するコンプライアンス要求事項を監視し、要求事項の遵守を可能にするために経営陣が必要と判断した内部統制を実施することが含まれる。

独立監査人の報告書

ナショナルアーツカウンシルのメンバー各位
2023年3月31日に終了する会計年度(続き)

コンプライアンス監査における監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人の財務諸表に対する監査に基づいて、経営者のコンプライアンスに対する意見を表明することにある。我々は、歳入、歳出、金銭の投資、資産の取得および処分が、公共部門(ガバナンス)法、NAC法、慈善団体法および規則、ならびに当アーツカウンシルの金銭または当アーツカウンシルが管理する金銭に適用されるその他の成文法の要件に従っているかどうかについて合理的な保証を得るために、コンプライアンス監査を計画し、実施した。

我々のコンプライアンス監査には、金銭の収支、投資、資産の取得と処分に関連する内部統制を理解すること、およびコンプライアンス違反による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクがある場合にはそのリスクを評価することが含まれるが、当アーツカウンシルの内部統制の有効性について意見を表明することを目的とするものではない。どのような内部統制システムにも固有の限界があるため、それにもかかわらずコンプライアンス違反が発生し、発見されないことがある。

ブライスウォーターハウスクーパース
LLP
公認会計士および勅許会計士
シンガポールにて、2023年6月1日

F5

財務

包括損益計算書

2023年3月31日に終了する会計年度

(\$)	2022 年度	2021 年度
営業利益		
拠出金と献金 (注記4)	399,600	456,589
チケット収入	273	140
レンタル収入 (注記5)	8,943,277	8,956,306
雑収入	8,851	83,316
	9,352,001	9,496,351
その他の収入		
受取利息	2,311,715	408,641
	2,311,715	408,641
その他の損失		
損益勘定を通じて公正価値で測定する金融資産の再評価損	(1,000,479)	(305,889)
	(1,000,479)	(305,889)
営業支出		
人件費 (注記6)	(26,246,433)	(24,146,908)
スタッフの福利厚生と能力開発	(592,320)	(488,791)
有形固定資産の減価償却費 (注記10)	(18,824,877)	(21,475,891)
助成金、協業、委託	(71,447,961)	(85,973,894)
奨学金	(1,023,229)	(922,425)
サービス料金	(3,572,851)	(3,672,290)
土地・建物賃貸料	(128)	-
その他レンタル	(205,204)	(212,743)
修理とメンテナンス	(4,581,175)	(4,374,026)
オフィスおよびその他備品	(234,064)	(323,785)
ユーティリティ	(40,157)	(122,603)
輸送、郵便、通信	(830,893)	(570,529)
広告、宣伝、プロモーション	(2,484,066)	(1,960,139)
アートハウジングスキームへの助成金	(7,933,540)	(7,439,717)
有形固定資産の減損	(152,914)	(30,555)
支払利息	(236,423)	(181,982)
その他の営業費用	(8,632,582)	(7,657,745)
	(147,038,817)	(159,554,023)
助成金加算前損失	(136,375,580)	(149,954,920)
助成金		
繰延資本交付金の償却 (注記13)	3,690,463	3,696,256
政府からの営業助成金 (注記15)	134,084,137	147,317,327
	137,774,600	151,013,583
純剰余および包括利益合計	1,399,020	1,058,663

添付の注記は財務諸表の一部である。

財政計算書

2023年3月31日現在

(\$)	2022 年度	2021 年度
資産		
流動資産		
現金および現金同等物 (注記7)	217,454,795	200,081,267
損益勘定を通じて公正価値で測定する金融資産 (注記8)	32,829,583	33,830,062
その他の債権、預り金および前払い金 (注記9)	6,261,389	4,602,515
	256,545,767	238,513,844
非流動資産		
有形固定資産 (PP&E) (注記10)	127,569,516	125,766,885
	127,569,516	125,766,885
資産合計	384,115,283	364,280,729
負債		
流動負債		
繰延資本交付金 (注記13)	2,245,391	3,162,753
その他の支払義務 (注記14)	43,433,493	44,224,103
借入金 (注記16)	8,236,458	6,420,897
政府補助金 (注記15)	87,059,261	75,293,677
	140,974,603	129,101,430
非流動負債		
繰延資本交付金 (注記13)	6,552,688	8,579,147
借入金 (注記16)	10,945,507	4,512,170
	17,498,195	13,091,317
負債合計	158,472,798	142,192,747
純資産	225,642,485	222,087,982
資本金および準備金		
株式資本 (注記17)	182,201,798	180,046,315
資本勘定 (注記18)	651,974	651,974
シンガポール芸術寄付金基金 (注記19)	16,255,467	16,255,467
累積剰余金	26,533,246	25,134,226
	225,642,485	222,087,982

添付の注記は財務諸表の一部である。

F6

財務

資本金および準備金の増減計算書

2023年3月31日に終了する会計年度

(\$)	株式資本	資本勘定	シンガポール芸術寄付金基金	累積剰余金	合計
2022 年度					
2022 年 4 月 1 日時点残高	180,046,315	651,974	16,255,467	25,134,226	222,087,982
包括利益合計	-	-	-	1,399,020	1,399,020
株式資本の発行 (注記17)	2,155,483	-	-	-	2,155,483
2023 年 3 月 31 日時点残高	182,201,798	651,974	16,255,467	26,533,246	225,642,485
2021 年度					
2021 年 4 月 1 日時点残高	180,046,315	651,974	16,255,467	24,075,563	221,029,319
包括利益合計	-	-	-	1,058,663	1,058,663
2022 年 3 月 31 日時点残高	180,046,315	651,974	16,255,467	25,134,226	222,087,982

添付の注記は財務諸表の一部である。

キャッシュフロー計算書

2023年3月31日に終了する会計年度

(\$)	2022 年度	2021 年度
営業活動から得たキャッシュフロー		
助成金加算前損失 調整額：	(136,375,580)	(149,954,920)
有形固定資産の減価償却費	18,824,877	21,475,891
有形固定資産除却損	-	39,375
有形固定資産の減損	152,914	30,555
損益勘定を通じて公正価値で測定する金融資産の再評価損	1,000,479	305,889
支払利息	236,423	181,982
受取利息	(2,311,715)	(408,641)
	(118,472,602)	(128,329,869)
運転資本の変動		
その他の債権、預り金および前払金	(34,235)	431,183
その他の支払債務	(927,591)	817,372
営業活動に使用した現金 (純額)	(119,434,428)	(127,081,314)
投資活動から得たキャッシュフロー		
有形固定資産の購入	(2,822,053)	(2,928,365)
有形固定資産の処分	-	280
受取利息収入	687,076	469,255
投資活動に使用した現金 (純額)	(2,134,977)	(2,458,830)
財務活動から得たキャッシュフロー		
政府補助金収入	146,596,363	167,131,007
リース債務の元本支払額	(9,572,490)	(10,014,353)
支払利息	(236,423)	(181,982)
財務大臣からの資本追加	2,155,483	-
財務活動から得た現金 (純額)	138,942,933	156,934,672
現金および現金同等物の純増加額	17,373,528	27,394,528
現金および現金同等物の期首残高	200,081,267	172,686,739
現金および現金同等物の期末残高 (注記7)	217,454,795	200,081,267

添付の注記は財務諸表の一部である。

F7

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

これらの注記は添付の財務諸表の不可分な部分を構成しており、併せて読む必要がある。

1. 一般情報

ナショナルアーツカウンシル

UEN番号 T08GB0033C

設立日 1991年8月17日

芸術支援基金

UEN番号 T08CC3019F

IPC番号 IPC000544

IPCステータス 2020年8月1日～2023年7月31日

リーガルパネル / 弁護士

アドサン法律事務所(Adsan Law LLC)

リー&リー(Lee & Lee)

ケルビン・チア パートナースhip

(Kelvin Chia Partnership)

銀行

香港上海銀行

(The Hong Kong and Shanghai Banking Corporation Limited)

DBS銀行(DBS Bank Limited)

OCBC銀行(OCBC Bank)

会計検査院(Accountant-General's Department)

(集中流動性管理スキーム)(Centralized Liquidity Management Scheme)

ナショナルアーツカウンシル(以下「当アーツカウンシル」)は、1991年国立芸術アーツカウンシル法に基づき設立された、文化コミュニティ青年省(以下「MCCY」)傘下の法定理事会である。

当アーツカウンシルの登録事務所および主たる事務所は、90 Goodman Road, Goodman Arts Centre Block A #01-01, Singapore 439053に所在する。

当アーツカウンシルの主な活動は以下の通り。

- (a) 芸術の鑑賞、理解、享受を促進する
- (b) 芸術団体の設立と発展を支援・援助する
- (c) 芸術活動を組織し、促進する
- (d) 芸術劇場やその他の芸術施設を設立・維持する

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

1. 一般情報 (続き)

当アーツカウンシルのメンバーは、芸術分野を含む官・民・人セクターの著名なリーダーから選出されている。同メンバーの役割は以下の通り。

- (a) シンガポールにおける芸術の発展と促進における当アーツカウンシルの活動を指導する。
 - (b) コーポレートガバナンスとフィナンシャルガバナンスの問題を監督し、主要な芸術構想や計画の計画について経営陣に助言する。
- 当アーツカウンシルの一部である芸術支援基金は、2020年8月1日から2023年7月31日までの3年間、公共的性格を有する機関(IPC)としてのステータスを再付与された。

2. 重要な会計方針

2.1 作成の基準

当アーツカウンシルの財務諸表は、以下の会計方針に開示されているものを除き、2018年法律第5号「公共部門(ガバナンス)法2018」(以下、「公共部門(ガバナンス)法2018」)、1991年国立芸術アーツカウンシル法(以下、「NAC法」)、1994年慈善事業法およびその他の関連規則(以下、「慈善事業法および規則」)、ならびに関連する解釈指針(以下、「INT SB-FRS」)を含む法定理事会財務報告基準(以下、「SB-FRS」)およびガイダンスノート(以下、「ガイダンスノート」)の規定に従い、取得原価主義に基づき作成されている。

SB-FRSに準拠した財務諸表の作成には、当アーツカウンシルの会計方針を適用する過程で経営陣の判断が必要となる。また、特定の重要な会計上の見積もりや仮定の使用も要求される。より高度な判断や複雑さを伴う分野、あるいは仮定や見積りが財務諸表にとって重要な分野については、注記3に開示されている。

2022年/2023年に発効する解釈指針および公表基準の改訂

2022年4月1日、SB-FRSおよびSB-FRSの解釈指針(以下「INT SB-FRS」)のうち、当該会計年度において適用が義務付けられている新規または改正SB-FRSを採用した。各SB-FRSおよびINT SB-FRSの経過規定に従って、必要に応じて会計方針の変更が行われている。これらの新規または改正SB-FRSおよびINT SB-FRSの適用により、当アーツカウンシルの会計方針が大幅に変更されることはなく、当期および過年度の報告金額に重要な影響を与えることはない。

F8

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

2. 重要な会計方針(続き)

2.2 収益認識

(a) チケットの販売、広告、芸術施設やその他の施設の賃貸から得られる収入は、役務が提供された時点で認識される。

(b) 現金拠出金および寄付金は、当アーツカウンシルが寄付金の管理権を取得した時点、または寄付金を受領する権利を取得した時点で収入として認識される。

制限および/または条件が付された寄付金は、制限および条件が当アーツカウンシルの管理範囲内にあり、条件が満たされる十分な証拠がある場合に収入として認識される。そうでない場合、これらの寄付金は認識され、上記の基準が満たされるまで、または制限や条件が満たされるまで、「繰延寄付金」勘定に計上される。

(c) 現物拠出/現物協賛は、受領した拠出の公正価値で測定され、拠出/現物協賛を受領する権利が確定した時点で収益として認識される。

(d) 利息収入は実効金利法を用いて認識される。

(e) オペレーティングリースからのレンタル収入(借手へのインセンティブ控除後)は、リース期間にわたって定額法で認識される。

2.3 政府補助金

政府からの補助金は、補助金を受領され、添付されたすべての条件を当アーツカウンシルが遵守する合理的な保証がある場合に、公正価値で受取債権として認識される。

政府補助金は、その補填を目的とする関連費用と対応させるのに必要な期間にわたり、体系的に収益として認識される。政府補助金のうち、既に発生した費用または損失に対する補償として受領可能なもの、または将来の関連費用を伴わない当アーツカウンシルへの即時財政支援を目的とするものは、受領可能となった期の包括損益計算書において認識される。

営業費用に関する政府補助金は、当年度の収入として認識される。当アーツカウンシル設立のための政府補助金は資本勘定に計上される。

減価償却可能資産の購入に関する政府補助金は、財務計算書上、繰延資本補助金として認識され、当該資産の予想耐用年数にわたり定額法で包括損益計算書に償却される。

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

2.重要な会計方針(続き)

2.4 従業員報酬

従業員給付は、その費用が資産として資産計上する適格性がある場合を除き、費用として認識される。

(a) 確定拠出年金

確定拠出年金制度は、当アーツカウンシルが中央積立基金(「CPF」)のような別組織に強制的、契約上、または任意で固定拠出金を支払う退職後給付制度である。拠出金が支払われた後は、当アーツカウンシルにはそれ以上の支払い義務はない。

(b) 従業員の休暇取得

年次休暇に対する従業員の権利は、従業員に発生した時点で認識される。従業員が財務計算書日までに提供した役務の結果としての年次休暇に対する債務見積額を計上している。

2.5 有形固定資産

有形固定資産は取得原価から減価償却累計額および減損損失累計額を控除した金額で認識される。

既に認識された有形固定資産に関連する後支出は、その品目に関連する将来の経済的便益が当アーツカウンシルに流入する可能性が高く、その品目の費用を信頼性をもって測定できる場合にのみ、資産の帳簿価額に加算される。その他の修繕費はすべて、発生時に包括損益計算書で認識される。

減価償却費は、減価償却可能額を見積耐用年数にわたって配分する定額法で計算される。見積耐用年数は以下の通りである：

耐用年数

建築工事および改善:30年

改修工事:8年

工場および機械:8年

オフィス設備、家具、車両、オーディオビジュアル機器:3~10年

舞台関連および音楽設備:5~8年

公共アート作品:5年

借地権不動産:30年

借地権付土地および建物:リース残存期間に基づく

美術品および仕掛品には減価償却を行わない。

F9

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

2.重要な会計方針(続き)

2.5 有形固定資産(続き)

借地権付土地および建物は、リース期間と耐用年数のいずれか短い方で減価償却される。耐用年数とは、資産が企業によって使用可能と見込まれる期間をいう。資産の耐用年数を評価する際には、商業的、技術的、法的な要因のほか、その資産が企業にとって期待される有用性をすべて考慮しなければならない。

有形固定資産の残存価額、見積耐用年数および減価償却方法は、各財務状態報告日に見直され、適宜調整される。改訂の影響は、変更が生じた時点で包括損益計算書に認識される。

有形固定資産の処分の際には、処分収入と帳簿価額との差額を包括損益計算書で認識する。

2.6 非金融資産の減損

有形固定資産は、減損の可能性を示す客観的証拠または兆候がある場合にはいつでも減損テストを行う。

減損テストの目的上、回収可能価額(すなわち、売却費用控除後の公正価値と使用価値のいずれか高い方)は、その資産が他の資産からのキャッシュフローとほとんど独立したキャッシュフローを生み出さない場合を除き、個々の資産ごとに決定される。この場合、回収可能価額は資産が属する資金生成単位(CGU)について決定される。資産またはCGUの回収可能価額が帳簿価額を下回ると見積もられる場合、資産の帳簿価額は回収可能価額まで減額される。

帳簿価額と回収可能価額との差額は、包括損益計算書において減損損失として認識される。

経営陣は、報告期間末に、過年度に認識された減損がもはや存在しないか、または減少している可能性を示す兆候があるかどうかを評価する。そのような兆候がある場合、その資産の回収可能価額を見積もり、減損損失の戻入れとなる可能性がある。この資産の帳簿価額は、過年度に減損損失が認識されなかった場合に決定されたであろう帳簿価額(償却累計額または減価償却累計額控除後)を超えないことを条件に、改訂後の回収可能価額まで引き上げられる。

資産の減損損失の戻入れは、包括損益計算書で認識される。

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

2.重要な会計方針(続き)

2.7 金融資産

当アーツカウンシルは、金融資産を以下の測定区分に分類している。

- 償却原価、および
- 損益勘定を通じて公正価値で測定(FVPL)

負債性金融商品の分類は、キャッシュフローの契約条件だけでなく、金融資産を管理するための当アーツカウンシルの運営モデルによって決まる。

当アーツカウンシルは、負債性資産を管理する運営モデルが変更された場合にのみ、負債性資産を再分類する。

(i) 当初認識時

当初認識時に、当アーツカウンシルは、金融資産をその公正価値に、損益を通じて公正価値で測定しない金融資産の場合には、金融資産の取得に直接起因する取引費用を加えた金額で測定する。損益を通じて公正価値で計上される金融資産の取引費用は、包括損益計算書で費用処理される。

(ii) 事後測定時

1. 負債性金融商品

当アーツカウンシルの負債性金融商品は、主に現金・預金およびその他の債権である。

その後の測定区分は、資産を管理する当アーツカウンシルの運営モデルと資産のキャッシュフロー特性に応じて、3種類に規定されている。当アーツカウンシルは、契約上のキャッシュフローを回収することでこれらの金融資産グループを管理しており、これらのキャッシュフローは元利金支払いのみを表している。従って、これらの金融資産グループは、当初認識後は償却原価で測定される。

償却原価で事後測定され、ヘッジ関係の一部でない負債投資の損益は、資産が認識中止または減損した時点で包括損益計算書に認識される。これらの金融資産からの受取利息は実効金利法を用いて認識される。

F10

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

2. 重要な会計方針(続き)

2.7. 金融資産(続き)

(ii) 事後測定時(続き)

1. 負債性金融商品(続き)

当アーツカウンシルは、償却原価で計上されている負債性金融商品に関連する予想信用損失を将来の見通しベースで評価している。現金・預金およびその他の債権については、一般的な3段階法が適用される。信用損失引当金は、資産の当初認識以降に信用リスクの著しい増加がない場合、12ヶ月間の予想信用損失に基づく。当初認識以降に信用リスクが著しく増加した場合、生涯予想信用損失が計算され、認識される。

2. 株式投資

当アーツカウンシルはその後、すべての株式投資を公正価値で測定している。資本性金融商品は、損益計算書を通じて公正価値で測定され、その公正価値の変動は、変動が生じた期の包括損益計算書で認識され、「その他の損益」に表示される。

これらの金融資産の通常の方法による購入および売却は、取引日(当アーツカウンシルが資産の購入または売却を約定した日)に認識される。

処分の際、公正価値の変動をその他の包括利益で認識することを選択しなかった場合には、帳簿価額と売却手続額との差額が包括損益計算書で認識される。選択が行われた場合、帳簿価額と売却進捗額との差額はその他の包括利益で認識され、当該資産に関連するその他の包括利益で以前に認識された金額とともに利益剰余金に振り替えられる。

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

2. 重要な会計方針(続き)

2.8 その他の支払債務

その他の未払金は、会計年度末以前に当アーツカウンシルに提供された物品およびサービスに対する未払金である。支払期日が1年以内(それ以上であれば通常の営業サイクルの範囲内)のものは流動負債に分類される。それ以外の場合には非流動負債として表示される。その他の債務は公正価値で当初認識され、その後は実効金利法を用いて償却原価で計上される。

2.9 金融資産および金融負債の公正価値の見積もり

償却原価で計上されている流動金融資産および負債の公正価値は、帳簿価額に近似している。活発な市場で取引される金融資産(上場有価証券、店頭売買有価証券、デリバティブなど)の公正価値は、財務ポジション日における市場価格に基づく。金融資産に使用される相場価格は現在の買値であり、金融負債に使用される適切な相場価格は現在の売値となる。

2.10 リース

(i) 当アーツカウンシルが賃借人である場合

契約開始時に、当アーツカウンシルは契約にリースが含まれているかどうかを評価する。契約が、対価と引き換えに、特定資産の使用を一定期間支配する権利を移転する場合、その契約はリースを含む。再評価が必要となるのは、契約条件が変更された場合のみ。

●使用権資産

当アーツカウンシルは、原資産が使用可能となった日に使用権資産とリース債務を認識する。使用権資産は取得原価で測定され、リース債務の当初測定額と、開始日以前に支払われたリース料および受取りリース料を調整した金額で構成される。リースを取得しなければ発生しなかった初期直接費用は、使用権資産の帳簿価額に加算される。

これらの使用権資産は、使用開始日から使用権資産の耐用年数の終了日またはリース期間の終了日のいずれか早い日まで、定額法により減価償却を行う。

使用権資産は「有形固定資産」の中に表示されている。

F11

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

2. 重要な会計方針(続き)

2.10 リース(続き)

(i) 当アーツカウンシルが賃借人である場合(続き)

●リース債務

リース債務は実効金利法を用いて償却原価で測定される。リース債務は、以下の場合に再測定しなければならない：

- 指数またはレートの変動により生じる将来のリース料の変動がある；

- 延長オプションを行使するかどうかについての当アーツカウンシルの評価に変更がある；

- 当初の条件にはなかったリースの範囲や対価の変更がある。

リース債務は、使用権資産に対応する調整を加えて再測定される。または、使用権資産の帳簿価額がゼロになった場合には、損益に計上される。

●短期および低額リース

当アーツカウンシルは、サブリース契約を除き、リース期間が12ヶ月以内の短期リースおよび低額リースについては、使用権資産およびリース債務を認識しないことを選択した。これらのリースに係るリース料は、リース期間にわたって定額法により包括損益計算書に費用計上される。

(ii) 当アーツカウンシルが賃貸人である場合

比較対象期間における貸手としての当アーツカウンシルに適用される会計方針は、当アーツカウンシルが中間貸手である場合を除き、SB-FRS116と同じである。

サブリースを分類する際、中間貸手である当アーツカウンシルは、原資産ではなく、ヘッドリースから生じる使用権資産を参照して、サブリースをファイナンスリースまたはオペレーティングリースに分類する。当アーツカウンシルが有するサブリースはオペレーティングリースとして評価され、当アーツカウンシルはサブリースからのリース料を包括損益計算書において「レンタル収入」として認識している。ヘッドリースに関連する使用権資産は認識中止されない。

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

2. 重要な会計方針(続き)

2.11 規定

引当金は、過去の事象の結果として現在の法的または推定的債務があり、その債務を決済するために資源の流出が必要となる可能性が50%超であり、かつその金額を信頼性をもって見積もることができる場合に認識される。将来の営業損失に対する引当金は認識されていない。

その他の引当金は、貨幣の時間的価値および当該債務に特有のリスクに関する現在の市場評価を反映した税引前割引率を用い、当該債務を決済するために必要と予想される支出の現在価値で測定される。時間の経過による引当金の増加は、包括損益計算書において財務費用として認識される。

支出または割引率の見積り時期または金額の変更は、変更が生じた時点で包括損益計算書に認識される。

2.12 通貨換算

財務諸表は当アーツカウンシルの機能通貨であるシンガポールドル（「SGD」または「\$」）で表示されている。

機能通貨以外の通貨（以下「外貨」）による取引は、取引日の為替レートをを用いて機能通貨に換算される。このような取引の決済および外貨建金融資産・負債の換算から生じる通貨換算差額は、財務計算書日の終値で包括損益計算書に認識される。

2.13 現金および現金同等物

キャッシュフロー計算書の表示上、現金および現金同等物には、手元現金および銀行預金、容易に換金可能であり、かつ価値の変動が僅少な流動性の高い短期投資、ならびに会計検査院（AGD）が管理する集中流動性管理（CLM）スキームの下で保有される現金が含まれる。

2.14 資本金

株式は資本金と準備金に分類される。株式発行に直接起因する増加費用は、税効果控除後の金額で資本および準備金から控除するものとして認識される。

F12

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

3.重要な会計上の見積り、仮定及び判断

見積り、仮定および判断は継続的に評価され、過去の経験や、その状況下で合理的であると考えられる将来の事象の予想を含むその他の要因に基づいている。

重要な会計上の見積りおよび仮定

注記2に記載されている当アーツカウンシルの会計方針の適用にあたり、経営陣は、資産および負債の帳簿価額について、他の情報源から容易に明らかではない判断、見積り、仮定を行う必要がある。見積りおよび関連する仮定は、過去の経験および関連すると考えられるその他の要因に基づいている。実際の結果は見積りと異なる可能性がある。

見積りとその前提となる仮定は継続的に見直される。会計上の見積りの改訂は、その改訂がその期間のみに影響する場合は、改訂が行われた期間において認識され、改訂が当期および将来の期間の両方に影響する場合は、改訂が行われた期間および将来の期間において認識される。

(i) 当アーツカウンシルの会計方針を適用する際の重要な判断
経営陣は、財務諸表で認識される金額に重大な影響を及ぼすような重要な判断はないと考えている。

(ii) 推定の不確実性の主な要因

有形固定資産の耐用年数

有形固定資産の取得原価は、見積り経済耐用年数にわたって定額法で減価償却される。経営陣は、これらの有形固定資産の耐用年数を3年から30年以内と見積もっている。予想される使用水準、修繕および保守、技術開発の変化は、これらの資産の経済的耐用年数および残存価値に影響を与える可能性があり、したがって将来の減価償却費は修正される可能性がある。

報告期間末現在における当アーツカウンシルの有形固定資産の帳簿価額は、財務諸表の注記10に開示されている。

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

4. 拠出金と献金

399,600ドルの拠出金と献金（2021/2022年：456,589ドル）を受け取り、うち399,600ドル（2021/2022年：426,000ドル）の税控除対象寄付が、「芸術支援基金」を通じて寄せられた。

5. レンタル収入

（\$）	2022年度	2021年度
レンタル収入 (a)	8,943,277	8,956,306
政府補助金収入 (b)	-	534,650
マイナス：政府補助金支出 (b)	-	(534,650)
	8,943,277	8,956,306

(a) レンタル収入

2023年3月31日に終了した会計年度のレンタル収入は8,943,277ドル（2021年度：8,956,306ドル）であり、これには適格なテナントに提供された賃料免除額0ドル（2021年度：437,211ドル）が含まれている。

(b) 政府補助金収入および支出

政府補助金収入は、MCCYから受領した現金補助金で、対象となるテナントに対して最大1.5ヶ月分の賃料を免除するものである。政府補助金支出は、MCCYから受領した現金補助金に関するものであり、当該年度に家賃返還の形でテナントに移転されたもの、および現金補助金の適格条件の一部として適格テナントに提供された家賃免除に関するものである。

6. 人件費

（\$）	2022年度	2021年度
賃金および給与	23,069,774	21,062,656
雇用主の CPF への拠出	3,176,659	3,084,252
	26,246,433	24,146,908

F13

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

7. 銀行残高

（\$）	2022年度	2021年度
銀行残高	1,982,105	1,053,112
AGDが管理するCLMスキームの下で保有する現金	215,472,690	199,028,155
	217,454,795	200,081,267

会計検査院（「AGD」）が管理する集中流動性管理（「CLM」）スキームの下で保有される現金は、日々の銀行預金金利に基づく変動金利を得る。

8. 損益勘定を通じて公正価値で測定する金融資産

（\$）	2022年度	2021年度
上場投資信託を通じた投資		
期首	33,830,062	34,135,951
再評価額	(1,000,479)	(305,889)
期末	32,829,583	33,830,062

相場のあるユニットトラストを通じた投資は、公正価値利益によるリターンの機会を当アーツカウンシルに提供する。これらの有価証券の公正価値は、当該年度最終市場日の相場終値に基づいている。専門ファンドマネージャーが運用する市場性のある有価証券への投資は、損益を通じて公正価値で測定する。投資は、適切なリスク分散により、許容可能なリスクレベルで、資本保全と投資リターンの最適化を目指す会計検査院（「AGD」）のマンドートAに基づいて管理される。

投資ガイドラインでは、ファンドの少なくとも60%を債券、現金、その他の金融市場に投資するものとする。債券への投資は、スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)のA-、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody)のA3、またはフィッチ・レーティング(Fitch)のA-以上の信用格付けを有していなければならない。マネーマーケット商品への投資は、最低でもS&PのA1、MoodyのP1、FitchのF1の信用格付けが必要である。また、投資ガイドラインでは、ファンドの株式への投資比率は30%を超えてはならず、金現物を裏付けとする上場投資信託または金現物を裏付けとする投資信託への投資比率は10%を超えてはならないとされている。

投資ポートフォリオは、バリュアットリスクの閾値である5%(95%確信度レベル)を維持しなければならない。

引用ユニットトラストを通じた投資は公正価値ヒエラルキーのレベル1に分類され、評価技法および主要インプットは活発な市場における相場価格に基づいている。

財務諸表に関する注記事項
2023年3月31日に終了する会計年度

9. その他の債権、預り金および前払金

(\$)	2022 年度	2021 年度
流動		
以下からの未収入金		
テナント	-	12,102
トートボード	3,998,400	3,709,950
その他	2,007	82,279
	4,000,407	3,804,331
未収利息	1,869,901	245,262
回収可能な出向人件費	389,375	533,726
前払い金	1,706	19,196
	6,261,389	4,602,515

テナントからの債権は無利息であり、通常30日の与信期間である。これらの債権は、当初認識時の公正価値を表す当初請求額で認識される。

F14

財務

財務諸表に関する注記事項
2023年3月31日に終了する会計年度

10. 有形固定資産
2022年度

(\$)	美術品	仕掛品	建築工事お よび改修	工事	工事および 機械
費用					
期首	263,216	125,436	133,985,102	39,615,936	10,731,066
追加分*	-	2,375,480	(89,683)	291,433	31,816
振替	-	(126,366)	-	-	-
廃棄・償却	-	-	-	-	(18,396)
期末	263,216	2,374,550	133,895,419	39,907,369	10,744,486
減価償却・ 減損損失累 計					
期首	-	-	35,721,428	30,191,840	9,080,220
減価償却	-	-	4,464,885	2,371,012	268,535
廃棄・償却	-	-	-	-	(18,396)
期末	-	-	40,186,313	32,562,852	9,330,359
純簿価					
期末	263,216	2,374,550	93,709,106	7,344,517	1,414,127

オフィス設 備、家具、 車両および オーディオ ビジュアル 機器	舞台関連お よび音楽機 器	公共アート 作品	借地権不動 産	借地権土地 および不動 産	合計
14,338,957	14,008,674	754,942	14,617,726	42,529,682	270,970,737
299,187	-	-	-	17,872,189	20,780,422
126,366	-	-	-	-	-
(2,947,782)	(8,164)	-	-	(138,798)	(3,113,140)
11,816,728	14,000,510	754,942	14,617,726	60,263,073	288,638,019
11,849,563	13,512,069	754,492	14,128,702	29,965,088	145,203,852
1,392,108	116,912	-	489,024	9,722,401	18,824,877
(2,798,719)	(8,164)	-	-	(134,947)	(2,960,226)
10,442,952	13,620,817	754,492	14,617,726	39,552,542	161,068,503
1,373,776	379,693	-	-	20,710,531	127,569,516

*有形固定資産の追加に関連する462,309ドル(2021年度:325,328ドル)が含まれており、年度末時点で未払となっている(注記14)

F15

財務

財務諸表に関する注記事項
2023年3月31日に終了する会計年度

10. 有形固定資産(続き)
2021年度

(\$)	美術品	仕掛品	建築工事お よび改修	工事	工事および 機械
費用					
期首	263,216	944,771	133,985,102	38,810,830	9,731,529
追加分*	-	1,951,952	-	713,548	25,387
振替	-	(2,771,287)	-	91,558	-974,150
廃棄・償却	-	-	-	-	-
期末	263,216	125,436	133,985,102	39,907,369	10,731,066
減価償却・ 減損損失累計					
期首	-	-	31,255,141	27,822,459	7,956,864
減価償却	-	-	4,466,287	2,369,381	1,123,356
廃棄・償却	-	-	-	-	-
期末	-	-	35,721,428	30,191,840	9,080,220
純簿価					
期末	263,216	125,436	98,263,674	9,424,096	1,650,846

オフィス設 備、家具、 車両および オーディオ ビジュアル 機器	舞台関連お よび音楽機 器	公共アート 作品	借地権不動 産	借地権土地 および不動 産	合計
12,722,002	13,919,139	754,942	14,617,726	33,637,927	259,387,184
296,443	-	-	-	10,026,652	13,013,982
1,616,044	89,535	-	-	-	-
(295,532)	-	-	-	(1,134,897)	(1,430,429)
14,338,957	14,008,674	754,492	14,617,726	42,529,682	270,970,737
10,460,624	12,184,491	754,942	13,639,677	20,662,154	124,736,352
1,653,916	1,327,578	-	489,025	10,046,348	21,475,891
(264,977)	-	-	-	(743,414)	(1,008,391)
11,849,563	13,512,069	754,942	14,128,702	29,965,088	145,203,852
2,489,394	496,605	-	489,024	12,564,594	125,766,885

F16

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

11.リース - 借手としてのアーツカウンシル

当アーツカウンシルは、関連当事者(国営企業)から土地・建物をオペレーティングリースで賃借している。

(a) 帳簿価額

有形固定資産に分類されるROU資産

(\$)	2022 年度	2021 年度
借地権付土地および建物	20,710,531	12,564,594

(b) 当期減価償却費

(\$)	2022 年度	2021 年度
借地権付土地および建物	9,722,401	10,046,348

(c) 支払利息

(\$)	2022 年度	2021 年度
リース債務の支払利息	236,423	181,982

(D)リース債務に資産計上されないリース費用

(\$)	2022 年度	2021 年度
リース費用-短期リース	32,008	28,248
リース費用-低額リース	314,797	291,911
合計	346,805	320,159

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

11.リース - 借手としてのアーツカウンシル(続き)

(e)ROU資産の転貸による収入合計は8,943,277ドル(2021年度:8,956,306ドル)であった。

(f)すべてのリースのキャッシュアウト総額は10,155,718ドル(2021年度:10,516,494ドル)であった。

(g)2022年度中のROU資産の追加は17,872,189ドル(2021年度:10,026,652ドル)であった。

12.リース - 貸手としてのアーツカウンシル

当アーツカウンシルは、オペレーティングリースにより建物を非関連当事者に賃貸している。

所有権に付随するすべてのリスクと便益を実質的に保持する建物のリースは、オペレーティングリースとして分類される。オペレーティングリースからのレンタル収入は、リース期間にわたって定額法により包括損益計算書で認識される。資産の所有に付随するリスクと便益が移転していないため、オペレーティングリースに分類される。報告日以降に受取予定のオペレーティングリースの割引前リース料は以下のとおりである。

(\$)	2022 年度	2021 年度
1 年未満	676,053	432,542
1 年～2 年	486,706	138,421
2 年～5 年	124,254	38,581
割引前リース料総額	1,287,013	609,544

13.繰延資本交付金

(\$)	2022 年度	2021 年度
期首	11,741,900	12,450,826
政府補助金からの振替額 (注記15)	746,642	2,987,330
繰延資本交付金の償却	(3,690,463)	(3,696,256)
期末	8,798,079	11,741,900
流動	2,245,391	3,162,753
非流動	6,552,688	8,579,147
	8,798,079	11,741,900

F17

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

14.その他の支払債務

(\$)	2022 年度	2021 年度
預り金	300,145	465,964
支払先:		
CPF 理事会	1,386,015	1,362,092
文化芸術団体	1,384,090	1,391,114
固定資産の購入	42,584	3,686
未払金:		
未消化の従業員年次休暇権	803,512	1,209,921
文化勲章 & ヤング・アーティスト	2,974,014	3,063,681
賞		
一般助成金、パートナーシップ、	14,215,889	18,655,842
コミッション		
運営交付金	10,164,960	11,491,451
固定資産の購入	419,725	321,642
その他	3,143,862	1,922,707
繰延収益	47,745	53,484
繰延寄付金	481,681	579,491
アートハウジング施設用修繕積立金	1,376,842	1,239,213
その他の支払債務	6,692,429	2,463,815
	43,433,493	44,224,103

15. 政府補助金

(\$)	2022 年度	2021 年度
流動		
期首	75,293,677	58,467,327
政府補助金	146,596,363	167,131,007
	221,890,040	225,598,334
マイナス:		
繰延資本交付金への振替 (注記13)	(746,642)	(2,987,330)
包括損益計算書への振替	(134,084,137)	(147,317,327)
	(134,830,779)	(150,304,657)
	87,059,261	75,293,677

2023年3月31日現在、流動負債87,059,261ドル(2021年度:75,293,677ドル)は、翌年度の支出に充当される金額に関するものである。

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

15. 政府補助金(続き)

COVID-19の発生時、芸術および関連セクターの団体が芸術を維持できるよう、当アーツカウンシルは芸術文化レジリエンス・パッケージ(ACRP)およびその他の支援策を2020年度に展開し、その後2021年度まで延長した。ACRPには、文化芸術分野の運営費を賄うための運営助成金、レンタル料の免除、会場のレンタル料や社内制作費の助成、その他文化芸術フリーランスや団体の生活を維持するための財政支援など、さまざまなスキームが含まれている。この取り組みにより、政府からカウンシルへの運営助成金を通じて、MCCYが発表し支援した2021年度の2000万ドルの上乗せに続き、芸術および関連部門に対する救済措置は総額7500万ドルになると予想される。

16. 借入金

(＄)	2022 年度	2021 年度
流動		
リース債務	8,236,458	6,420,897
非流動		
リース債務	10,945,507	4,512,170
借入金合計	19,181,965	10,933,067

(＄)	2022 年 4 月 1 日	元利金支払い	現金以外の変動			2023 年 3 月 31 日
			新規リース	リース終了	支払利息	
リース債務	10,933,067	(9,808,913)	17,821,388	-	236,423	19,181,965

(＄)	2021 年 4 月 1 日	元利金支払い	現金以外の変動			2022 年 3 月 31 日
			新規リース	リース終了	支払利息	
リース債務	11,316,198	(10,196,335)	9,983,050	(351,828)	181,982	10,933,067

F18

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

17. 株式資本

(＄)	2022 年度	2021 年度
期首	180,046,315	180,046,315
会計年度中の追加	2,155,483	-
期末	182,201,798	180,046,315

株式資本は、資本管理枠組みに基づき、財務大臣(法人設立)法(第183章)により設立された機関である財務大臣が保有している。

18. 資本勘定

資本勘定は、旧ナショナル・シアター・トラスト、シンガポール文化財団、MCCYの準備金および一部の資産で構成されている。

19. シンガポール芸術寄付金基金

(＄)	2022 年度	2021 年度
期首および期末	16,255,467	16,255,467

シンガポール芸術寄付金基金は、NAC法第13条に基づき設立された。同基金は、当アーツカウンシル設立時に当アーツカウンシルに移されたすべての資金、当アーツカウンシルが基金のために受け入れた寄付および贈与、国会の提供する資金から大臣が指定する基金への拠出金、当アーツカウンシルが基金への移管を決定するその他の資金で構成される。基金の運用による収入は、シンガポールの芸術の発展と振興に充てられ、当アーツカウンシルの包括損益計算書に計上される。同基金の資産は財務計算書において当アーツカウンシルの資産とプールされている。

20. 資本支出およびその他のコミットメント

(a) 資本コミットメント

(＄)	2022 年度	2021 年度
契約済み資本支出	2,614,260	391,092

契約済みだが財務計算書で認識されていない資本支出は以下の通りである。

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

21. 財務リスク管理

財務リスクの要因

当アーツカウンシルの主な金融商品は、現金および現金同等物、損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産、その他の債権、預金およびその他の債務である。当アーツカウンシルには、テナントに対する債権やその他の債務など、主要な活動から直接発生するその他の金融資産および負債がある。

当アーツカウンシルの金融商品から生じる主なリスクは、価格変動リスクと金利変動リスクである。これらの各リスクを管理するための当アーツカウンシルの方針は以下の通りである。

これらの財務リスクに対する公社のエクスポージャーや、リスクの管理・測定方法に変更はない。

(a) 市場リスク

(i) 通貨リスク

当アーツカウンシルの事業は、外貨建ての重要な取引がないため、重大な為替リスクにさらされていない。

(ii) 価格リスク

当アーツカウンシルの価格変動リスクは、ファンド管理会社が運用する投資に関連している。これらのファンドマネージャーは、当アーツカウンシルの投資ガイドラインを遵守しているが、ファンドの運用については裁量権を有している。ファンドマネージャーは、当アーツカウンシルが定めた投資ガイドラインの範囲内で行った投資決定について、当アーツカウンシルの承認を求める必要はない。ポートフォリオ分散が採用され、ファンドマネージャーがヘッジ目的で金融デリバティブを利用することもある。ファンドの投資目的、リスク許容度、実績は、投資・財務委員会で検討される。

これらの投資に関連する価格リスクとは、価格の下落によって生じる潜在的損失のことです。当アーツカウンシルは、感応度分析の手法を用いて、2023年3月31日および2022年3月31日時点で適用されるレートから、各金融商品について、相場投資価格が瞬間的に10%上昇または下落した場合の、包括損益計算書および資本金・準備金計算書への推定変動額を測定している。

F19

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

21. 財務リスク管理(続き)

(a) 市場リスク(続き)

(ii) 価格リスク(続き)

価格リスク感度分析

2023年3月31日に終了する年度および2022年3月31日に終了する年度における、投資価格が10%上昇または下落した場合の剰余金への影響は以下の通りである。

(\$)	2022年度	2021年度
価格が10%上昇した場合の影響		
剰余金の増加	3,282,958	3,383,006
資本金および準備金の増加	3,282,958	3,383,006
価格が10%下落した場合の影響		
剰余金の減少	(3,282,958)	(3,383,006)
資本金および準備金の減少	(3,282,958)	(3,383,006)

(iii)金利リスク

金利リスクとは、市場金利の変動により、当アーツカウンシルの金融商品の公正価値または将来のキャッシュフローが変動するリスクである。

当アーツカウンシルの有利子資産は主に短期定期預金である。当アーツカウンシルは有利子金融負債を有していない。0.5%の増減は、主要経営幹部に金利リスクを内部報告する際に使用され、合理的に可能な金利変動に対する経営陣の評価を表している。経営陣は、上記のような金利の変動が当アーツカウンシルの財務諸表に重大な影響を及ぼすことはないとは判断している。

21.財務リスク管理(続き)

(b)信用リスク

信用リスクとは、取引先が契約上の義務を履行せず、その結果、当アーツカウンシルに財務上の損失をもたらすリスクを指す。

当アーツカウンシルの信用リスクへのエクスポージャーは、主にテナントに対する債権およびその他の債権から生じている。

現金および現金同等物については、信頼できる金融機関とのみ取引を行うことにより、信用リスクを軽減している。投資資金は、信頼できるファンドマネージャーにのみ預ける。

当アーツカウンシルは、単一の取引相手または類似した特性を持つ取引相手グループに対して、重大な信用リスク・エクスポージャーを有していない。

テナントに対する債権については、生涯予想信用損失を測定するため、引当金マトリックスを使用した簡便法を適用している。

予想信用損失を測定するため、これらの債権は共通の信用リスク特性および期日経過日数に基づいてグループ化されている。予想信用損失率を算出する際、当アーツカウンシルは、取引先に関連する最新の情勢および将来予測マクロ経済要因を調整したデフォルト履歴を考慮する。

財務諸表に計上されている金融資産の帳簿価額は、損失引当金控除後であり、信用リスクに対する当アーツカウンシルの最大エクスポージャーを表している。

(i)支払期日を過ぎておらず、減損もしていない金融資産

支払期日を過ぎておらず、減損もしていない債権は、当アーツカウンシルとの良好な支払履歴を持つ信用できる債務者である。

(ii)支払期日は過ぎているが、減損していない金融資産

当アーツカウンシルのテナントに対する債権には、帳簿価額がゼロドル(2021年度:14,496ドル)の債権が含まれており、財務計算書日現在、支払期日を過ぎているが減損はしていない。信用の質に重大な変化がないため、減損損失引当金は計上していない。

(c)流動性リスク

当アーツカウンシルの運営資金は政府補助金で賄われているため、流動性リスクへのエクスポージャーは最小限である。当アーツカウンシルは、現金および現金同等物の形で流動性の高い資産を常に保有することにより、財務上の債務を履行するための十分な流動性を確保している。

F20

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

21.財務リスク管理(続き)

(c)流動性リスク(続き)

以下の表は、貸借対照表日から契約満期日までの残存期間に基づき、当アーツカウンシルの非デリバティブ金融負債を関連する満期グループ別に分析したものである。表に開示されている金額は、契約上の割引前キャッシュフローである。12ヶ月以内に支払期限の到来する残高は、割引の影響が重要でないため、帳簿価額と同額である。

(\$)	1年未満	1年～2年	2年～5年
2023年3月31日時点			
その他の支払債務	43,433,493	-	-
リース債務	8,464,634	6,883,017	4,207,292
	51,898,127	6,883,017	4,207,292
2022年3月31日時点			
その他の支払債務	44,224,103	-	-
リース債務	6,494,729	3,143,864	1,396,190
	50,718,832	3,143,864	1,396,190

(d)資本リスク

当アーツカウンシルの資本管理の目的は、当アーツカウンシルが継続企業として発展するための適切な財源を確保するための資本基盤を維持することである。当アーツカウンシルは、経済状況の変化を考慮し、戦略的焦点を見直し、活動を調整する。新規開発プロジェクトは、財務省による出資によって賄われる。

(e)金融資産および金融負債の公正価値

現金および現金同等物、その他の受取債権、預金およびその他の支払債務の帳簿価額は、これらの金融資産および金融負債が比較的短期間で満期を迎えるため、それぞれの公正価値に近似している。その他の金融資産および金融負債の公正価値は、財務諸表の各注記に開示されている。活発な流動性市場で取引される金融資産および金融負債の公正価値は、市場価格を参照して決定される。

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

21.財務リスク管理(続き)

(e)金融資産および金融負債の公正価値(続き)

当アーツカウンシルは、公正価値測定を、測定に使用したインプットの重要性を反映した公正価値ヒエラルキーを用いて分類している。公正価値ヒエラルキーには以下のレベルがある。

(i)活発な市場における同一の資産または負債の相場価格(調整前)(レベル1)；

(ii)レベル1に含まれる相場価格以外のインプットで、資産または負債について直接(すなわち価格として)、または間接的(すなわち価格から派生)に観察可能なもの(レベル2)；

(iii)観察可能な市場データに基づかない資産または負債のインプット(観察不能なインプット)(レベル3)。

(\$)	レベル1
2023年3月31日時点	
損益勘定を通じて公正価値で測定する金融資産(注記8)	32,829,583
資産合計	32,829,583
2022年3月31日時点	
損益勘定を通じて公正価値で測定する金融資産(注記8)	33,830,062
資産合計	33,830,062

2023年3月31日に終了した連結会計年度において、公正価値ヒエラルキーのレベル間の重要な移動はなかった。

(f) カテゴリー別金融商品

以下の表は、財務計算書日現在の金融商品である：

(\$)	2022 年度	2021 年度
金融資産	256,544,061	238,494,648
金融資産 (償却原価)	62,086,032	54,524,195

F21

財務

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

22 重要な関連当事者との取引

財務諸表の他の箇所に開示されている情報に加え、当アーツカウンシルと関連当事者との間で以下の取引が当事者間で合意された条件で行われた：

関連当事者(すなわち、当アーツカウンシルメンバーの一部が取締役を務める企業)。但し、国が管理する企業を除く。

(\$)	2022 年度	2021 年度
支払い済みサービス料	1,076,151	1,038,251
交付済み補助金	43,391,867	41,010,229
支払い済み会場使用料	91,896	147,431
固定資産の購入	173,498	918,020
償還されたサービス料金	(58,148)	-
レンタル収入	(707,733)	(640,597)

国家管理団体(省庁、法定委員会、国家機関など)

(\$)	2022 年度	2021 年度
支払い済みサービス料	4,787,957	3,739,419
交付済み補助金	1,707,869	1,433,062
リース債務の元本支払額および支払利息	10,675,052	10,909,871
固定資産の購入	2,299	-
レンタル収入	(2,365,009)	(3,051,985)

主要経営幹部の報酬

当アーツカウンシルの上級管理職およびメンバーは主要経営幹部とみなされる。当アーツカウンシルは、公共サービス部門が定めたガイドラインを採用し、主要経営幹部の報酬を決定する際に個々の役員の業績を考慮する。

主要経営幹部の報酬は以下の通り：

(\$)	2022 年度	2021 年度
給与、賞与およびその他の短期給付	5,051,911	4,097,755
CPF 拠出金	290,100	252,805
	5,342,011	4,350,560

財務諸表に関する注記事項

2023年3月31日に終了する会計年度

22. 重要な関連当事者との取引(続き)

理事の手当は以下の通り：

(\$)	2022 年度	2021 年度
会長	33,750	33,750
副会長	25,315	25,315
公共部門以外の役員		
監査委員会委員長	25,315	25,315
その他の取締役委員会委員長	16,875	13,339
監査委員	33,750	40,824
メンバー	50,640	36,488
公共部門役員		
監査委員	16,875	16,875
メンバー	8,440	8,440

23. 新規または改訂された会計基準および解釈指針

以下は、公表され、2023年4月1日以降に開始する当アーツカウンシルの会計期間に関連し、当アーツカウンシルが早期適用していない必須基準、修正基準、既存基準の解釈指針である：

(a) SB-FRS第1号「財務諸表の表示」の改訂(2023年1月1日以降開始する会計期間から適用)

(b) SB-FRS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」の改訂(2023年1月1日以後開始する会計期間から適用)

これらの基準は、当アーツカウンシルの報告には影響を与えない。

24. 財務諸表の承認

これらの財務諸表は、2023年6月1日に当アーツカウンシルメンバーによって発行が承認された。

A1

補遺

目次

理事および委員 A2-A3

助成金受領者 A4-A10

パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード A11-A16

2022年文化勲章およびヤング・アーティスト賞 A17

2022年度NAC奨学金受賞者 A17

文化マッチングファンド管理委員会 A18

芸術の持続(stART)基金 A19

トートボード芸術基金委員会 A19

アートスペース・テナント A20-A22

A2

アーツカウンシルのメンバーと委員会

第16回アーツカウンシルのメンバー

以下は、2021年9月1日から2024年8月31日までの当アーツカウンシルメンバーである*。

会長

副会長

メンバー

Goh Swee Chen

会長

NTU理事会

Wilson Tan Wee Yan

会長

Arts House Limited

Low Eng Teong

最高経営責任者

ナショナルアーツカウンシル

Sharon Ang

グループディレクター(企画)

保健省

Beatrice Chia-Richmond
クリエイティブディレクター
プレスブレイ Warren Fernandez
最高経営責任者
アジア・パシフィック エデルマン

Goh Geok Cheng

Azman Jaafar
マネージングパートナー
RHTLaw アジア LLP

Anne Lee
投資ディレクター
ボーエン・エンタープライズ

Liow Chinyong Joseph 教授
人文・芸術・社会科学部長
南洋理工大学(NTU)

Tan Chen Kee
教育局次長(学校)
兼学校局長
文部省

Tan Kay Ngee
プリンシパルアーキテクト
ケイ・ニー・タン・アーキテクト建設

Karen Teo
APAC地域Android パートナーシップ担
副社長

Wong Tien Hua博士
ディレクター
ミューチュアル・ヘルスケア

Wahab Yusoff
設立パートナー／CEO代理
レカネクスト・キャピタル・パートナーズ

ローザ・ダニエルの任期は2021年9月1日から2023年2月28日まで。
ロー・エン・ティオンの任期は2023年3月1日から2024年8月31日まで。

A3

アーツカウンシルのメンバーと委員会

監査・リスク委員会
会長
Goh Geok Cheng

メンバー
Sharon Ang
Azman Jaafar
Anne Lee

監査・リスク委員会の主な役割は、財務報告プロセス、財務・業務・コンプライアンス・コントロール、リスク管理を含む内部統制システム、内部・外部監査プロセス、利害関係者取引(ある場合)をレビューすることにより、アーツカウンシルが監督責任を果たすのを支援することである。

文化勲章およびヤング・アーティスト賞(CMYAA)選考委員会

Goh Swee Chen
Rosa Daniel
Beatrice Chia-Richmond
Tan Kay Ngee
Tan Xuan Rong

CMYAA選考委員会の主な役割は、文化勲章およびヤング・アーティスト賞の候補者を選考し、推薦する際に、アーツカウンシルに助言することである。

人材と組織文化委員会*

会長
Goh Swee Chen

メンバー
Tan Chen Kee
Liow Chinyong Joseph教授
Low Eng Teong

人材と組織文化委員会の主な役割は、審議会の人材と組織文化に関連する事項に関するガイダンスを提供し、組織の成功を推進する能力を審議会に提供する人事戦略と方針について助言することにより、審議会がその監督責任を果たすのを支援することである。

テクノロジー委員会

会長
Warren Fernandez

メンバー
Wong Tien Hua 博士
Wahab Yusoff
Karen Teo
Low Eng Teong

テクノロジー委員会の主な役割は、文化芸術分野とアーツカウンシルにおけるイノベーションとテクノロジーの変革に関するアーツカウンシルの戦略を監督し、助言することである。

*ローザ・ダニエルの任期は2021年9月1日から2023年2月28日まで。
ロー・エン・ティオンの任期は2023年3月1日から2024年8月31日まで。

A4

被助成団体

国内オーケストラ
Singapore Chinese Orchestra Company Limited
Singapore Symphonia Company Limited

主要カンパニースキーム

ダンス
Apsaras Arts Ltd
Bhaskar's Arts Academy Ltd
Chowk Productions Ltd
Contemporary Performance
and Co Ltd (Dance Nucleus)

Dance Ensemble Singapore Ltd
Era Dance Theatre Limited
Frontier Danceland Ltd
O School Ltd
RAW Moves Ltd
Singapore Ballet Ltd
Singapore Chinese Dance Theatre
T.H.E Dance Company Ltd
The Arts Fission Company Ltd

文芸
Sing Lit Station
Singapore Book Council

複合領域
ArtsWok Collaborative Ltd

音楽
Ding Yi Music Company Ltd
Jazz Association(Singapore)
Nadi Singapura Ltd
New Opera Singapore Ltd
Orchestra Of The Music Makers Ltd
Resound Collective Limited
SAthecollective Ltd
Siong Leng Musical Association
The Observatory Music Ltd
The TENG Company Ltd

演劇
Cake Theatrical Productions Ltd
Chinese Theatre Circle Limited
Checkpoint Theatre Ltd
Drama Box Ltd
Nam Hwa Opera Limited
Nine Years Theatre Ltd
Pangdemonium Theatre Company Ltd
Paper Monkey Theatre Ltd
Singapore Repertory Theatre Ltd
Teater Ekamatra Ltd
The Finger Players Ltd
The Necessary Stage Ltd
The Theatre Practice Ltd
Theatreworks (Singapore) Ltd
Toy Factory Productions Ltd
Traditional Arts Centre (Singapore) Ltd
Wild Rice Ltd
Young People's Performing Arts Ensemble Ltd

創造グラント

文芸
Chen Shuai
Lee Wan Ting, Amanda

音楽
Christopher Johann Clarke Shirui

演劇
Mak Yun Yeng, Elizabeth
Project P Theatre

ビジュアルアート
Isabella Ong Zhixu

発表・参加グラント

ダンス
Artistate Pte Ltd
Avventura Pte Ltd
Chinese Dance Artistes' Association
Converge Studios LLP
Decadance Co Limited
Derring-do Dance Pte Ltd
Dhea Basri Tho
DIAN Dancers
Flamenco Sin Fronteras Ltd
Ho Yuhan Ashley
Indu Kannan
Kalpavriksha Fine Arts (Limited)
Khairul Shahrin Bin Muhamad Johry
Luqman Bin As'ad
Maalika Panicker
Maya Dance Theatre Ltd
Michelle Ang Si'en
Nurhafezhah Binte Maznan
Odyssey Dance Theatre Ltd
Samyoga
Shantha Ratii Initiatives(SRI) Ltd
Sigma Contemporary Dance
Singapore Dance Alliance Limited
Sri Warisan - Som Said Performing Arts Limited
Subastian Tan Bo Hern
Tan Joo Kuan
Tan Ngiap Heng
The Kaizen M.D
TIGA Collective

A5

被助成団体

主要カンパニースキーム(続き)

ビジュアルアート
Art Outreach Singapore Ltd
Chinese Calligraphy Society of Singapore
DECK Photography Art Centre Ltd
Objectifs Centre Ltd
Oh Open House Ltd

A6

被助成団体

発表・参加グラント(続き)

ダンス(続き)
Titam Co.
VK Arts Ltd

文芸

Association Of Singapore Tamil Writers
Majlis Pusat Singapura
Poetry Festival(Singapore)
Raihan Harun
Storytelling Association(Singapore)
The Storytelling Centre Limited

複合領域

Club Rainbow(Singapore)
Variasi Performing Arts
Yellowren Productions

音楽

19sixtyfive Pte Ltd
Association Of Composers(Singapore)
Brahmastra
Chamber Music And Arts Singapore Limited
Charmaine Teo
Chew Jun An
Chiew Yu Yang, Jeremy
City Chinese Orchestra(Singapore) Ltd
De Silva Alicia Joyce
Echo Philharmonic Society
Edq
EVOKX
Harmonica Aficionados Society
Intangible Cultural Heritage Association
Kartik Alan S/O Jairamin
Lim Joachim Theodore
Lirica Arts
Ministry Of Bellz Limited
More Than Music
Morse Percussion
Motifs
Ocean Butterflies Music Pte Ltd
ONE Chamber Choir
P Niranjan
Phua Peh Ming Samuel
Pipa Society(Singapore)
Praapthi
Raffles Singers
Red Dot Baroque Ltd
RENTA Collective
Resonance Of Singapore Ltd
Reverberance Ltd.
Rifa'ah Ridzuwanulhakim Bin Abdol Shukor
Ruanatworkz Musical Arts
Singapore Chinese Music Federation
Singapore Choral Artists
Singapore Indian Fine Arts Society, The
Singapore Wind Symphony
Song Lovers Choral Society
Sourcewerkz Pte Ltd
Suona And Guan Society(Singapore)
Sushma Somasekharan
Syafiqah 'Adha Binte Mohamed Sallehin
Symphonic Music(Asia) Ltd
Tan Tiag Yi
Tee Shi Hui
TFA Lalita Kala Company

The Ann & Ben Show
The Chorollective
The Graduate Singers
The Harp Association(Singapore)
The Harp Quarterly
The Malay Heritage Foundation Ltd
The Nanyang Collective
The Opera People Ltd
The Philharmonic Orchestra Society
The Philharmonic Winds(Singapore) Ltd
The Phoenix Ensemble
The Sing Song Club
The Singapore Lyric Opera Limited
The Singapore Youth Choir Limited
The Straits Ensemble
The Vocal Consort
V Punithan
Venture Music Asia Ltd(Voices Of Singapore)
Vox Camerata
Wayfarer Sinfonietta
Weird Aftertaste
West Winds, Band Of The Bukit Batok Community Club
Wind Bands Association Of Singapore
Windstrung

A7

被助成団体

発表・参加グラント(続き)

演劇

AGAM Ltd
Arts Theatre of Singapore Ltd
Avant Theatre & Language
Children's Stage Of Arts Production
Chinese Opera And Drama Society(Singapore)
Chinese Opera Ensemble Ltd.
Chinese Opera Studio
Chong Gua Khee
Er Woo Amateur Musical And Dramatic Association
Exquisite Monster
Gateway Arts Limited
Jade Opera Group
Kuah Chin Yin
Kwok Sing Musical Association
Muhammad Mahadi Bin Jamaludin
Musical Theatre Ltd.
Nur Muhammad Hidayat Bin Nordin
Operaworks(Singapore)
Pat Wo Wui Koon
Ping Sheh Singapore
Re Xin Opera Association
Sam Kiang Huay Kwan, The
Sing'theatre Ltd.
Singapore Focus Theatre Ltd
SITFE Ltd
Sri Setia Pulau Singa
Tan Si Min, Josephine
Tang Renaissance
TAS Theatre Company Singapore Ltd

Teochew Harmony
The Chinese Opera Institute
The Fool Theatre Ltd

ビジュアルアート
iPreciation Pte Ltd
Ang Soo Koon Artualize Pte Ltd
Cassandra Koh Ling Wei
Federation of Art Societies(Singapore)
Fertile Art Refinery
Gajah Gallery
Ge Xiaocong
Hazel Lim-Schlegel Suxian
Ho Hwei Ming, Louis
Ho Rong Wen, Christopherson
Hong Shu-Ying
K Kapilan Domythals Naidu
Kamal Arts Ltd
Lee See Ya Agatha
Lokka Lekkr LLP
Marvin Tang
Maya Arthaus Ltd (Maya Gallery)
Ng Hui Hsien
Nur Aqilah Binte Hassan
Pameran Poskad
Participate in Design Limited
Peng Chan Kok
Sculpture Society (Singapore)
Shicheng Calligraphy & Seal-Carving Society
Siaw-Tao Chinese Seal-Carving,Calligraphy & Painting
Society
Singapore Water Colour Society
Song Meng
Song Yan
Sundaram Tagore Gallery Pte Ltd
Tan Chin Boon
Tan Ngia Heng
Tay Siang Kuang, Brandon
Toh Ah Lan
Wang Ruobing
Woong Soak Teng
Yellowren Productions
Yeo Chee Kiong
Yeo Shih Yun

音楽 (EP)
Blush
Chok Kerong
Daniel Sidhanand
Jasmine Wong Chu Qing
Lim Jing Jie
Namie And The Waves
Narysal Nurdanel Mohammed Bin Noordin
Shareefa Aminah Binte Abdul Shariff

A8

被助成団体

発表・参加グラント(続き)

パブリッシング

ダンス
Abhirami D/O Krishnaswamy

文芸
City Book Room
Epigram Books Pte Ltd
Hee Wai Siam
Lim Yok
Lingzi Media Pte Ltd
Marshall Cavendish International (Asia) Private
Limited
Singapore Association Of Writers, The
The Wishing Book Company Pte. Ltd.
Tropical Literature and Art Club
Wonder To Wander Pte Ltd
World Scientific Publishing Co Pte Ltd

シアター
Lyen Kenneth Reginald
Star Word Artistry Studio

ビジュアルアート
Lai Yu Tong

市場・観客育成グラント

ダンス
Adele Goh Ee Lee
Bahri & Co Ltd
Chan Sze-Wei
Chong Gua Khee
Chowk Productions Ltd
Chua Shao Yong Jeremy
Cinemovement Limited
Decadance Co Ltd
Huang Mingmin Eunice
Kok Yik Leng
Lim Shu Yi Denise
Shantha Ratii Initiatives (SRI) Ltd
T.H.E Dance Company Ltd
Toh Yiling

文芸
Kwek Mu Yi, Theophilus
Marshall Cavendish International (Asia) Private Limited
TrendLit Publishing Pte Ltd
Tse Hao Guang
Yam Qilin, Daryl

音楽

Andika Kencana
 Angus Sham Cheuk Yiu
 Composers Society Of Singapore
 Dr Ghanavenothan Flute Ensemble
 Lewis Loh Zhi Hou
 Micappella Entertainment Pte Ltd
 Reverberance Ltd
 Sobs Subsonic Eye
 Sushma Somasekharan
 Wormrot

演劇

Ang Xiao Teng, Gloria
 Five Stones Theatre
 Producers SG
 Secretive Thing
 Shanice Nicole Stanislaus
 Teater Ekamatra Ltd
 The Ground Co Ltd
 The Theatre Practice Ltd

A9

被助成団体

市場・観客育成グラント(続き)

ビジュアルアート

Ben Zai Tang McIntosh
 Chow E Fung
 Debbie Ding Mei Mei
 Gajah Gallery
 Ho Rui An
 Ho Tzu Nyen
 Jason Wee Han Chong (Jason Wee)
 Kent Chan
 Koh Nguang How
 Lee Chee Kong
 Lim Yi Yong, Charles
 Neo Hui Fen Alecia
 Priyageetha D/O Diayalan
 Sam I-Shan Jayne
 Seah Yeng Fong Angeline
 Sim Chi Yin
 Stephanie Jane Burt
 Yeo Workshop Pte Ltd
 Yeoh Wee Hwee
 Zhao Renhui

能力開発グラント

ダンス

Artistate Pte Ltd
 Banupriya D/O Ponnarasu
 Deanna Binte Dzulkifli
 Durga Devi D/O Mani Maran
 Flamenco Sin Fronteras Ltd
 Lee Mun Wai
 Leong Jian Hao
 Lim Wei Li, Valerie
 Luqman Bin As'ad
 Maya Dance Theatre Ltd

Michelle Ang Si'en

Muhammad Noramin Bin Mohamed Farid
 Odyssey Dance Theatre Ltd
 P7:1SMA Ltd
 Rachel Lum Ruixia
 Rupbiny Jayaseelan
 Sanusha D/O Senathirajah Sritharan
 Sri Warisan - Somn Said Performing Arts Limited

文芸

Daryl Lim Wei Jie
 Jason Erik Lundberg
 Norlin Binte Samat
 Teo Sui Ho (Zhang Ruihe)

音楽

Ariffin Bin Abdullah
 Chiew Yu Yang, Jeremy
 Duo Tarenna
 Hoh Chung Shih
 Jonathan David Fox
 Kevin Loh Kai Wen
 Li Churen
 Niranjana Pandian
 Ong May Rong, Nancy
 Tham Sow Ying Jennifer
 Toh Ban Sheng

演劇

Chia Sin Chiat (Nelson Chia)
 Chiam Wenqian, Isabella
 Ong Tze Wei Bright
 Rayann Condy
 Vignesh Kumar Singh

A10

被助成団体

能力開発グラント(続き)

ビジュアルアート

Ben Zai Tang McIntosh
 Debbie Ding Mei Mei
 Grey Projects
 Kelly Lim Jin Mei
 Teh Shi Wei (Zen Teh)
 The Forest Institute via Tung Zhiwen, John
 Toh Lay Ping Charmaine
 Tok Yu Xiang

調査研究グラント

ダンス

Muhammad Noramin Bin Mohamed Farid

A11**パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード2023**

芸術名誉後援者賞

20回以上、特別芸術後援者賞を受賞

SPH Media

UOB

特別芸術後援者賞(団体)

150万ドル以上

The Liu Kuo-sung Foundation

TheNgee Ann Kongsi

UOB

UOL-PPHG

特別芸術後援者賞(個人)

10万ドル以上

Andreas Teoh

Chan Kok Hua 曾国和・秋斎

Chang Si Fun @Shewin Chang

Cheryl Loh

Chew Sutat

Chiu Sin Chuen Albert

Christopher & Rosy Ho

Christopher Chuah

Finian & Fiona Tan

Goh Yew Lin

Goh-Tan Choo Leng

Harrisfazila Zaidi

Hsieh Fu Hua

Kris Foundation - Kris Tan Lay Peng

Lew Chee Beng

Lim Keen Ban

Loh Siew Hock

Ng Kok Song

Ng Siew Quan

Ong Cheng Kian, Dr. Ong Sin Jen & Ong Sin Wei

Patrick Lee

Sybil Lau

Teo Hark Piang (Zhang Xuebin)

The Late Mr Sim Wong Hoo

The Late Mr William Lim & Mrs Lena Lim Thip Sae-tang

Wu Hsioh Kwang

Zhong Sheng Jian

Mapletree Investments Pte Ltd

Marina Bay Sands

Orchard Turn Retail Investment Pte Ltd (ION Orchard)

SMRT Corporation

Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre

Tan Chay Bing Education Fund

Warner Bros. Discovery

芸術後援者賞(個人)

50,000~99,999ドル

Ang Jwee Herng

Arnoud De Meyer

Audrey Leong

Chua Ngak Yen, Vincent

Conrad Lim & Andrea Giam

Dr & Mrs Antoine & Christina

Firmenich

Foo Kok Wan

Goh Way Siong (Max)

James Toh

Janek Schergen

Jim Amberson

Jin Zhenfang

Kwok Kian Woon

Lynette Lim

Marie Elaine Teo

Mr & Mrs Victor & Michelle

Sassoon

Nicholas Nash

Ong Long

Osbert Lyman

Poh Choon Ann

Priscila Teo

Rodney Hyland

Sheila Lim

Shiv & Roopa Dewan

Tan Cheng Gay

Tan Kah Tee

Tan Lee Kum

Teo Kiang Ang

The Santosa Family

Vivian Chandran

Ye Cheng Zhong

Yeo Eng Koon

A12**パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード2023**

芸術後援者賞(団体)

300,000~1,499,999ドル

Bloomberg

Ho Bee Foundation

JCDcaux Singapore Pte Ltd

JPL Consultants Pte Ltd

Kwan Im Thong Hood Cho Temple

A13

パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード2023

芸術の友賞(団体)

50,000ドル～299,999ドル

3 Embers Culinary Craft Pte Ltd
 Alfa Tech Asia
 Allen & Overy LLP
 AMC Asia (SG) Pte Ltd
 Ang Chin Moh Funeral Directors Pte Ltd
 Asian Medical Foundation Ltd
 Avarga Limited
 AVS Printing Pte Ltd
 Binjaitree
 BNP Paribas
 C K Holdings (2003) Pte Ltd
 Citibank N.A Singapore
 CLS International (1993) Pte Ltd
 Cross Ratio Entertainment
 DBS Bank Ltd
 Deloitte Singapore
 Deutsche Bank
 DP Designs Pte Ltd
 EFG Bank AG
 Elmwood Group Private Limited
 EnGro Corporation Limited
 ExxonMobil Asia Pacific Pte Ltd
 Foundation Of Rotary Clubs (Singapore) Ltd
 Frasers Hospitality Pte Ltd
 Garena Online Pte Ltd
 Gojek Singapore
 Golden Compass School Pte Ltd
 Grande Delta Pte Ltd
 Heart Media Pte Ltd
 Holywell Foundation Limited
 Hong Leong Foundation
 IMC Group Asia (S'pore) Pte Ltd
 JCCI Singapore Foundation Limited
 Johnson & Johnson Foundation
 Lam Soon Singapore Pte Ltd
 Leung Kai Fook Medical Co Pte Ltd
 M1 Limited
 Mingxin Foundation
 Mocha Chai Laboratories
 Mtm Skincare Pte Ltd
 NCS Pte Ltd
 NTT Asia Pacific Pte Ltd
 OCBC Bank
 Orange Clove Catering Pte Ltd
 OUE Foundation
 Overseas Movie Pte Ltd
 Pacific Eagle Group Pte Ltd
 Poco Productions Pte Ltd
 Poh Tiong Choon Logistic Limited
 PSA International Pte Ltd
 Royal Bank of Canada
 Samsung Electronics Singapore Pte Ltd
 Singapore Airlines

Singapore Chinese Chamber Of Commerce Foundation
 Singapore Hokkien Huay Kuan
 Singapore International Foundation
 Singapore Lam Ann Association
 Sound Trading (1975) Pte Ltd
 SPH Media SRKK Consulting
 SymAsia Singapore Fund
 Takasago International (Singapore) Pte Ltd
 Tan Chin Tuan Foundation
 Tan Ean Kiam Foundation
 Tanoto Foundation
 Tatler Asia (Singapore) Pte Limited
 The Grace Shua & Jacob Ballas Charitable Trust
 The Show Company
 Unisource SG Family Pte Ltd
 Wipro Limited Singapore branch
 Yong Hon Kong Foundation

A14

パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード2023

芸術の友賞(個人)

10,000ドル～49,999ドル

Aaron Boey
 Abha Kaul
 Aileen Tang
 Alan & Sylvia Wang
 Alan Chan
 Alexey Rumyantsev
 Alexia Robless
 Alice Koh Koon Hwee
 Alvin De Souza
 Ang Ziqian
 Angelia Lee
 Angeline Chin
 Anita Fam
 Annabelle Yip
 Anne Lee
 Arthur E H Lim
 Arthur Fong
 Barbra Gan
 Bernard Ryan
 Bernard Toh
 Betty Lau & Piyanuch Pramotedham
 Bianca Cheo Hui Hsin
 Brandon Gohel
 Calvin Sim Eng Hon
 Cavazos Tinajero Family
 Cham Tao Soon
 Chan Heng Chee
 Chang Yee Lee, Lyn
 Chase Ma
 Chen Ping
 Chew Kheng Chuan
 Chia Chor Meng
 Chng Hak-Peng
 Chong Chan Meng & Lim Sing Yuen
 Chong Chan Yee

Chong Kar Shin
 Choo Chek Siew
 Christian Duhain
 Chua Kee Teang
 Chua Khee Chin
 Chua Leong Hai
 Chua Soo Bin
 Clarence Pooplasingam
 Clement Piak
 Daniel Lim
 Daniel Teo
 Danny Tan Koon Meng
 Darren & Vanessa Ilostte
 Darren Cheng & Jenny Tay
 Daryl Chiang
 Daryl Neo
 David & Catherine Zemans
 David Ramli
 David Yang Eng Guan
 Dennis Au & Geraldine Choong
 Dorian Goh Ka Sin
 Doris Sohmen-Pao
 Dr & Mrs Choy Khai Meng
 Duncan Kauffman
 Dusan Stefan Stojanovic
 Eddy Ooi
 Edmund & Jazz
 Eng Tow
 Eric Tan
 Esmond Loon
 Euan Murugasu
 Felicia Fu
 Francois Dubrulle
 Gautam & Basabi Banerjee
 Geh Min
 Geoffrey & Ai Ai Wong
 Geraldine Limpo
 Ghim Bok Chew
 Gog Soon Joo
 Goh Gek Liang
 Goh Hock Ho
 Goh Kok Huat
 Goh Swee Chen
 Goi Kok Ming, Kenneth
 Gouw Kim San
 Graf Sieghold

A15

パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード2023

Gurpreet Dhillon
 Guy & Henny Scott
 He Jiaxin
 Ivan Tan
 Jacinta Tay
 Jacqueline Ho, Esq
 Jan Hau & Katrina
 Janice Koh
 Janice Rose & Joachim H Kehr
 Jason Coates
 Jeremy Monteiro

Jerry Chang
 Joshua Ip
 Joy Tan Whei Mien
 Julian Chang
 Ke Hongjing
 Kenneth Tan Jhu Hwa
 Khoo Bee Geok Mavis
 Khoo Hang Choong
 Khoo Ken Hee
 Koh Hong Yap, Kelvin
 Koh Sauk Keow
 Kris Wiluan
 Kuok Suon Kwong
 Kusnadi Wei
 Lau Kam Yuen
 Laura Hwang Cheng Lin
 Lauren & Richard Nijkerk
 Lee Aik Seng
 Lee Hoo Leng
 Lee Kin Hong
 Lee Li-Ming
 Lee Tzu Yang
 Lee Woon Shiu
 Li Li
 Lim Cheng Eng
 Lim Chin Boon
 Lim Chye Huat, Bobby
 Linda Kawaratani
 Linus Goh
 Lisa & Hervé Pauze
 Lisa Latip
 Liu Chee Ming
 Loh Jian Hao
 Low Kah Buay
 Magnus Keith Yu-Jene
 Mah Lan Ying
 Maih Lan Ying
 Mary & Raj Rajkumar
 Matthew Teng
 Mavis Lim Geck Chin
 Michael Hwang
 Michelangelo Samson
 Mohamed Imran Bin Mohamed Taib
 Mohamed Ismail S/O Abdul Gafoore
 Mr Han Seng Juan & Mrs Susanna Han
 N Sreenivasan
 Ng Hoy Keng
 Nicole Wang
 Noreen Chan
 Oei Hong Leong
 Oh Benny Keh Chai
 Olivier Lim Tse Ghov
 Ong Han Cheong
 Ong Yu-En
 Paige Parker & Jim Rogers
 Pak Geok Choo
 Pang Kok Lian
 Pang Lim
 Paul Ng Pauline Gan
 Peter Seah

Phua Lay Peng Denise
 Pierre Lorinet
 Priscylla Shaw
 Priyalatha Naidu
 Rachel Teo Kah Chee
 Raj Mishra
 Rajan Menon
 Raymond Tham
 Richard & Marjorie Lee Leong
 Richard Hoon
 Richard Koh
 Rogerio Bernardo
 Ronald Wong
 Sally Liew
 Samuel Lim
 Shruti Lohia Hora
 Soh Gim Teik
 Soo Chek William Quek
 Sriram Vaidhyanathan
 Stephan Repkow
 Stuart James Mclelland
 Suhaimi Zainul-Abidin
 Tan Hsiao Wei
 Tan Keng Keng

Woo Chee Chay
 Wu Ee Tsien
 Wu Peihui
 Yap Li Jian Joe
 Yap Seng Teck
 Yap Teow Hiong
 Yasmin Zahid
 Yeap Lam Yang
 Yeo Eng Huat
 Yin Hwang
 Yong Ying-I
 Yuen Miu Fun Nancy
 Yvonne Sim
 Yvonne Tham
 Zaibun Siraj & Paul Drayson
 Zhang Yan

芸術サポーター賞
 1,000,000ドル以下の美術品および工芸品貸与

Jackson See

A16

パトロン・オブ・ジ・アーツ・アワード2023

Tan Sook Yee
 Tan Wan Chye
 Tan Yew Lin
 Tee Kim Leng
 Teo Eng Seng
 Teo Kien Boon
 Teo Kok Woon
 Teo Ngiang Heng
 Terence C W Lim
 The Late Mrs Barbara June Tresise
 Timothy Sebastian
 Toshihiko Takahashi
 Tsai Eng-Rung
 Valerie Velasco
 Vemala Rajamanickam
 Vijay Rajeswari Vignesh
 Wang Lili
 Wang Qian
 Wang Renqiang
 Wang Yan
 Wee Siew Kim
 Wee Wei Ling
 Whang Tae Ho
 William & Mavis Tok
 William Koh Chee Wei
 Willow Phua Brest
 Winston Kwek & Valerie Cheah
 Winston Tan
 Wong Hong Ching
 Wong Huey Fang
 Wong Lok Hiong

A17

文化勲章およびヤング・アーティスト賞 2022

文化勲章
 Aravinth Kumarasamy
 Kok Heng Leun

ヤング・アーティスト賞
 Guo Ningru
 Ho Rui An
 Jerrold Chong
 Rit Xu

2022年度NAC芸術奨学金受賞者

学部生
 Neoh Yew Kim
 Bachelor Performance in British Sign Language and English (Performance)
 Royal Conservatoire of Scotland

大学院生
 Aishwariyah Shanmuganathan
 Doctor in Education (Visual and Performing Arts)
 Nanyang Technological University
 National Institute of Education
 Amanda Kye-Ning Tan
 Master of Music (Conducting)
 Boston Conservatory
 at Berklee College of Music

Goh Sin Tze, Elvia
Master in Arts Management and Creative Producing
University College Cork

Leong Seok Ting, Denise
Master of Arts in Dance Leadership and Community
Practice (Community Dance)
Trinity Laban Conservatoire of Music & Dance

Tan Li Wen, Jollin
Master of Arts(English Studies: Literature, Language,
Culture)
Freie Universität Berlin

Tang Wei Li, Jonathan
Doctor of Philosophy (Psychology of Music)
The University of Sheffield

Zulkifle Bin Mahmood
Master of Arts (Fine Arts)
LASALLE College of the Arts

A18

文化マッチングファンド管理委員会

管理委員

Tan Gee Keow
Permanent Secretary
Ministry of Culture, Community and Youth

Koh Kian Chew Edmund
President UBS Asia Pacific of UBS Group
AG and UBS AG Member of UBS Group
Executive Board

Yeow Chee Keong
Real Estate & Hospitality Leader
PricewaterhouseCoopers LLP

Ramesh Kumar
Partner
Allen and Gledhill LLP

23 Feb 2014 – 31 Dec 2022
Rajamanickam K Vemala
Consultant
Allen and Gledhill LLP

事務局

Tan Xuan Rong
Director (Arts & Heritage Division)
& Vice Dean (Cultural Academy)
Ministry of Culture, Community and Youth
1 Nov 2017 – 3 Jul 2022
Timothy Chin
Former Senior Director
(Arts & Heritage Division)
Ministry of Culture, Community and Youth

A19

芸術の持続(stART)基金

委員会

Mr. Pierre Lorinet, Chairman
Mr. Lee Suan Hiang, Member
Mr. Sim Gim Gua, Member

創立寄付者

Mr. Danny Yong
Tote Board

主な寄付者

Mr. Osbert Lyman
Mr. Pierre Lorinet
United Overseas Bank

受賞者

団体助成
Composers Society of Singapore
Vox Camerata

プログラム助成

3Pumpkins
AGAM Ltd
Contemporary Performance and Co Ltd (Dance Nucleus)
Decadance Co Ltd
INSTINC Space
Maya Dance Theatre Ltd
P7:1SMA Ltd
Polarity Pte Ltd
Reverberance Ltd
Sculpture Society (Singapore)
Sigma Contemporary Dance
Teater Ekamatra Ltd
The Opera People Ltd

トートボード芸術基金委員会

議長

Mr. Lee Suan Hiang

副議長

Dr. Uma Rajan

メンバー

Mrs. Chong Yuan Chien
Mr. Eric Watson
Ms. Melissa Quek
Dr. Kartini Bte Anwar
Ms. Suenne Megan Tan
Ms. Serene Lim

A20

アートスペース・テナント

グッドマン・アートセンター
 Abu Jalal Bin Sarimon
 Apsaras Arts Ltd
 ArtsWok Collaborative Ltd
 Association of Comic Artists (Singapore)
 Association of Singapore Tamil Writers
 Checkpoint Theatre Ltd
 Contemporary Performance and Co Ltd (Dance Nucleus)
 Decadance Co Ltd
 Era Dance Theatre Limited
 Frontier Danceland Ltd
 Han Sai Por
 Marvin Chew Kiew Jin
 Melissa Tan
 Paper Monkey Theatre Ltd
 RAW Moves Ltd Reverberance Ltd SAtheCollective Ltd
 Singapore Book Council
 SINGAPORE Drama Educators Association
 Singapore Literature Society
 Singapore Lyric Opera Limited
 Song Lovers Choral Society
 共同テナント: SourceWerkz Music Comapany
 Sriwana
 Sujak Abdul Rahman
 T.H.E. Dance Company Ltd
 Tan Sze Ern
 Tan Wee Lit
 The Artground
 The Observatory Music Ltd
 Tian Yun Beijing Opera Society
 Valerie Ng
 Young People's Performing Art Ensemble Ltd

アリワル・アートセンター
 Avant Theatre & Language
 Chinese Opera Studio
 Chowk Productions Ltd
 Kalpavriksha Fine Arts Ltd
 Lim Wei Jing Dave
 Nadi Singapura Ltd
 New Opera Singapore Ltd
 Nine Years Theatre Ltd
 RSCLS : Mohammed Zulkarnaen Othman
 共同テナント: Chong Tze Chen, Anthony, Adam Wang Jia Lin
 Teow Yue Han

スタンフォード・アートセンター
 Ding Yi Music Company Ltd
 P7:ISMA Ltd
 Shantha Ratii Initiatives (SRI) Ltd
 Traditional Arts Centre (Singapore) Ltd

ウイスマ・ゲイラン・セライ
 Kamal Arts
 Sri Warisan—Som Said Performing Arts Limited

A21

アートスペース・テナント

48ウォータールー・ストリート
 Chinese Calligraphy Society of Singapore
 60ウォータールー・ストリート
 Dance Ensemble Singapore Ltd
 155/161 ミドル・ロード
 Objectifs Centre Ltd
 30セレギー・ロード
 The Photographic Society of Singapore
 54-58 ウォータールー・ストリート
 The Theatre Practice Ltd
 20メルバウ・ロード
 Singapore Repertory Theatre Ltd
 72-13モフド・スルタン・ロード
 Theatreworks (Singapore) Ltd
 42ウォータールー・ストリート
 Centre 42 Ltd

A22

アートスペース・テナント

テロック・クラウ・スタジオ
 91ロロン・J・テロック・クラウ
 Amanda Heng Liang Ngim
 Anthony Chua Say Hua
 共同テナント: Hong Sek Chern
 Baet Yeok Kuan
 Chern Lian Shan
 Chieu Shuey Fook
 Choy Har Chan
 Goh Beng Kwan
 Ho Ming Jie Jay
 Immanuel Goh Jin Hong
 Leo Hee Tong
 Lim Leong Seng
 Loy Chye Chuan
 Ng Yak Whee
 Nur Fajrina Abdul Razak
 Poh Teck Lim
 Ramli Bin Nawee
 San See Piau
 Sharma Jeremy Melvin
 Sim Lian Huat
 Singapore Colour Photographic Society
 Singapore Watercolour Society
 Tan Swie Hian
 Tan Wee Tar
 Tan Wyn-Lyn
 Tang Mun Kit
 Teo Eng Seng

Teo Huey Ling
Teh Shi Wei
共同テナント: Hera
Yeo Chee Kiong

2Aスターライト・ロード
Singapore Indian Fine Arts Society, The

21Aスミス・ストリート
Shicheng Calligraphy & Seal-Carving
Society

21Bスミス・ストリート
Harmonica Aficionados Society

13Aスミス・ストリート
Xin Sheng Poet's Society

13Bスミス・ストリート
Singapore Association of Writers

19A&Bスミス・ストリート
Er Woo Amateur Musical & Dramatic
Association

11A&Bスミス・ストリート
Ping Sheh
(Peiping Drama Society, Singapore)

14A,B&Cトレンガヌ・ストリート
Drama Box Ltd

12A,B&Cトレンガヌ・ストリート
TAS Theatre Company Singapore Ltd

15A&B, 17A&Bスミス・ストリート
Toy Factory Productions Ltd

5, 5A&B, 7A&Bスミス・ストリート
Chinese Theatre Circle Limited

19ケルバウ・ロード
Bhaskar's Arts Academy Ltd

61ケルバウ・ストリート
Maya Dance Theatre Ltd

63ケルバウ・ストリート
Gamelan Asmaradana Ltd

126カイルンヒル・ロード
ACT 3 International Pte Ltd
Teater Kami Limited
The Arts Fission Company Ltd
Echo Philharmonic Society
The Finger Players Ltd

P2, 3

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」
インスピレーションを与える創造的な都市を目指して

Copyright © 2023 National Arts Council All Rights Reserved.

本出版物のいかなる部分も、ナショナルアーツカウンシル(National Arts Council、NAC)の事前の許可なく、いかなる形式、いかなる手段によっても、制作または配布することを禁じます。

協力:文化コミュニティ青年省(Ministry of Community, Culture and Youth、MCCY)

P4, P5

目次

- 06 メッセージ・序文
- 16 エグゼクティブ・サマリー
- 26 共に旅する
- 34 変革の原動力と推進力
- 42 今後5年間にむけて
- 52 私たちの戦略の柱
- 84 私たちの強固な基盤
- 94 まとめ
- 98 補遺:成果を積み重ねて

P6

メッセージ・序文

シンガポール・アート・ウィーク(Singapore Art Week、SAW)2023の一環としてナショナルギャラリーシンガポール(National Gallery Singapore)が開催した「ライト・トゥ・ナイト2023:今ここに(Light to Night 2023: Here and Now)」にて、ザ・アーツハウス(The Arts House)のファサードに投影されたプロジェクションマッピングを鑑賞する来場者たち。

P8

芸術は創造性を育み、帰属意識を根付かせ、人々を結びつけ、シンガポールの存在を世界に示します

P9

メッセージ

現代の芸術家は、先人たちの偉業を基盤として活動を行っています。今日のシンガポールの芸術は、建国当初から大きな進歩を遂げ、力強く、自身に満ちたものになりました。著名な活動家から新世代のクリエイターまで、たくさんの芸術家がシンガポールで活動しています。彼らはさまざまな形態で作品を作り、実験を繰り返し、境界線を押し広げています。海外から新しいアイデアを取り入れ、それをこの国の特色と融合させ、独自の新しい芸術を生み出しています。

芸術と芸術家はシンガポールになくてはならない存在です。現在進行中の取り組みである「フォワード・シンガポール(Forward Singapore)」の実施に伴い策定された「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、ナショナルアーツカウンシル(NAC)が今後の道筋を描くためのセクター別のロードマップとなっています。

まず、芸術はつながりのある社会を形成する上で重要な役割を担っています。私たちの社会構造は絶えず変化するため、ひょっとすると若者の持つ価値観はその上の世代とは異なっているかもしれません。社会の期待や規範は常に移り変わるもので、見直しが必要とされます。

芸術は、社会全体が変化について考え、対話するための効果的な道筋を示し、私たちの帰属意識や幸福感に貢献します。芸術には、私たちのコミュニティを団結させ、シンガポール人としてのアイデンティティを確立させる力があります。

さらに、東洋と西洋の交差点にある特色ある都市であるシンガポールにおいて、芸術は、その日々の生活のダイナミズムと活気を高める上で重要な役割を果たしています。国民にとってはより魅力的な故郷、観光客にとっては魅力的な目的地へと、魅力ある都市づくりに貢献します。日常生活に芸術をより多く取り入れることを通じて、「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、より住みやすく活気ある都市作りを目指す私たちの夢を実現する一助となることでしょう。

最後に、「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」を通じて、シンガポールのクリエイティブエコノミーの未来を切り開き、雇用の創出につなげていきたいと考えています。テクノロジーやデジタル化を超えて、芸術的才能、卓越性、革新性によって文化芸術分野に持続可能性をもたらさなければなりません。クリエイティブエコノミー全体がアイデアと才能によって活性化されるよう、私たちは文化芸術分野および関連業界との協力を引き続き奨励していきます。芸術が新しいアイデア、テーマ、形態によって開花し、これらの作品が私たちの社会を刺激し、豊かにしてくれることを願っています。

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、単なる青写真ではありません。創造性を育み、帰属意識を根付かせ、人々を結びつけ、シンガポールの存在を世界に示してくれる芸術の力に対する私たちの信念の表明とも言えるものです。そしてこの計画の中心にあるのは「人」です。芸術家、観客、企業パートナー、教育者、慈善家、政策立案者、ボランティア、芸術愛好家...誰もが強固なエコシステムの重要な一部です。

本計画を策定するにあたり、数々の協議を重ねてきました。続いて私たちは今、ダイナミックで活力のある文化芸術分野の創造に参加するよう、すべての関係者に呼びかけています。共に芸術の力を活用することで、つながりのある社会、私たちの故郷を誇りに思えるような特色ある都市を作りあげ、シンガポールの人々の様々な理想を実現できると確信しています。

エドウィン・トン(Edwin Tong)

文化コミュニティ青年省大臣兼第二法相

P10

2020年に公開された「14:7 Kali Bah」は、ダンスカンパニー「P7:1SMA」がゲイラン・スライ・コミュニティの物語、逸話、思い出にインスパイアされて制作したダンス・フィルムです。

P12

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」の中心にあるのは「人」です。

P13

序文

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」の中心にあるのは「人」です。この計画の策定過程では、包括性に重点が置かれ、文化芸術分野、官民のパートナー、一般市民など、16,500人以上の関係者と1年以上にわたる話し合いを行ってきました。芸術家、文化芸術団体のリーダー、公共および民間セクターのパートナーと意見交換を重ねたことで、シンガポールの芸術発展に対する彼らの願望や、芸術が社会、経済、そして私たちの日常生活においてどのような役割を果たすことができるかについての視点を理解することができました。

これらの対話から、「芸術のエコシステムを維持し、卓越した芸術性を育むために、私たちは何をしなければならないのか?」、「テクノロジーはどのように芸術家をサポートし、どのように新たなビジネスモデルに拍車をかけるのか?」、「多様な観客へのリーチを広げ、芸術鑑賞の機会をもたらし、バックグラウンドや能力に関係なく誰もが芸術に参加できるようにするには、誰と協力すればいいのか?」、「より多くの人々が芸術や関連分野でのキャリアを追求できるようにするには、どうすれば新たな道を切り開くことができるのだろうか?」、「両極化が進む今日の環境において、私たちはどのように芸術を活用し、自分自身を表現し、対話の場を作り、人々の絆を深めることができるのだろうか?」といった数々の疑問が生まれました。

本計画策定の最初のステップは、こういった疑問に対する答えを探ることから始まりました。多様な視点を集めることに時間と労力をかけたことで、今後5年間におけるエキサイティングなアジェンダを実現するための堅実な計画が策定できたと確信しています。

「シンガポールアーツプラン(2018~2022)」は、人々にインスピレーションを与え、地域社会を結びつけ、世界においてシンガポールの地位を確立するために不可欠な芸術の役割を支援することに重点を置いています。こうした取り組みのいくつかはすでに実を結び始めており、経済の不確実性、急速な技術の進歩、COVID-19の流行後の生活や働き方の変化の波といった外的圧力に対して、文化芸術分野が一定の足固めに役立っています。その他の取り組みは、過去の文化政策や文化戦略によって実現した偉業をさらに発展させたものです。

ゴー・スイー・チェン(Goh Swee Chen)
ナショナルアーツカウンシル 会長

ロー・エン・ティオン(Low Eng Teong)
ナショナルアーツカウンシル 最高経営責任者

P14, P15

過去5年間の取り組みと、エンゲージメント・セッションからのフィードバックをもとに、「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」は、以下の3つの戦略的な柱に基づいて策定されています。

1. つながりのある社会

私たちは、芸術と文化を共有することで、緊密に結ばれたシンガポールコミュニティを築きたいと考えています。これは、教育、レジャー、年齢を超えたウェルビーイングなど、主要な生活分野に芸術を取り込むことによって達成されます。例えば、学校との関わりを深化し、より多くの生徒が幼い頃からアートギャラリーやパフォーマンスに親しむことができる環境づくりを目指しています。また、個人の寄付者や企業からの寄付をさらに呼びかけていきたいと考えています。

2. 特色ある都市

シンガポールが芸術のための活気ある空間で満たされ、芸術に触発された創造的な都市となることを私たちは思い描いています。様々な場所で創造性が開花できるように、政府機関や産業界のパートナーと協力し、芸術の創造や発表を支援し、観客とつながるための物理的・仮想的なスペースを提供する取り組みを強化していきます。

3. クリエイティブエコノミー

私たちは、芸術的才能がその卓越性と革新性を推進することができるよう支援するとともに、キャリアアップ、能力開発および習得、キャリアモビリティのための道筋の提供にも取り組んでいます。また、雇用機会を増やし、クリエイティブな資産を収益化し、国際的な需要を拡大するための新たなビジネスモデルも模索していきます。

この計画の下での取り組みは、データとインサイト、テクノロジーとイノベーションの活用を支えられ、芸術の活躍の場を広げるための戦略的パートナーシップの構築によって推進されます。

「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」は、喫緊の課題に取り組み、芸術家が芸術の分野で持続可能なキャリアを築ける道を開き、観客が芸術を鑑賞し、刺激を受けられる社会を作り上げることを目指しています。私たちは、このマスタープランを「生きた文化政策」として、芸術コミュニティのニーズの変化や、官民の新たなパートナーの参入、観客を巻き込む新しい方法などの導入に応じて進化させていきます。

芸術は、人間社会に不可欠なものです。芸術は、私たちのストーリー、私たちの意見、そして未来への希望を具現化してくれる存在だからです。集団的な努力と支援は、芸術における創造性、卓越性、ダイナミズムの新たなピークをもたらし、シンガポールを市民と観光客の双方にインスピレーションを与える創造的な都市へと導いてくれるでしょう。

スリ・ワリサン・ダンス・アンサンブル・シンガポール(Sri Warisan Dance Ensemble Singapore)とジグリ・ヤール・バングラ(Jigri Yaar Bhangra)によって結成された多文化舞踊団、「シンガポール・マルチ・エスニック・ダンス・アンサンブル(Singapore Multi-Ethnic Dance Ensemble)」は、2021年の「ASEAN加盟国のためのVIVA ASEAN(VIVA ASEAN for ASEAN)」にシンガポール代表として参加しました。

クレジット: Sri Warisan – Som Said Performing Arts Limited

P16

エグゼクティブ・サマリー

芸術活動家のリユー・ジアイ(Liew Jia Yi)。2011年の「シンガポール作家祭(Singapore Writers Festival)」の一環として始まった学校支援プログラム「ワーズ・ゴー・ラウンド 2022(Words Go Round 2022)」においてカナディアン・インターナショナル・スクール(Canadian International School)で行われたプログラム「小指で約束だよ、いい?(I Pinky Promise You, Okay?)」にて。

クレジット: Singapore Book Council

P18, P19

私たちのビジョン

インスピレーションを与える創造的な都市を目指して

芸術は、豊かでユニークな国民性に影響を与え、私たちがシンガポール人であることを定義する上で重要な役割を果たしています。音楽、ダンス、演劇、文芸、絵画—それがどんな形態であっても、芸術には私たちと多様な文化遺産を結びつけ、共有する経験を育む力があります。またそれは、私たちが暮らし、働き、遊ぶ場所をも変えてきました。街角の壁画から美術館や芸術センターに至るまで、芸術は私たちの街並みに個性を吹き込み、多文化である私たちのアイデンティティを際立たせます。

エネルギーに満ちた芸術産業は、人々をつなぎ、空間を活気づける芸術の力を補完するものです。また、優れたキャリアを提供し、シンガポールを特色ある都市、文化の中心地へと発展させる一助にもなっています。今後私たちは、持続可能な芸術のエコシステムを構築するために、より大きなクリエイティブエコノミーの可能性を活用していきたいと思っています。芸術家たちの能力を向上させるだけでなく、芸術産業を関係業界と結びつけ、新たな市場や新たな活動方法を開拓していきます。

1991年の設立以来、NACは芸術を推進してきました。その後20年間、私たちは「ルネサンスシティ報告書(Renaissance City Reports)」(2000、2004、2008年)によって時代の課題に取り組んできました。文化芸術戦略レビュー(Arts and Culture Strategic Review、ACSR)は、2010年から2025年までの長期的な方向性を示しています。ACSRを指針とした「シンガポールアーツプラン(2018 - 2022)」は、過去5年間の戦略的優先事項を示した計画です。

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、前回のアーツプランの成果の上に成り立っています¹。また、16,500人以上の文化芸術分野内外の関係者から寄せられた貴重なインプットを活用して策定されました。この計画では、私たちの調査から得られたデータとインサイト、および今後数年間に文化芸術分野に影響を与えらると思われる将来的、技術的な動向に関する調査によって主な優先事項が設定されています。NACは、この計画を今後数年間、他の文化芸術分野と協力するための指針として構想しています。すでにいくつかのプロジェクトや計画が進行中ですが、私たちは今後数年間、芸術コミュニティと手を携えて、ここに示されたビジョンを具体化していきます。

シンガポール・アート・ウィークの目玉イベント、ナショナルギャラリーシンガポールによる「ライト・トゥ・ナイト2023:今ここに(Light to Night 2023: Here and Now)」。「ライト・トゥ・ナイト」は、国内外の芸術家による新しいアート・インスタレーションや光のプロジェクションが来場者の目を楽しませました。

¹「シンガポールアーツプラン(2018～2022)」の成果については、補遺を参照。

P20

シンガポールアーツプラン:次なる章へ

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、シンガポールの文化芸術政策を導く今後5年間の戦略的ロードマップです。刻々と変化する世界において、芸術の機会と課題に対応するため、官・民・人(3P)セクターの総力を結集したものです。

シンガポールアーツプラン2023-2027

芸術戦略における重要なシフト

1. 文化芸術分野が将来的にも持続可能であるために、産業の発展にエコシステム・アプローチを採用すること。これには、芸術エコシステムを繁栄させるために、芸術内外の関係者とともにパートナーシップを築くことが含まれます。
2. 観客のニーズにさらに焦点を当て、観客が私たちの活動の中心になるようにすること。これには、あらゆるライフステージにおける芸術への理解、参加、消費の拡大が含まれます。
3. COVID-19の流行の時期に積み重ねた成果を確保するために、テクノロジーとイノベーションに投資すること。私たちは、芸術家や文化芸術団体のデジタル化と新しい観客のエンゲージメント方法を支援します。

2023年1月、ザ・アーツハウスで開催された「グローイング・ホーム - ザ・アーツプランとあなたについてのショーケース (Growing Home: A showcase about The Arts Plan and You)」の共創プロジェクト「Better 2gather」の一環として展示された、テロック・ブランガーの住民によるアート作品を鑑賞するゲストたち。「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」の準備には、一般の人々が関与しています。

クレジット: Island Boys

P22, P23

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、次の3つの戦略的な柱で構成されており、それぞれが目標を達成するための重要な優先事項によって推進されます。

つながりのある社会

シンガポールのアイデンティティが、私たちが共有する芸術と文化に支えられている社会。

重要な優先事項

+ 生涯を通じた芸術体験

あらゆる年齢層において、教育、レジャー、ウェルビーイングといった生活領域に芸術体験を組み込む。

+ 共有体験を通じたコミュニティの強化

戦略的パートナーシップとプログラムを通じて観客と芸術の接点を拡大し、コミュニティ内外の強い絆を育む。

+ サポート拡大のためのアドボカシーの推進

3Pセクター全体で芸術の社会的影響に対する理解を促進させる。多様化し拡大するパトロンからの芸術への貢献を奨励する。

ブリリアント・コーナース(Brilliant Corners)のリーダーシップの下、システム・ソブリン(System Sovereign)がプロデュースしたPOTLUCK ZINEは、トア・パヨ・イーストの住民が、アーティストのBAKED、ステイシー・タン(Stacy Tan)、チェリー・チャン(Cherry Chan)、ディジュリアン・チャン(Dju-lian Chng)、キアット(Kiat)、ステファニー・ペー(Stephanie Peh)と共同で制作したアート作品を紹介するコミュニティ・アート展だった。

分野を越えたアートスタジオであるシステム・ソブリン(System Sovereign)の指導のもと、トア・パヨ・イーストの住民たちは、個人的なストーリーを共有し、写真、文章、版画のスキルを身につけ、電子雑誌の作成とボイドデッキでの作品展示のために協力し合いながら、絆を深めていきました。このアートは、近隣でサイチョウが目撃されたという会話からインスピレーションを得たものです。

特色ある都市

芸術によって空間が活気づき、シンガポールを魅力的な故郷・魅力的な目的地とすることに貢献している。

重要な優先事項

+ 空間の多様化と開放

手ごろな価格の公共スペースやプライベート・スペースへのアクセスを増やし、シンガポール中の人々が生活し、働き、遊ぶ、より多くのスペースに芸術を取り入れる。

+ 芸術の場および地域の活性化

公共および民間セクターと協力し、革新的でユニークな芸術の場や地域を、芸術家や地元および世界の観客のために共同創造する。

+ あらゆる場所にアートを浸透

実世界、拡張現実(AR)、メタバースにおいて、芸術的で没入感のあるクリエイティブな都市を創造する。

植物園のショー財団シンフォニー・ステージ(Shaw Foundation Symphony Stage)でシンガポール華楽団(Singapore Chinese Orchestra)の演奏を楽しむ老若男女の観客たち。Arts@SBG NAC-エクソンモービル・コンサート・イン・ザ・ガーデンス・シリーズ(Arts@SBG NAC-ExxonMobil Concert in the Gardens series)の一環として。
クレジット: Singapore Chinese Orchestra

クリエイティブエコノミー

文化芸術分野が、芸術的才能、卓越性、革新性、そしてより大きなクリエイティブ産業との緊密な協力関係によって活性化されている。

重要な優先事項

+ 新たなビジネスモデルを築く

芸術とその関係業界の認知度と可能性を高め、雇用機会を増やす。

+ 芸術的卓越性の育成

芸術における持続可能なキャリアに必要な能力と開発経路を構築する。

+ 国際化の機会の拡大

グローバルにつながる文化芸術分野を開発する。シンガポールがクリエイティブな中心地であるという評価を確立し、地元の芸術に対する国際的な需要と市場を拡大する。

「バルプIII: 追放された本の略歴(Pulp III: A Short Biography of the Banished Book)」の凱旋展示会のインスタレーション。シュビギ・ラオ(Shubigi Rao)作、ウテ・メタ・パウアー(Ute Meta Bauer)監修。第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展(The 59th International Art Exhibition of La Biennale di Venezia)のシンガポール・パビリオンで初披露された作品。
クレジット: Alessandro Brasile

P24

「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」は、以下の関係協力者によって支えられています

+ パートナースhip

NACは、芸術内外の関係者のビジネス、社会、コミュニティ・セクターと新たなパートナーシップを築き、文化芸術分野を盛り上げるための多様な視点と戦略を得ることを目指しています。また、国際的なパートナーとのパートナーシップを強化し、アート・メイキング、アート・テクノロジー、リサーチの各分野における能力を強化していきます。

+ テクノロジーとイノベーション

NACは、今後もテクノロジーの探求と導入を継続していきます。新たな機会を活用し、芸術とテクノロジーセクターでの継続的な革新、学習、コラボレーションを奨励します。また、文化芸術分野が業界全体でテクノロジーインフラを開発する際にもサポートを提供します。

+ データとインサイト

データと実証的証拠は、芸術にとって重要なインサイトを提供し、観客の嗜好を理解するのに役立ちます。これを活用することで、多様な観客層によりうまく対応し、シンガポール内外の観客と芸術作品を共創することができます。

これらの戦略的推進力および取り組みについては、以降のセクションでさらに詳しく説明します(持続可能な芸術産業を実現するために追求すべき望ましい成果等)。

私たちの次のステップ

NACは今後5年間、3Pセクターすべてにおいて、そのステークホルダーやパートナーと協力し、計画の共同達成に全力を尽くしてまいります。私たち一人ひとりが、国内で愛され、世界的に賞賛される、包括的で多様性に富んだ活気ある文化芸術分野を構築する一翼を担うことができると信じています。私たちは共に、インスピレーションを与える創造的な都市としてのシンガポールのビジョンを実現することができます。

Tusitala社主催の「ちょっと怖いシンガポールのお話(Sorta Scary Singapore Stories)」で360°の物語を体験する来場者。2023年1月にザ・アーツハウスで開催された「グロウイング・ホーム - ザ・アーツプランとあなたについてのショーケース(Growing Home: A showcase about The Arts Plan and You at The Arts House)」にて。

クレジット: Island Boys

P26

共に旅する

マヤ・ダンス・シアター(Maya Dance Theatre)の「ダイバース・アビリティ・ダンス・コレクティブ(Diverse Abilities Dance Collective)」のダンサーたちは、「合流(Confluence)」と題した感動的なパフォーマンスを披露、包括的でつながりのある社会を提唱しました。

クレジット: Colossal Pro

P28

ステークホルダーや市民との協議を重ね「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」を策定

私たちは、2021年6月から2023年2月にかけて、4つのフェーズからなるエンゲージメント活動を実施しました。これらのセッションでは、本計画の最初の優先事項を特定し、主要なアイデアを出し合いました。計画を微調整していく中で、セッションからのインプットは戦略をより練ったものにするのに役立ちました。

このようなアプローチは、2022年6月にローレンス・ウォン(Lawrence Wong)副首相が発表した「フォワード・シンガポール(Forward Singapore)」計画に基づいています。この取り組みにおいてシンガポール政府は、シンガポール国民とパートナーシップを結び、自国発展のための次の段階を形作ることを目指しています。

全エンゲージメント・セッションを通じて、合計で16,500人以上が参加し、一般市民から2,700件以上の意見を集めました。

NACは、私たちの芸術計画の形成にご意見やご感想をお寄せくださった、貢献してくださった方々に感謝いたします。次の5年間のジャーニーに向け、3Pセクターのすべてのステークホルダーと協力し、計画を共同開発・共同実施することを楽しみにしています。

約800人の関係者が参加した非公開のフォーカス・グループ・ディスカッションの様子。シンガポールで芸術を発展させるための意見、見解、新しいアイデアを交換しました。

P29

エンゲージメント活動のマイルストーン(2021年以降)

ブルースカイ

フェーズ1

2021年7月～12月

何を: 多様な「ブルースカイ」の構想

誰が: 芸術内外の3Pセクターの思想的リーダー200名

どのように: 1対1のインタビューとフォーカス・グループ・ディスカッション

ディープ・ダイブ

フェーズ2

2022年1月～7月

何を: 各戦略の柱へのディープ・ダイブ

誰が: 芸術内外、公的機関の関係者800名

どのように: 30～50人の参加者による、バーチャルおよび会場でのフォーカス・グループ・ディスカッション

ニューエクスペリエンス

フェーズ3

2022年7月～8月

何を: フェーズ2のフィードバックを共有

誰が: 300人の芸術関係者が初期段階に関与

どのように: ウォータールー・アート・ベルト沿いの対話形式の音声ガイドウォーキングツアーに参加

パブリックエンゲージメント

フェーズ4

2022年12月～2023年2月

何を: 一般の人々の意見を聞く

誰が: 芸術に関心のある若者や高齢者を含む一般市民

どのように: ウェブページを立ち上げ、計画案を共有するとともに、ロードショーや一般投票を実施し、意見を集めた

2023 ローンチ

ローンチ

2023年9月5日

何を: 活気に満ちた持続可能な芸術のエコシステムづくりに参加するよう呼びかける

誰が: 3Pコミュニティの文化芸術関係者・パートナー

どのように: シンガポールアーツプラン(2023 - 2027)」の立ち上げと、NACの新しいビジョン、ミッション、コア・バリュー、および3Pセクターにわたる新たな取り組みの展開

P30, P31

ブルースカイ: フェーズ1

経済、環境、政治、社会、テクノロジーといったセクターの壁を越え、見識を深めるために、芸術内外のステークホルダーに対して、本計画がそれぞれの分野における優先事項に関連することを呼びかけました。

2021年7月から12月にかけて、私たちは約200人のステークホルダーとフォーカス・グループ・ディスカッションを行い、彼らが考える理想的な文化芸術分野とはどのようなものであるのかを探りました。

+ 芸術活動スペース

+ 観客

+ エコシステムと資金調達

+ 労働力とクリエイティブエコノミー

+ 運営モデル

+ 社会における役割

+ 芸術を支援するインフラ

ディープ・ダイブ: フェーズ2

これらの洞察を分析した後、3つの重要な戦略の柱とそれに対応する9つの優先事項が作成されました。

2022年1月から7月にかけて、約800人のステークホルダーを対象とした中規模グループ・エンゲージメントをバーチャルおよび会場にて約30回実施し、これらの優先事項を明らかにしました。これらのセッションでは、3Pセクターの芸術内外の関係者からなる参加者が意見を交換する機会が設けられ、芸術を私たちの生活の中でより中心的な存在にするための新しいアイデアやパートナーシップの可能性が生まれました。

ニューエクスペリエンス: フェーズ3

ステークホルダーと触れ合う機会を増やすため、エンゲージメント活動に体験的要素を取り入れました。2022年8月から9月にかけて行われたフェーズ3の活動では、芸術コミュニティの主要なステークホルダーやパートナー約300人が、「アーツプラン(The Arts Plan, TAP)から始めよう(It Begins with TAP)」と題された対話形式の音声ガイドウォーキングツアーを体験しました。

NACとアートクリエイティブ・コミュニティが協力してウォータールー・アート・ベルト沿いでの2時間のショーケースを開催し、シンガポールの文化芸術分野の未来についての展望を模索しました。視覚芸術、文学、舞台芸術などにまたがり、芸術作品やエピソードなどが披露されました。コンテンツは、芸術コミュニティ内やそれ以外の3Pセクター関係者を含む約1,000人の寄稿者からのフィードバックに基づいて作られました。「アーツプランから始めよう」では、シンガポールの芸術分野が今後5年間、いかにしてつながりのある社会を築き、特色ある都市をつくり、クリエイティブエコノミーを牽引していくことができるかを探りました。

パブリックエンゲージメント：フェーズ4

2022年後半から2023年前半にかけて、NACはザ・アーツプラン専用ウェブページを通じて、現在の計画案について一般の人々に調査、参加、意見交換を呼びかけました。

また、「グローイング・ホーム - アーツプランとあなたについてのショーケース (Growing Home: A showcase about The Arts Plan)」と題された体験型のイベントが、ザ・アーツハウス (The Arts House) (1月6日～15日)とワン・ブンゴル (One Punggol) (2月10日～12日)で開催され、100人近い芸術家に参加しました。この2回にわたるイベントには、約14,850人の一般市民が参加しました。また、通信情報省傘下の部署である「REACH」との提携により、若者や高齢者を対象としたリスニング・ポイントに約550人の一般市民が参加しました。

①約800人の関係者が参加した非公開のフォーカス・グループ・ディスカッションの様子。シンガポールで芸術を発展させるための意見、見解、新しいアイデアを交換しました。

②メッシュマインズ (Meshminds) 作成の拡張現実 (AR) フィルターを使って交流するゲストたち。RSCLSによるウォータールー・リンクのストリートアートの壁画に命を吹き込み、この特徴的な街のいたるところで芸術を体験しました。

クレジット：Colossal Pro

③「グローイング・ホーム：ザ・アーツプランとあなたについてのショーケース (Growing Home: A Showcase about The Arts Plan and You)」で展示品と触れ合うゲストたち。2023年2月にワン・ブンゴルで開催。

クレジット：Island Boys

P32

皆さまからのフィードバックを大切にします

本計画の作成には、一般市民の参加が不可欠でした。私たちは、計画の背後にある考え方をさらに豊かにするさまざまなアイデアやご意見をいただきました。フィードバックのなかには、以前の公開協議でしばしば浮上したアイデアと同じものもあれば、現在および将来の芸術の展望を形成するためのテクノロジーやイノベーションの重要性についてなど、より現代的な問題を扱った意見もありました。いただいた回答の一部をご紹介しますために、この冊子の随所に原文のまま掲載しています。

2023年1月にザ・アーツハウスで開催された「グローイング・ホーム：ザ・アーツプランとあなたについてのショーケース (Growing Home: A Showcase about The Arts Plan and You)」でSing Lit Cloudを体験する来場者。

クレジット：Island Boys

P33

皆さまの声

公共スペースや中心地にもっと芸術を
若手芸術家のための機会とトレーニングをもっと充実させる
国内の芸術家の海外市場を広げる
学校へのアウトリーチプログラムを増やす
芸術関係者の福祉や給与面に関する研究を
芸術のための新しいビジネスモデルの開発
健康やウェルビーイングを向上させる芸術プログラムを増やす
企業、中小企業、慈善団体とのパートナーシップを構築
芸術によって多様な人々を結びつけてほしい

P34

変革の原動力と推進力

2022年シンガポール国際芸術祭 (2022 Singapore International Festival of Arts) のオープニングアクトである『MEPAAN』は、シンガポール華楽団 (Singapore Chinese Orchestra) とツヤン・イニシアチブ (Tuyang Initiative) によって披露されました。パシル・パンジャン発電所という意外な場所が会場になりました。

クレジット：Arts House Limited

P36, P37

今後の芸術産業の主要な決定要因を特定

対話の中で、私たちは参加者に、今後15年から20年の間に私たちの文化芸術分野に影響を与える地域的・世界的な推進力について尋ね、また、芸術の役割と価値、および今後5年から10年の機会と課題についても議論しました。そのなかで、シンガポールの文化芸術の発展を形作る要因について、いくつかの主要なトレンドが特定されました。

クリエイティブエコノミーの成長

「クリエイティブエコノミー」の定義は統一されていないものの、国連貿易開発委員会 (United Nations Committee on Trade and Development)²は、人間の創造性と経済的価値を持つ技術や製品が交差したものをクリエイティブエコノミーとしています。これには、建築、デザイン、ファッション、映画、音楽、舞台芸術、テレビなどの業種が含まれており、これらの分野は今後も成長することが予想されます。実際、コンサルティング会社のデロイトは、2030年までにクリエイティブ・セクターが最大40%成長すると見えています。³

クリエイティブエコノミーにおけるエキサイティングな発展は、異花授粉のように、異なるクリエイティブ・セクター間で、あるメディアから別のメディアへと垣根なく横断するコンテンツを生み出します。例として、大小の画面の投影に適した地元で出版された本、映画のサウンドトラックに使用される音楽、製造デザインに取り入れられた絵画などがあります。芸術とそれに関連するライフスタイルやエンターテインメント業界とのコラボレーションが増え、シンガポールの芸術作品が国内外のより多くの観客に届くようになっていきます。業界を越えたアイデアと才能の流れは、クリエイティブエコノミーの全体に利益をもたらすことになるでしょう。

関連分野だけでなく、芸術は創造性に火をつけ、他の産業でもますます評価されるスキルセットを提供し、テクノロジー、ヘルスケア、環境などの領域で応用できる可能性を秘めています。さらに、テクノロジーがあれば、芸術が経済により大きく貢献することもできます。アート・バーゼルとUBS銀行の報告によると、2022年のビジュアル・アートのオンラインセラーズは総売上上の16%を占めています。これはディーラー、オークション、見本市をより多くの新規顧客にリーチさせるためには、オンラインによるアクセスが重要であることを示しています。⁴

²国際連合貿易開発会議 (United Nations Conference on Trade and Development) (2022年)。クリエイティブエコノミーの展望2022 (Creative Economy Outlook 2022)。

³デロイト (Deloitte) (2021年)。クリエイティブエコノミーの未来 (The Future of the Creative Economy)。

⁴マクアンドリュウ、クレア (McAndrew, Clare) (2023年)。アート・バーゼルおよびUBSアート・マーケット・レポート2023 (Art Basel and UBS Art Market Report 2023)。

10人中7人以上

芸術や文化は、勉強やビジネスにおいて創造的になるための刺激や助けになると回答

およそ10人中7人

芸術や文化がシンガポール経済に貢献すると回答

出典：2022年芸術に関する人口調査(2022 Population Survey on the Arts)

10人中7人以上

芸術や文化はシンガポールへの帰属意識を高めてくれると回答

10人中8人以上

芸術や文化は、異なる背景や文化を持つ人々に対する理解を深めてくれると回答

10人中7人以上

芸術と文化が異なる世代間の対話と理解を促進すると回答

10人中7人

芸術や文化は、シンガポール人のコミュニティの距離を縮めるのに役立つと回答

出典：2022年芸術に関する人口調査(2022 Population Survey on the Arts)

ますます複雑化する社会問題

シンガポールの社会的多様性は拡大し続けており、多文化を中心に進化する国民性を形成しています。多文化・多宗教国家としてのシンガポールの結束力は、開放的な経済および社会によって、ますますその実力を試されることになるでしょう。

私たちの社会が成熟していく中で、芸術は、人種主義、不平等、格差、気候変動、人生の終末期といったデリケートな問題を考える手段になることができます。芸術は、社会が困難な問題や感情を解放するための「圧力弁」のような役割を果たしており、メンタルヘルスやウェルビーイングの向上にも一役買っています。世界経済フォーラムが提唱しているように、芸術と文化は、固定観念を捨て、声なき人々に発信力を与えることで、社会を変える力となることでしょ⁵。

芸術は、人生のさまざまな段階にある人々のひとりひとりに語りかけ、さまざまな年代の人々の希望や不安を表現します。芸術が人の心や精神に関わっていくことで、社会問題についての深い対話を促し、これらの問題の複雑さやニュアンスについての理解を深めることができます。

⁵世界経済フォーラム(World Economic Forum)(2020年)。芸術と文化はいかにして社会変革の力となりうるか(How arts and culture can serve as a force for social change)。

P38, P39

10人中7人以上

芸術と文化はシンガポール人が誇れるものであると回答

10人中7人以上

芸術と文化が生活の質を向上させると回答

出典：2022年芸術に関する人口調査(2022 Population Survey on the Arts)

高まる居住性の重視

ユネスコと世界銀行によると、芸術と文化は住みやすい持続可能な都市にとって不可欠な構成要素であり、活気ある創造的な環境は、雇用の増加と多様化、都市への移住と企業の誘致、ハイテク産業の雇用と成長の増加、包括性の促進をもたらすとされています。⁶

文化芸術分野がシンガポールの生活の質を向上させ、都市環境にダイナミズムと活気を生み、刺激的で多様なレクリエーションの選択肢を与えることでこの都市の住みやすさに貢献できるよう、さらに発展させていきたいと考えています。

活気ある文化芸術のエコロジーは、シンガポールの国際競争力に貢献し、他の主要都市に対する国際的地位を高めます。文化芸術分野が盛んで特色ある都市であるということが、シンガポールをより魅力的な故郷に、より魅力的な目的地にしてくれます。

都市の住みやすさは、その都市の持続可能性とレジリエンス、つまり将来の世代のためにどのように設計されているか、また数々の課題からどれだけ早く回復できるかによっても測定できます。これらの課題は、異常気象やその他の災害リスクが高まる気候変動の時代において、より関連性の高い問題となっています。

芸術は、こうした課題を探索するための重要なプラットフォームです。例えば、自然環境との相互関係や、よりクリーンなエネルギー源への転換の必要性など、環境に配慮した問題を追求する芸術家の数も増えています。文化芸術分野においても持続可能な発展が求められ、廃棄物を最小限に抑え、資源を効率的に利用する必要性に対する認識が高まっています。

Participate in Designがプロデュースし、ペーパーアーティスト兼イラストレーターのシェリル・テオ(Cheryl Teo)が指揮を執った。本イベントでは、テロック・ブランガー地区の住民たちが集まり、そこでの生活について語りあいました。これをヒントに、3ヶ月にわたってペーパークラフトを使って、自分たちの家のミニチュア・ユニット、好きな食べ物、コミュニティスペースを製作しました。これらの作品はアート・インスタレーションにまとめられ、テロック・ブランガー・マーケットとフード・センターに展示されました。

クレジット：Participate in Design

⁶ユネスコ&世界銀行(UNESCO & World Bank)(2021年)。都市、文化、創造性：持続可能な都市開発と包括的成長のための文化と創造性の活用(Cities, culture, creativity: Leveraging culture and creativity for sustainable urban development and inclusive growth)

P40, P41

デジタル・アートの消費と創造を加速

テクノロジーは観客の芸術体験のあり方を一変させました。COVID-19の流行による世界的な規制やロックダウンの際には、特にそれが顕著に現れました。そしてCOVID-19の流行後は、バーチャルと物理的な世界の両方で芸術を楽しむことが新しい常識となりました。例えば会場でのコンサートやライブ・ストリーミングでのパフォーマンス、実店舗でのギャラリー・ショーやバーチャル展覧会など、自宅にいながら芸術を鑑賞したり、モバイル機器を通じて外出先で鑑賞したりと、私たちはかつてないほど幅広い選択肢を持つようになりました。

テクノロジーの進歩により、人気のあるオンライン・プラットフォーム（YouTube、TikTok、ポッドキャスト）を通じて、芸術をより楽しむことができるようになりました。また、テクノロジーは、対面で行う芸術体験も向上させています。例えば、センサー、拡張現実（AR）、QRコードなどで観客とのエンゲージメントを深め、新しく創造的な方法で芸術と対話することができます。

視聴者への浸透が進んだ結果、デジタルコンテンツによる収入はここ数年で着実に増加しています。国際レコード産業連盟（International Federation of the Phonographic Industry）の2023年報告書によると、音楽など一部の業界では、ストリーミング・サービスは今や世界的に優勢なフォーマットとなっており、2022年にはその売上は世界のレコード音楽収入の67%を占めています。⁷このように、テクノロジーは芸術の新たな扉を開く、重要な原動力で、注目すべき分野です。

一方、「第4次産業革命」あるいは「4IR」とも呼ばれる「インダストリー4.0」は、クリエイティブエコノミーに新たな機会をもたらしています。4.0テクノロジーの例としては、3次元（3D）プリンティング、人工知能、ARやバーチャルリアリティ（VR）、ブロックチェーン、クラウドコンピューティング、ドローン、モノのインターネット（IoT）などが挙げられます。これらのテクノロジーは、クリエイティブな商品やサービスを生産、流通、消費するための新たな道を切り開き、より多くのグローバルな消費者にリーチする可能性を秘めています。⁸

テクノロジーは芸術家が作品を創作・発表するためのツールやメディアの選択肢を広げ、芸術が新たな観客にリーチするためのプラットフォームをひらくことで、芸術的創造に計り知れない機会をもたらします。また、デジタル技術の進歩は、一例として観客を理解しそこにリーチする上で、芸術コミュニティがデータを賢く活用する機会も新たに生み出します。

そして芸術とテクノロジーとの融合は、企業パートナーとの新たな関わり方も生み出しています。より多くの芸術家がテクノロジー企業と協力して、実験的な試みや新しい表現を開発し、芸術制作と発表の常識を変える革新的な取り組みを行っています。

⁷国際レコード産業連盟（International Federation of the Phonographic Industry）（2023年）。

⁸マッキンゼー・アンド・カンパニー（McKinsey & Company）（2022年）。インダストリー4.0、第4次産業革命、4IRとは何か？（What are Industry 4.0, the Fourth Industrial Revolution, and 4IR?）

2020年から2021年にかけて、シンガポールのデジタル・アートの観客において

10人中7人

芸術関連のウェブサイトやアプリを訪問したことがあると回答

10人中8人

デジタルを通じて芸術に関わっている

10人中8人

COVID-19の流行後もオンラインでの芸術鑑賞を継続すると回答

出典：パンデミック後のノーマルにおける芸術-注目すべき5つのマクロトレンド（2021年）およびCOVID-19芸術消費調査（2020年～2021年）（Arts in a Post-pandemic Normal - 5 Macro Trends to Watch

①AGAMシアターラボ（AGAM Theatre Lab）によるオリジナル作品「Duryodhanan」は、テクノロジーを演劇と融合させ、現地語（タミル語）の古典を拡張現実とバーチャルリアリティのパフォーマンスとして上演する、同カンパニー初の試みです。

クレジット：AGAM Theatre Lab

②シネリーヘン（Sineelyeheng）の人形劇団員たちが、初のデジタル公演のひとつであるヤン・リンポー（Yang Lingpo）の「追悼論（The Argument on Memorial）」の収録を行っている様子。COVID-19の流行後、劇団員たちはより多くの観客にリーチするために新しい方法を模索してきました。
クレジット：Sineelyeheng Teochew Troupe and Traditional Arts Centre (Singapore)

P42

今後5年間にむけて

エスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ（Esplanade - Theatres on the Bay）とシンガポール華楽団（Singapore Chinese Orchestra）は、2022年10月に「夜明け（Daybreak）」と題した新作を発表しました。
クレジット：Aloysius Lim (Photo Courtesy of Esplanade - Theatres on the Bay)

P44

私たちは、芸術家たちが新たなレベルの芸術的卓越性をもたらし、経済と社会の発展に大きく貢献する未来を構想しています。

P45

「つながりのある社会」の上に成り立つ特色ある都市とクリエイティブエコノミーとしてのシンガポールのビジョン

持続可能な芸術エコシステムを構築する上で、中心となるのは「芸術的卓越性」と「熱心な観客たち」

つながりのある社会

芸術と文化を共有するための拠点

+アーツ・フォー・ライフ：すべての人があらゆるライフステージにおいて質の高い芸術を体験し、芸術によって人生を豊かにすることができる

+アーツ・フォー・コミュニティ：芸術体験の共有を通じてコミュニティの絆が強化される

+アーツ・トゥギャザー：3Pセクターが芸術の価値を認識し、共に芸術に貢献する

特色ある都市

芸術に触発される都市、芸術のための都市

+文化的な都市：芸術を通じて、独自のアイデンティティと共有するアイデンティティの両方を受け入れ、かつ紹介し、帰属意識を育む場所

+象徴的な都市：創造性と革新性によって、空間、建造物、街並みを変容し、再構築され、新たに生まれ変わる場所

+インスピレーションを与える都市：誰にとっても魅力的な故郷であり、芸術と文化を通して公共空間と私的空間が活気づくような場所

クリエイティブエコノミー

芸術的才能、卓越性、革新性がその活力

+繁栄する文化芸術分野：クリエイティブエコノミーにおいて、関連産業とシームレスに統合され、雇用機会を創出する

+優れた人材：芸術活動家が評価され、より広範なクリエイティブエコノミーへの積極的な貢献が認識される

+世界的にも名高い文化芸術分野：世界の芸術業界から賞賛され、国際的な観客から渴望される品質と革新力を備え、芸術が3Pセクターとのコミュニティを構築できる場所

パートナーシップ、テクノロジーとイノベーション、データとインサイトによって実現可能に

P46

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」は、シンガポールを特色ある都市として、また、つながりのある社会を基盤とするクリエイティブエコノミーを持つ都市として構築することを目指しています。私たちは、芸術家が新たなレベルの芸術的卓越性をもたらし、経済と社会の発展に大きく貢献する未来を構想しており、国内外の観客がシンガポールの芸術と文化に深く関わることを目指しています。

「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」では、3つの戦略の柱に焦点を当てています。

+ つながりのある社会

シンガポールのアイデンティティが、私たちの共有する芸術と文化に支えられている社会

+ 特色ある都市

芸術によって空間が活気づき、シンガポールを愛すべき故郷・魅力的な目的地とすることに貢献している

+ クリエイティブエコノミー

文化芸術分野が、芸術的才能、卓越性、革新性、そしてより大きなクリエイティブ産業との緊密な協力関係によって活性化されている

P47

芸術的卓越性

過去5年間、シンガポールのアーティストたちは力強く成長してきました。彼らはレジリエンスと革新性を発揮して、2020年から2021年にかけてのCOVID-19の流行の難局を乗り切りました。この時代の危機から抜け出しつつある状況の中で、ダイナミックに成熟しつつある私たちの文化芸術分野、芸術家、文化芸術団体は、新しい作品を発表し、国内外で芸術の旅を再開しています。

今期間の計画では、芸術の多様なキャリアパスへの機会を広げながら、卓越した芸術を引き続き支援していきます。より多くのシンガポール人の芸術家が芸術活動を極め、新たな観客を刺激し、国際的にも国内的にも評価されるようになるでしょう。私たちは、新しいパートナーや既存のパートナーと協力し、芸術家たちが持続可能なキャリアを構築する機会を増やしていきます。また、新進アーティストには、スキルの向上やプロフェッショナルなネットワークの構築のための支援を行います。

*SPACEは2022年、ダンス・レジデンシー・プログラムの一環として、巡回公演「瞬間的な身体(Momentary Bodies)」を発表しました。

クレジット:Kuang Jingkai

P48, P49

観客との関わり

持続可能な芸術エコシステムの成功は、芸術家やその作品の質はもちろん、国内外の観客とのつながりや成長に寄与するかどうかによっても決まります。

この5年間で、観客はこれまでとは全く違った新しい芸術体験を楽しむようになりました。COVID-19の流行がもたらした新たな課題により、多くの観客がデジタル・プラットフォームから国内外の芸術プログラムにアクセスするようになりました。人々は、複合領域の芸術形態における新たな可能性を受け入れ、新たな方法で芸術に関与しています。

今後5年間で、私たちは国内外の観客に物理・デジタル両方のプラットフォームを通じて呼びかけ、観客を増やしていきたいと考えます。私たちの使命は、芸術を人々の人生の大切な一部にすることです。集団的な芸術体験や思い出を通じて、人々は互いにつながりや帰属意識を感じることができるでしょう。

社会的背景や経済的背景にかかわらず、誰もが質の高い芸術に触れることができるよう、私たちは企業やコミュニティのパートナー、そして公共セクターと協力し、芸術へのアクセスを広げ、深めていきます。

① 毎年恒例の「グッドマン・オープン・ハウス2023(Goodman Open House 2023)」でのアプサラス・アーツ(Apsaras Arts)によるリハーサル風景。音楽、ダンス、ビジュアル・アートなど、さまざまな芸術形式のプログラムが来場者を楽しませました。

クレジット:Arts House Limited

②「S.E.A. Focus」の来場者たち。「シンガポール・アート・ウィーク2023」の一環として、STPI - クリエイティブ・ワークショップ・アンド・ギャラリー(STPI - Creative Workshop and Gallery)が開催した東南アジアの現代アートに特化したショーケースとキュレーション・プラットフォームです。

③SNYCQ20:Reunionに出席したエリック・チュア(Eric Chua)文化コミュニティ青年省および社会家族開発省上級政務官(前列中央)。「カルチュラル・エクストラバガンザ2023(Cultural Extravaganza 2023)」の一環として、シンガポール・ナショナル・ユース・チャイニーズ・オーケストラ(Singapore National Youth Chinese Orchestra)とシンガポール・チャイニーズ・カルチャー・センター(Singapore Chinese Cultural Centre)が共催。

クレジット:Singapore Chinese Orchestra

P51

持続可能なエコシステム

優れた芸術のエコシステムは、強く多様な人々、組織、機関のネットワークで構成されています。健全なエコシステムは、芸術家、文化芸術団体、芸術評議会、パトロン、観客、そして文化芸術分野以外の人々の貢献を結集して、シンガポールへの誇りと帰属意識を育んでいます。

私たちNACだけでは、文化芸術分野の成長に必要な専門知識や能力をすべて提供することはできません。それゆえ、私たちは多様なパートナーやセクターと協力し、芸術と文化を次の卓越したレベルに引き上げ、日常生活にさらに根付かせ、芸術の価値と影響が社会全体で拡大し続けるよう取り組んで参ります。

2022年、シンガポール作家祭(Singapore Writers Festival)が久しぶりに会場形式で復活し、読者、作家、読書マニアたちでにぎわいました。

クレジット:Arts House Limited

P52

私たちの戦略の柱

「怪物のような面白さ! 2023(Monstrous Fun! 2023)」を楽しむ子供たち(ザ・アーツハウスにて)。子供連れの家族向けに数々の文学的プログラムが提供されました。

クレジット:Arts House Limited

P54

芸術は私たちみんなのものです。私たちの目標は、シンガポールにいるすべての人が、クリエイター、参加者、観客として、芸術にアクセスできるようにすることです。

P55

つながりのある社会

芸術が3Pコミュニティを結びつける場所

芸術は私たちみんなのものです。自分の個人的経験が芸術に表現、反映されるのを見ることは、個人にとって活力になります。私たちの目標は、すべてのシンガポール人が、その生い立ちや境遇に関係なく、クリエイター、参加者、観客として、芸術にアクセスできるようにすることです。

シンガポールの多文化・多宗教社会は私たちの国の強みです。芸術の力により、人々がお互いの異なる視点を理解することによって、多様なコミュニティを結びつけています。違いや共通点を大切にすることを通じて、芸術はシンガポール人に文化遺産を共有しているという実感を与え、帰属意識を促進してくれます。

主要な行動の優先事項は以下の通り：

+ 生涯を通じた芸術体験

あらゆる年齢層において、教育、レジャー、ウェルビーイングといった人生の主要分野に芸術体験を組み込む。

+ 共有体験を通じたコミュニティの強化

戦略的パートナーシップとプログラムを通じて観客と芸術の接点を拡大し、多様なコミュニティ内外の強い絆を育む。

+ サポート拡大のためのアドボカシーの推進

3Pセクター全体で芸術の社会的影響に対する理解を促進し、多様化し拡大するパトロンからの芸術への貢献を奨励する。

P56

変化のきっかけ

平等なアクセスを確保

シンガポールでは、誰もが平等に芸術にアクセスができるというわけではありません。そのことで芸術や文化に対する誤解も生じています。芸術活動への参入障壁を低くすることで、シンガポールの人々は芸術が持つ変革の力によりアクセスできるようになり、またシンガポールの活気ある文化に参加、貢献できるようになります。

芸術の社会的価値

芸術は、国民的アイデンティティを強め、帰属意識を育み、社会的結束を促進し、地域社会の絆を発展させることを通じて、国づくりに貢献しています。芸術は異なる文化やサブ・アイデンティティがシンガポール国内で調和しながら共存することが可能であり、今後もそうあり続けるということを、目まぐるしく進化するこの社会全体に強く思い起こさせてくれます。なぜなら、この多様性こそが私たちの強みだからです。

シンガポール・チャイニーズ・カルチャー・センター (Singapore Chinese Cultural Centre) 主催、アーティストのウォン・スイ・イェン (Wong Swee Yean) 指導のもと、シニア参加型ワークショップ「物語を語り、思い出を分かち合おう (Telling Your Stories, Sharing Your Memories in 2022)」が#SilverArtsの一環として開催されました。アングリカン・シニアセンター (Anglican Senior Centre) (ハーブロック、タンピネス&イーション) にて。

クレジット：Singapore Chinese Cultural Centre

P58, P59

どのように目標に到達すべきか

重要な優先事項

生涯を通じた芸術体験

私たちは、若い頃から生涯にわたって芸術を体験できるような機会をもたらしたいと考えています。そのひとつの方法は、教育省 (Ministry of Education, MOE) などの主要な教育機関とパートナーシップを構築することで、生徒の芸術学習経験を高め、シンガポールの多様な文化芸術に触れる機会を増やすことです。例えば、NACとMOEは文化芸術団体と協力し、プロが使用する芸術施設において、文化芸術団体や芸術家による新たな音楽教育に取り組んでいます。また、社会的・情緒的な豊かさを育み、「21世紀型コンピテンシー (21st Century Competencies)」の取り組みを発展させるために、芸術を通じた学習により重点を置く予定です。

社会にはさまざまな層がありますが、それぞれが好む芸術へのアクセス方法が異なっていることを認識しています。例えば、若者がオンラインで芸術鑑賞を楽しむ一方、高齢者は物理的な会場を訪れ、身近な場所で芸術を体験する方が簡単だと感じることがあります。これからも文化機関と連携し、さまざまな観客層に応じたアウトリーチ活動を行ってまいります。

あらゆるライフステージで誰もが芸術にアクセスできるようにするため、私たちは芸術が変化をもたらすことができる分野について、データに基づいたインサイトを得るための調査を実施したいと考えています。例えば、コミュニティのパートナーと協力して、より健康的な生活習慣を促進するために芸術を活用するなど、シンガポールの人々の健康増進に向けた動きの不可欠な一部を担うこともできます。プログラムの内容については、行動科学や医療保健といった分野の専門知識を活用したいと考えています。

「学校でのアウトリーチプログラムを増やしたり、生徒たちが校外でアートを楽しむ機会を増やしたりすることもできるでしょう。これは、芸術や文化に関わっていない学生にとっても有益です」

ー カルビン・ゴ (Calvin Goh)、29歳

教育者、合唱歌手

前期中等教育課程の生徒たちがプロの生演奏を聞き、音楽学習に取り組んでいる様子。

クレジット：Singapore Chinese Orchestra

P60, P61

共有体験を通じたコミュニティの強化

すべての芸術体験は、人々がつながりを持つための機会となります。生活のあらゆる場面へ芸術を浸透させ、人々が経験や視点を共有し、有意義な交流を深められるような機会を増やしたいと考えています。例えば、公園、商店街、生活空間などの公共の場所での芸術活動を、行政や民間セクターとのパートナーシップを通じ、増やしていきたいと考えています。また、住宅街の共有スペースにある既存あるいは新しいデジタル・スペースにおいて、より多くの地域の芸術を紹介することを計画しています。

地域社会に貢献する参加型芸術形態に関連するスキルと能力を開発することを目標に、芸術家への支援をさらに深めたいと思います。社会的マインドを持った芸術家は、各組織と協力して、人々がアクセスしやすい新しい芸術のプラットフォームを作ることができるでしょう。具体例のひとつに、ART:DISシンガポール(ART:DIS Singapore)と協力して、芸術へのアクセスにおけるベストプラクティスを学び、考察する場として「芸術と障害フォーラム (Arts & Disability Forum, ADF)」を立ち上げたことが挙げられます。このプラットフォームは、国内外の芸術関係者や専門家、シンガポールの障害者支援機関のコラボレーションも促進しています。交流と情報交換を促進することで、ADFは芸術と障害に関する多様な経験についてのインサイトを示しています。

「社会全体に芸術への参加を奨励することは、『芸術とは一部の層だけのものだ』という考えを払拭するのに役立つでしょう。私は、多様性のある芸術形態、特にさまざまな民族の芸術が多くの人目に触れられることを望んでいます。そうすることで、私たちの身近にある芸術への理解が深まり、この街がさらに活気づくことでしょう。」
— レシュマ・ジェータナンド(Reshma Jethanand)、45歳
親

ティモシー・リー(Timothy Lee)、イヴニ・ヤアクブ(Ivni Yaakub)、チョウ・ジュン・ウェイ(Choo Jun Wei)による『王子様と出会った日(Day I Met The Prince)』の公演。アートワーク:アメリア・タン(Amelia Tan)。
「芸術と障害フォーラム2023(Arts & Disability Forum 2023)」にて。
クレジット:ART:DIS Singapore

P63

サポート拡大のためのアドボカシーの推進

芸術を支える仕事は、私たち全員が関与するものです。より多くの官民のパートナーに文化芸術を支持していただくことで、私たちのセクターがもたらす恩恵は、社会のより多くの人々に届くようになります。今後数年間は、企業、公的機関、ボランティア団体など、より多くのパートナーを開拓し、提携していく予定です。こうした支援者たちのご協力をいただきながら、私たちは有機的な支援の高まりを生み出すための地道な取り組みを進めていきたいと思っています。私たちは共に、芸術の持つ価値と芸術が社会的課題を解決する能力について、さらに提唱していきたいと考えています。

「もっと多くの芸術家が、コンサルタントとして、あるいは芸術をベースとしたプロジェクトのアイデアを引き出すために、芸術以外のコミュニティや社会サービス組織、慈善団体と関わることを願っています」
— バーニス・リー(Bernice Lee)、36歳
アーティスト、舞踊家

スーパーヒーロー・ミー(Superhero Me)は、NACが主導し、民間からの寄付によって支えられている「サステイン・ザ・アーツ(Sustain the Arts, stART) ファンド」によって運営されている芸術団体のひとつです。
クレジット:Superhero Me

P64

私たちは、人々が生活し、働き、遊ぶ空間や場所に芸術を統合することを目指しています。

P65

特色ある都市

文化的で、象徴的で、感動的な場所

芸術インフラとは、芸術が体験され創造される空間、つまりコンサートホールやギャラリー、劇場などの芸術施設や、スタジオやワークショップといった芸術活動スペースなどのことです。こういったスペースは、コミュニティとのエンゲージメントの中心地でもあり、内在するテナントは、カンボン・グラム地区やシビック地区のように、近隣の場所づくりにも貢献しています。

芸術からの刺激を受ける活気ある空間は、シンガポールを特色ある都市へと変貌させることでしょう。私たちの芸術インフラは、人生を変えるような芸術との出会いをもたらすためのダイナミックかつエキサイティングな場であり続け、また、さまざまな発展段階にある文化芸術団体や芸術家を集結させ、育成する場でもあります。

主要な行動の優先事項は以下の通り。

+ 空間の多様化と開放

手ごろな価格の公共スペースやプライベート・スペースへのアクセスを増やし、シンガポール中の人々が生活し、働き、遊ぶ、より多くのスペースに芸術を統合する。

+ 芸術の場および地域の活性化

公共および民間セクターと協力し、革新的でユニークな芸術の場や地域を、芸術家や地元および世界の観客のために共同創造する。

+ あらゆる場所にアートを浸透

実世界、拡張現実、メタバースにおいて、芸術で溢れた没入感のある創造的な都市を創造する。

ジェローム・ウン(Jerome Ng)とゼッド・ハーン(Zed Haan)による「絆(BOND)」は、ブンゴルからジュロンまでのC2Cトレイルに設置された14のパブリック・アートのひとつです。このインスタレーションは、パブリック・アート・トラスト(Public Art Trust)が2021年に委託したパブリック・アート・ショーケース「リライト:目の前の世界(Rewritten: The World Ahead of Us)」の一部です。
クレジット:Finbarr Fallon

P66

変化のきっかけ

需要と供給に対応する持続可能なソリューション

より多くの芸術関係者やその活動のシンガポールの活気あるシーンへの貢献により、シンガポールの芸術事情は、目覚ましい発展を遂げています。NACの「アートのためのフレームワーク(Framework for Arts Spaces)」は、インキュベーション・スキーム、文化芸術団体や芸術家の育成スキーム、アートセンター・スキームという3つのスキームで構成されており、それぞれ独自の育成ニーズを持つ文化芸術団体や芸術家を幅広く支援しています。

これからも芸術の創造と発表のために多様なスペースを開放して、芸術家と観客をサポートしたいと思います。私たちは、人々が生活し、働き、遊ぶ空間や場所に芸術を統合することを目指して

多様なニーズをサポートする最適化

1985年以来、芸術や文化的目的に使用されるスペースは5倍以上に拡大し、その広さは約18,000平方メートルから88,000平方メートルにも成長しています。マルチテナントのアートセンター、多目的スタジオ、プロジェクトスタジオ、ブラックボックスといった共有施設を持つスペースなどが挙げられます。具体的には、グッドマン・アーツ・センター (Goodman Arts Centre)、アリワル・アーツ・センター (Aliwal Arts Centre)、スタンフォード・アーツ・センター (Stamford Arts Centre)、最近改装された42ウォータールー・ストリート (42 Waterloo Street) などです。シンガポールの文化芸術分野が進化する中で、芸術活動スペースをより広いコミュニティに利益をもたらすものにすることは極めて重要です。このような配慮は、公共部門や民間部門と協力する努力の土台となり、NACが所有するスペース以外でも、多くの芸術家が芸術制作や能力開発、参加型体験を行う際に多くのスペースを利用できるようになります。

アデリーヌ・クエ (Adeline Kueh) とヘイズル・リム＝シェレゲル (Hazel Lim-Schelegel) による「noon (at play)」は、シンガポールの3つの公園 (アルメニアン・ストリート45 (45 Armenian Street)、カンボン・ジャワ (Kampong Java)、タンジョンパガー・ディストリパーク (Tanjong Pagar Distripark)) に設置されたパブリック・アートのひとつ。これらは、パブリック・アート・トラストが発表した5つのパブリック・アート・インスタレーション・シリーズ『As You Were』の一環である委託作品。

P68, P69

どのように目標に到達すべきか

重要な優先事項

空間の多様化と開拓

芸術活動スペースは芸術のエコシステムにおいて極めて重要です。芸術の制作や発表、芸術家の育成、観客の啓発に必要不可欠だからです。私たちは他の政府機関と緊密に協力し、新たな観客が芸術を鑑賞し、出会うことができる新たな場を創造したいと思います。例えば、シンガポール土地公社管轄のギルマン・バラックス (Gillman Barracks)、NParks管轄の公共公園、陸上交通局管轄のMRT駅などが挙げられます。

芸術家の活動は多様で分野横断的であり、様々なニーズが生じます。特に、インキュベーション、実験、プレゼンテーションのためのスペースをもっと増やすことが必要です。アルメニアン・ストリート45、カンボン・ジャワ、タンジョンパガー・ディストリパークなどのスペースは、文化芸術団体や芸術家のために多様なスペースを増やそうと努力しています。

今後、より多くの利用者や用途に対応できるよう、既存のスペースを最適化したり、返還したりする計画もあります。助成金が多いスペースを割り当てることによって、既存の芸術活動を引き続き支援する一方で、新進の文化芸術団体や芸術家にも機会を与えることができます。公平なアクセスを確保するため、私たちは今後も参加資格と審査基準を前もって示し、芸術活動スペースの一般公募を行います。また、既存のアート・テナントが他のプライベート・スペースやパブリックスペースを直接賃貸し、契約する際のサポート業務も致します。

「芸術を発表するための新たな場が開拓され、再利用され、文化芸術分野の人々が支援されるのはとても嬉しい事です」
- ジョン・ヤップ (John Yap)、28歳
芸術愛好家

①「リアリティ・イン・コンストラクション (Reality in Construction)」は、「アリウォール・フェスティバル2022 (AliWALL Festival 2022)」の一環として発表された参加型屋外壁画。RSCLSのアーバン・コレクティブからSpazとTraseOne、アーティストのハス・ジェイ (Has.J)、クリスタル・メルソン (Kristal Melson)、スラクサトゥ (Slacsatu) が参加。
クレジット: Arts House Limited

②ヘーグ・ヤン (Haegue Yang) の「ハイブリッド媒介物 - 爛漫のエレクトロフォラス・デュオ (ソニック媒介物 - 毛深い炭素からなる住人とランディング媒介物 - 毛のない無色の住人) (The Hybrid Intermediates - Flourishing Electrophorus Duo (The Sonic Intermediate - Hairy Carbonous Dweller and The Rending Intermediate - Furless Uncolored Dweller))」のデモンストレーション。第7回シンガポール・ビエンナーレの一環としてタンジョンパガー・ディストリパークにて開催。
クレジット: Singapore Art Museum

P71

芸術の場および地域の活性化

プレイスメイキング (placemaking) が成功した地区は、特徴的で活気のある場所になります。このような取り組みとして、シンガポールの空間を盛り上げ、活気づけるバスキング (busking acts) のイベントなどが挙げられます。プレイスメイキングには、複数の関係者との共同作業が必要で、都市計画、文化政策、コミュニティ・エンゲージメントと統合しなければなりません。プレイスメイキングを成功させるため、NACはショッピングモールや事業主など、既存および新規ステークホルダーとの関係を開拓し、より多くのパートナーの参加を促してきました。

私たちは、芸術活動スペース、パブリック・アート作品、展示会を戦略的に活用することによって、近隣地域を活性化し、その地域独自のアイデンティティ確立に貢献したいと考えています。こういった取り組みを通じて、芸術家に作品を発表する機会を提供し、さまざまな環境と関わる有意義でインパクトのある方法を探索してもらいたいと思います。

私たちは都市再開発局 (Urban Redevelopment Authority, URA) や住宅開発局 (Housing Development Board, HDB) と協力し、「ライブリー・プレイス・プログラム (Lively Places Programme)」を通じて、公共スペースの活性化を図ります。このプログラムでは、共有スペースを活性化する芸術プロジェクトや、人々の絆を深めるような活動を企画しているコミュニティを支援します。

また、芸術家がツールや手段、ベストプラクティスを入手して、持続可能なコミュニティ・プロジェクトを継続するために支援したいと思います。例えば、社会的インパクトを与えるプログラムをデザインする方法についての講演会を開催し、初めてコミュニティで活動する芸術家を育成することもできます。経験豊富な芸術家のメンターが、これらの助成金申請者とペアを組み、助言や指導を行うこともできます。

より質の高い芸術作品を公共スペースなどに展示することで、日常生活に芸術を根付かせることができます。まず、2018年に策定された「アートのためのパブリックスペース (Public Spaces for Art)」スキームを刷新し、公共機関や民間機関でアートを紹介してくれるパートナーを増やします。次に予定されているのは、包括的な「パブリック・アート・マスタープラン (Public Art Masterplan)」で、今後数年間のパブリック・アートの展望と戦略を明確にします。最後に、複数の公的機関によるパブリック・アート委嘱のプロセスを合理化・標準化し、委嘱の枠組みが政府全体で一貫したものとなるように努力します。

「地元の芸術家の作品をいつでもどこでも目にすることができたら嬉しいですね。

地元の芸術によって会話が花が咲くだけでなく、街全体が盛り上がることでしょ

- ヌル・ナジラ・ビンテ・モハメッド・ニザム(Nur Nadzirah Binte Mohamed Nizam)、23歳

ランドスケープアーキテクチャー学科学生

「ライブリー・プレイス基金(Lively Places Fund)」を活用し、ユー・リアン・パーク(Yew Lian Park)地区の住民と芸術家のムハンマド・イズディ(Muhammad Izdi)が共有スペースに芸術を施しました。地域社会からの物語にインスパイアされた芸術作品を通じて、一般市民はユーリアンパークの歴史と遺産を讀めます。

クレジット:Urban Redevelopment Authority

P72

あらゆる場所に芸術を浸透

私たちは、バーチャルな領域での可能性をさらに活用して、芸術のための特色ある都市としてのシンガポールの知名度を高めていきたいと考えています。これにより、革新的な芸術体験を生み出し、新たな観客とつながり、新たな収入源を生み出す機会が生まれると信じています。

インターネットの次の進化系と考えられているメタバースは、物理的な体験とデジタルな体験の両方を統合します。物理的な芸術体験を没入感のあるバーチャルな世界に変換することで、新しい観客参加のスタイルを生み出すことができます。NACは、文化機関、文化芸術団体、テクノロジー・パートナー、政府機関からなるワーキンググループを結成し、メタバースにおけるエキサイティングで実行可能なプロジェクトのプロトタイプを開発しています。

アイデアの一例としては、シビック地区と同地域の主要な文化施設のデジタルツインや、アートギャラリーや芸術活動スペースといったインフラのデジタル化を進めることなどが挙げられます。メタバースは、コンサート、フェスティバル、ピエンナーレなど、バーチャルな領域でのオルタナティブなイベント体験を観客に提供することができます。また、レジデンスやラボスペースなど、実験的取り組みや国際的なコラボレーションを生み出す専用スペースを芸術家に提供することもできるでしょう。

プレイスメイキングは共同作業です。今後は、都市計画家や建築家など、他のステークホルダーとともに調査を行い、シンガポールを芸術と文化で溢れる場に変えるための最善の方法を模索します。プレイスメイキングの可能性について、次のような問題について調査を進める予定です:世界に名だたる建築物を擁する特色ある都市づくりにおいて、芸術が貢献し、人々の帰属意識も定着させるにはどうすればいいのか?芸術はどのように緑地や建物のデザインを向上させるか?私たちの芸術活動スペースは、どうすればもっと環境に配慮した持続可能なものになるのだろうか?

「NFTやメタバースといった新しいメディア技術を活用する方法についての提案も、アート・マスタープランに含めることができます」

- グナセガラ・シニア(Gunasegaran Sinniah)、59歳

ニューメディア(AR/VR)トレーナー

「私たちは、シンガポールを東南アジア、ひいてはアジア太平洋地域の文化芸術のハブに変えるために、さらなる可能性を模索します」

- フレディ・チャンドラ(Fredy Chandra)、36歳

アートギャラリー・マネージャー

アリシア・シス(Atelier Sisu)によるインスタレーション「Ephemeral」が、SAWの一環としてナショナルギャラリーシンガポールが企画した「ライト・トゥ・ナイト2023:今ここに(Light to Night 2023: Here and Now)」。

没入型の光と音の彫刻であるこの作品は、泡の幽玄さを強調し、私たちの生来の遊び心に訴えかけると同時に、儚い空間としての世界への思索を呼び起こす。

P74

私たちは、芸術が経済的にも繁栄し、芸術家たちに実現可能なキャリアを提供することを望んでいます。

P75

クリエイティブエコノミー

競争力を高める

有意義な体験という形で公共の価値を生み出すだけでなく、芸術家の創造的な才能は、具体的かつ測定可能な成果をもたらすものです。つまり収益を生み出し、雇用を創出します。私たちは、芸術が経済的にも繁栄し、芸術家たちに実現可能なキャリアを提供することを望んでいます。そのために、芸術家のプロ化を支援し、スキルの向上と幅の拡大を図っていきます。最終的には、シンガポール人の芸術家が世界の舞台で輝けるようサポートを行います。

主要な行動の優先事項は以下の通り。

+ 新たなビジネスモデルを築く

芸術と関係業界の認知度と可能性を高め、雇用機会を増やす。

+ 芸術的卓越性の育成

芸術における持続可能なキャリアに必要な能力と開発経路を構築する。

+ 国際化の機会の拡大

グローバルにつながる文化芸術分野を発展させ、シンガポールがクリエイティブな中心地であるという評価を確立し、地元の芸術に対する国際的な需要と市場を拡大する。

ベルニナ(BERNINA)社とのコラボレーションにより、独立系玩具作家であるダニエル・ユー(Daniel Yu)による限定フィギュア「シャイニング・ウィザード(Shining Wizard)」が、「シンガポール・アート・ウィーク2022(Singapore Art Week 2022)」のコレクター・ベースにて初披露されました。

P76

変化のきっかけ

芸術キャリアの持続可能性

COVID-19が流行した2019年、シンガポールの文化芸術イベントへの入場者数は1,560万人と過去最高を記録し、2018年の1,360万人を上回っていました。⁹

COVID-19の流行は観客動員や芸術への参加率に影響を及ぼしましたが、芸術コミュニティは、デジタル・プレゼンテーション、マーチャンダイジング、新たなオーディエンスの開拓など、新たな可能性を追求し、新たな戦略を試みました。私たちは、こうした利益の上に、文化芸術分野の持続可能性を向上させる多様化への努力を続ける必要があります。

芸術家のスキルの妥当性

芸術家は、デザインや建築といった関連業界だけでなく、さまざまな業界において価値のあるスキルセットを持っています。彼らの知識、洞察力、方法論は健康やビジネスなど他の分野でも応用できます。芸術と他分野との関連性を拡大することで、芸術家の将来性を向上させることもできます。したがって、私たちはエコシステムを多様化することによって、成功へのより多くの道を確認し、芸術をクリエイティブ産業にも応用できる新しい方法を見つけようと模索しています。

その戦略のひとつが、芸術産業と政府・商業界のパートナーと結びつけることです。アイデアと才能の異花授粉によって生み出される新しいコラボレーションやビジネスモデルは、クリエイティブ・セクター全体を活性化させます。

⁹文化コミュニティ青年省(2020年)(Ministry of Culture, Community and Youth (2020).)2020年シンガポール文化統計(Singapore Cultural Statistics 2020.)

アデリン・クエ(Adeline Kueh)とヘイゼル・リム(Hazel Lim) (XOX)がベルニナ(BERNINA)社とのコラボレーションでデザインした「ワイルド・シングス(wild things)」は、ネックレス、ユーティリティ・バッグのポケット、大きな猫のプリントで寅年を告げるタグやシッポなど、ステートメントアクセサリーのコレクション。このコラボレーションは、チャン+ホリ・コンテンポラリー(Chan + Hori Contemporary)がキュレーションし、「シンガポール・アート・ウィーク2022(Singapore Art Week 2022)」の期間中にショッピングモール「フナン」にて開催された「クリエイティブな交差点:寅年(Creative Intersections: In the Year of the Tiger)」の一環。

P78, P79

どのように目標に到達すべきか

重要な優先事項

新たなビジネスモデルを築く

デジタル技術の変化もさることながら、人口動態や観客の態度の変化も、芸術のエコシステムに影響を与えています。例えば、デジタル変革の加速によって芸術はより身近なものになっています。デジタルDirect-to-consumerプラットフォームの普及も、従来型メディアやビジネスモデルの常識を覆しています。

この繁栄する芸術産業をさらに発展させるためには、芸術産業が収入源を多様化し、新たな市場にアクセスできるようにすることが極めて重要です。そのためNACは、既存および新たな収益トレンドやモデルを分析し、国内で採用するためのベストプラクティスを特定するために、さまざまなアプローチを研究しています。主な分野としては、シンガポールの知的財産を商業的に発展させるためのマネタイズの方法(映画化権やマーチャндаイジングなど)や、オンライン出版や配信プラットフォームなどのデジタル技術を活用して、芸術の流通と消費を拡大する方法(電子書籍やNFTなど)などが挙げられます。

NACはまた、パートナーとの協力を継続し、文化芸術団体や芸術家と、より大きな文化芸術エコシステムにおけるクリエイターたちとの橋渡しをすべく、革新的なビジネスモデルを育成し、多様な収入ストリームを模索していきます。私たちの目標は、芸術関係者に幅広い機会を提供できるよう、高度にネットワーク化されたクリエイティブ・セクターを構築することです。共同プロジェクトを支援するため、私たちは関連パートナーと共同でプログラムを設計しています。例えば、官民のデザインやメディアセクターにおけるパートナーたちと協力して、異業種間のネットワーキングや、シンガポール文学の映画化などの製品化を推進したいと考えています。

最後に、文化芸術団体の変革とイノベーションを進めるためにも、文化芸術団体との協働をさらに進めていきたいと考えています。NACは、2022年6月に導入された「セクター変革基金」をベースに、文化芸術団体への支援を引き続き拡大することで、効率性を向上させ、新しい芸術の提供や体験を開発し、収益源を拡大し、作品やサービスに対する需要を拡大して制作の規模を拡大する新たな方策を採用します。

「シンガポールを訪れる観光客が、単に食やライフスタイルを通してシンガポールを体験するだけでなく、芸術も楽しんでくれることを期待しています!」

- ジャナ・ロー(Jana Loh)、33歳

アート・アドミニストレーター

組織変革グラントを受けて、シアター・プラクティス(Theatre Practice)は、国内外の芸術家と協力して、デジタル・パフォーマンスとライブストリームの質を高める新しいシステムを開発しました。このデジタル・シアター・ソリューションにより、芸術家たちはデジタル・アート体験を提供する際に直面する技術的なハードルを解決し、より広範な芸術コミュニティのための土壌を形成することができます。

P80, P81

芸術的卓越性の育成

文化芸術分野の成長を牽引するグループは、その卓越した芸術性によって文化芸術分野内外で新たな機会を生み出す人材コアと、多様な専門知識で業界を支える専門家や技術スペシャリストで構成されています。

NACは、文化芸術分野の人材育成に取り組み、成功する機会をもたらすような持続可能なキャリア構築をサポートしています。私たちの人材戦略では、強力な人材コアの構築とリーダーシップの育成に重点を置く予定です。私たちは、新しい人材や中堅の人材がこの分野に参入する道を切り開き、さまざまな分野におけるリーダーを育成します。

文化芸術分野は、幅広いスキルとキャリアパスを持つ多様な職種で構成されています。関係者の少なくとも3分の1は個人事業主であり、キャリアパスと昇進を支援する必要性が高まっています。今後キャリア開発に関する業界レベルのガイダンスを提供していきますが、手始めに芸術教育とテクニカル・シアター・プロダクションという2つのサブセクターにおける芸術のためのスキル・フレームワークの展開に着手する予定です。これらのサブセクターに必要なスキルの包括的ガイドとして、こういったフレームワークは、文化芸術分野での仕事の機会を探している人々や、スキルアップを望む専門家たちにとって貴重なものとなるでしょう。

さらに、高等教育機関(Institutes of Higher Learning, IHLs)や主要産業界のパートナーと協力し、キャリアアップ、技能開発・習得、キャリア移動のための道筋を提供したいと思います。また、さまざまな継続教育および研修プログラムで、既存の人材トレーニングの格差にも対処していきます。例えば、自分のペースで学べるようなモジュール式の学習リソースを開発することで、アーツリソースハブ(Arts Resource Hub, ARH)の学習と能力開発を強化したり、ピアラーニングの機会を提供したり、トレーニングプロバイダーと協力して優先的なスキルセットの新コースを立ち上げることもできます。私たちは、需要の高いデジタル・スキルを雇用前研修に組み込むとともに、芸術系IHLと引き続き協力し、芸術科卒業生がデジタル技術を身につけられるように努力します。また、組織の運営とプロセスをサポートできるテクノロジー・ソリューションをといった共有リソース一式を準備する計画もあります。さらに、テクノロジーの専門家、コンサルタント、サービス・プロバイダーのネットワークを拡大し、文化芸術分野がデジタル化の波に遅れないよう支援したいと思います。

最後に、今後はデータ収集と分析を用いて戦略に反映させていきます。私たちの目標は、キャリアのさまざまな段階を通して芸術関係者を支援し、成功への新たな道筋を見出すことです。例えば、クリエイターの移転可能なスキルを生かし、関連業界でのチャンスを見つける支援をすることなどが挙げられます。

「フレッシュで新進気鋭の芸術家のためにも、より多くの機会が与えられ、参入障壁が取り除かれることを期待しています!」

- シアン・リー (Cyann Lee)、25歳
フルタイム・アーティスト

ロー・イェン・リン (Low Yen Ling) 文化コミュニティ青年省大臣兼通商産業大臣とのエンゲージメント・セッションに参加した芸術に従事する個人事業主 (Self-Employed Persons, SEPs)。セッションでは、芸術に従事する個人事業主の継続的雇用の可能性、キャリアモビリティ、労働条件についてのアイデアを話し合いました。

P82, P83

国際化の機会の拡大

国際化を進めることは、芸術家がより幅広く国外でも認知されることにつながります。海外の市場を探索することで、芸術家や企業に新たな機会を提供しようとしています。

海外に新たな市場を求めるだけでなく、シンガポールをこの地域の重要な文化都市、ハブとして位置づけることで、最高の美術展、パフォーマンス、イベントをシンガポールに誘致することを目指しています。アジアの重要な文化芸術拠点としてのシンガポールという地位をさらに強化するために、会議や見本市など、より多くのソート・リーダーシップ・プラットフォームを特定し、設立したいと考えています。

私たちは、アート・メイキング、アート&テクノロジー、リサーチの分野における能力を強化するために、適切な国際的パートナーとのパートナーシップを強化して参ります。ユネスコ、国際美術館会議、国際アーツ協会・文化機関連盟などの国際的なステークホルダーと協力し、ソートリーダーシップを確立し、この地域における知識と専門性の構築を支援することを目指しています。

「教育や能力開発が今後も優先され、既存および未来のアート・マネージャーや専門家が将来を見据えてスキルアップできることを願っています」

- ベル・ウォン (Belle Wong)、20歳
アート・マネジメント科卒業生

「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」にも織り込まれています。が、シンガポールの芸術家にとって、持続可能な収入源を確保することは特に重要です。インターネットによって国際的な聴衆にリーチすることができるこの時代、シンガポールの芸術家がどのように世界的な地位を築くことができるのか期待しています」

- ダイアナ・カン・リー (Diana Kan Lee)、29歳
女優、テクノロジー起業家

(左から) ロー・エン・ティオン (Low Eng Teong) 当時NAC副CEO、現CEO、エドウィン・トン (Edwin Tong) 文化コミュニティ青少年省大臣兼第二法相、ウテ・メタ・パウアー (Ute Meta Bauer) キュレーター、シュビギ・ラオ (Shubigi Rao) アーティスト、リー・トウン・ジーン (Lee Tung Jean) 文化コミュニティ青年省文化スポーツ担当次官、テイ・トン (Tay Tong) NAC視覚芸術ディレクター。第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 (59th International Art Exhibition of La Biennale di Venezia) のシンガポール・パビリオンにて。

P84

私たちの強固な基盤

マレーダンスのパイオニア、ソム・サイド (Som Said) がホロメッシュ・プロジェクション「ルート: 伝統舞踊の多角的探求 (ROUTES: A Multi-perspective Exploration of Traditional Dance)」にてダンスを披露。シンガポールのスタンフォード・アーツ・センターにて。

P87

変化をもたらすものに注力

芸術内外の関係者と広範に協議を重ねた結果、多くのインサイトが得られました。私たちはパートナーシップ、テクノロジーとイノベーション、そしてデータとインサイトという重要な変革要素に重点を置いています。が、それについては、幅広いコンセンサスが得られました。

パートナーシップ

ここでは、私たちの経済と社会における芸術の価値と影響の拡大に貢献できる、より広範なクリエイティブ・セクターのパートナーの例をいくつか紹介します。

つながりのある社会

地域開発機関
ウェルビーイング
社会セクター代理店
学校

特色ある都市

不動産開発業者
開発機関
開発者
建築事務所
プレイスメイキング機関

クリエイティブエコノミー

ライフスタイル
小売
クリエイティブエージェンシー
高等教育機関
テクノロジー&ゲーム
ホスピタリティ
飲食
金融機関
財団

マヤ・ギャラリーの共同設立者兼ディレクター、マストウラ・シャアリ (Masturah Sha'ari) と語らうアルビン・タン (Alvin Tan) 文化コミュニティ青年省大臣兼通商産業大臣。アンカタン・ペルクス・アネカ・ダヤ (Angkatan Pelukis Aneka Daya) 主催の展覧会「時代を超えた架け橋 (Bridging Through the Age)」にて。

P88, P89

これからも、文化芸術分野を支援するネットワークをさらに広げていきます。私たちは、ビジネス、社会、コミュニティ・セクターとさらにパートナーシップを築き、文化芸術分野を盛り上げるための多様な視点と戦略を得ることを目指しています。

以下の関係者たちと、より緊密に協力したいと考えています。

+ 公的機関 - 「シンガポール・グリーンプラン2030(Singapore Green Plan 2030)」、社会家族開発省(MSF)の「イネープリング・マスタープラン2030(Enabling Masterplan 2030)」、URAの「マスタープラン」など、全国的なマスタープランと芸術部門との足並みを揃えています。

+ より幅広いクリエイティブ・セクターのパートナー - 芸術が付加価値を高める方法について、新たなつながり、相乗効果、アイデアの異花授粉を発見します。これらのパートナーには、芸術家が常識を覆すような新しいデジタル作品を開発するのを支援する企業も含まれます。

例えば、私たちはユナイテッドオーバーシーズ銀行(United Overseas Bank, UOB)、メディアコープ(Mediacorp)、マリーナベイサンズ(Marina Bay Sands)の三者とパートナーシップを結んでいます。

NAC & UOB

2022年10月、NACとUOBは3年間の覚書(MoU)を締結し、「文化芸術団体や芸術家の能力向上」、「アートの観客の増加、UOBの顧客など新たな層への芸術家の露出」、「社会的にプラスの影響を与える芸術プログラム」という3つの主要目標で協力することになりました。

このパートナーシップにおける重要な取り組みのひとつが、「芸術のためのNAC-UOBフィンラボ・アクセラレーション・プログラム(NAC-UOB FinLab Acceleration Programme for the Arts)」であり、文化芸術団体がビジネスおよびデジタル能力を強化することで成長と発展のビジョンを達成できるよう支援しています。2023年3月に開始されたこのプログラムには、文化芸術団体の代表者らが招かれ、業界の専門家から学び、ワークショップやコンサルテーションやデジタルとビジネスのコンピテンシーを構築するためのピアディスカッションに参加するなど、多くの学びを得ることができました。

NAC & メディアコープ

NACはメディアコープと3年間のパートナーシップを締結しました。このパートナーシップでは、芸術とメディアの両分野の新たなオーディエンスを開拓することを目的としています。私たちはマスメディア・チャンネルでコンテンツを共有し、親和性の高いメディア・コンテンツを提供したいと考えています。

また、ネットワーキング・セッションやワークショップといった形で、アートやメディアの専門家同士が交流する機会も増やす予定です。こうした努力が、将来的により幅広いオーディエンスに向けた新鮮なコンテンツを共創するための土台となるでしょう。

NAC & マリーナベイサンズ

NACは、マリーナベイサンズの専門知識、ネットワーク、リソースを活用するため、複数年にわたるパートナーシップを結んで、シンガポールの文化芸術分野を成長させたいと考えています。

コラボレーションの目玉は数々のアートイベントのプログラムです。例えば、マリーナベイサンズは、「シンガポール・アート・ウィーク(Singapore Art Week, SAW) 2023」のアートフェアであるART SGの会場となりました。次回のSAWでは、NACはマリーナベイサンズとの協力関係をさらに拡大し、期間中により多くの活動を計画し、シンガポールを訪れる国内外のゲストを歓迎したいと考えています。さらにNACは、芸術擁護プログラムに向けてマリーナベイサンズと連携し、シンガポールの芸術を国内外に広げたいと考えています。最後に、私たちは芸術とMICEの両分野の共通性を活かして、戦略的な機会を共同で探求することも目指しています。世界有数のコンベンション・展示会場であるマリーナベイサンズは、クリエイティブエコノミーの主要なステークホルダーが一堂に会するアート関連のソート・リーダーシップ・フォーラム、ネットワーキング・セッション、業界イベントの共同開催等において、NACを支援してくれることでしょう。

① NACとUOBの3年間のMOUの一環として、第1回UOB-NACアクセラレーション・プログラムが2023年3月14日から4月4日まで開催された。このプログラムは、文化芸術団体のデジタル、ビジネス、財務能力を強化し、成長と発展のビジョンを達成できるよう支援することを目的としている。

②(左から右)リネット・パン(Lynette Pang) NAC副CEOとメディアコープのアンジェリン・ポー(Angeline Poh) 最高顧客・経営開発部長は、地元の芸術家や文化芸術団体により多くの発表機会や支援を提供し、また異業種間のつながりと芸術専門職の新たな機会を促進することで、芸術・文化コンテンツを有効活用することを目的とした3年間のパートナーシップの調印式に出席した。

③ ART SGは、SAW 2023の一環としてサンズ・エキスポ&コンベンションセンター(Sands Expo & Convention Centre)でデビューしました。2023年から3年間、NACはマリーナベイサンズと提携し、芸術部門にさらなる支援と価値をもたらすコラボレーションを模索しています。マリーナベイサンズでは、芸術作品のインスタレーション、パフォーマンス、その他の芸術関連アクティビティなど、より充実した芸術体験ができます。

クレジット：マリーナベイサンズ

P90

テクノロジーとイノベーション

テクノロジーは、芸術活動、観客動員、芸術プログラムやサービス、さらには文化芸術分野の運営方法にますます影響力を及ぼしています。COVID-19の流行といった外的要因も、文化芸術分野のデジタル化や観客との新しい関わり方への転換をもたらしました。私たちは、テクノロジーの活用方法を探求しながらも、利益を確保しなければなりません。

今後5年間、NACはテクノロジーの探求と導入を実践し、新たな機会の活用を活かし、芸術とテクノロジー間の継続的なイノベーション、学習、コラボレーションを奨励していきます。また、「Arts x Tech Lab 1.0」への皆さまからの関心と成功をもとに、この分野での実験の場をさらに提供して参ります。2023~24年からは、「Performing Arts x Tech」に焦点を当てる予定です。

また、業界全体の技術インフラを開発することによって、芸術業界を支援していきます。その一例が、シンガポールの文化芸術イベントを集約したワンストップ・コンテンツ、イベント一覧、予約プラットフォームの立ち上げです。「Catch」と呼ばれるこのプラットフォームは、ユーザーが今後のプログラムやアクティビティを一目でチェックしたり、好みのイベントを検索して絞り込んだり、チケットを予約したりすることができます。芸術への関心を持続させ、芸術鑑賞を促進することを目的にローンチしました。ユーザーにパーソナライズされたおすすめコンテンツを提供し、文化活動においてターゲットを絞ったマーケティングを実現するツールです。

「Catch」から観客のインサイトを収集し、それを文化セクターの関係者と共有することで、観客をよりよく理解し、関与させ、成長させることができます。小規模な文化芸術団体や芸術家は、自分たちの取り組みを「Catch」から無料で宣伝することができます。

最後に、文化芸術分野が環境の持続可能性にも貢献できるよう、NACは文化芸術分野に応用可能なベストプラクティスを研究し、芸術プロセスや制作における意識と持続可能性をさらに強化したいと考えています。これらのガイドラインを導入することで、より持続可能な慣行を採用するよう、芸術コミュニティ内のイノベーションを促したいと考えています。

①あらゆる芸術と文化に関するパーソナルガイド、「Catch」のホームページのベータ版。ユーザーの好みに合わせたキュレーションリストを提供することで、文化芸術体験がもっと身近になるでしょう。

②第1回の「Arts x Tech Lab 2021」のショーケースにて、Tusitala社は没入型技術を用いた図鑑のデジタル体験のベータ版を発表しました。

P93

データとインサイト

データや実証的なエビデンスは、芸術のために重要なインサイトを提供してくれます。これらを活用することで、私たちの計画や政策をより効果的に影響力のあるように設計することができます。例えば、データは芸術に対する一般の人々の認識、観客の嗜好、国際市場を理解するのに役立ちます。また、私たちが芸術の提唱者になってくれます。芸術が都市生活、健康、教育、コミュニティ形成に与える影響に関するデータは、芸術の公共的価値を証明する強力なエビデンスとなります。また、データを示すことで、政策立案者、資金提供者、そして一般市民が、芸術の多面的な貢献を理解することもできます。

過去4年間、NACは600万ドル以上を投じて「芸術に関する人口調査」や「文化芸術雇用調査」などの調査を委託しています。「シンガポール文化統計」を併せて分析することで、芸術がシンガポール国民に与える影響や、文化芸術分野の状況を評価することができます。私たちは、芸術コミュニティと共有することを目指し、貴重なデータのインサイトを得るための調査とインフラにさらに投資する予定です。

近い将来、芸術に従事する個人事業主(Self-Employed Persons、SEPs)や文化芸術団体を対象とした「データ・インサイト・クリニック(Data Insights Clinics)」の開設を目指しています。このセッションで参加者は、芸術に関する人口調査から、観客層の関心や認識、オンラインおよびオフラインでの芸術への関与のレベルに関する最新の調査結果を知ることができます。このようなインサイトは、さまざまな観客層向けの芸術プログラムを開発する際の指針となります。

今後5年間はさらに多くの資金を投入し、3つの戦略の柱をさらに推進するための研究を行う予定です。「人々、コミュニティ、空間に対する芸術の影響を測定する方法」、「観客を理解し、増やす方法」、「芸術とテクノロジーの最新開発」など、さまざまな研究分野に優先的に取り組む計画です。

デジタル・フィードバック・フォームに記入することで、誰でもアーツプランについての意見を投稿することができます。
クレジット: Island Boys

P94

まとめ

「シンガポール国際芸術祭2023(Singapore International Festival of Arts 2023)」で上演された「インターミッション(Intermission)」は、タイの伝統音楽とコンテンポラリーダンスを組み合わせ、ダンスが持つ社会政治的なパワーを表現しました。

クレジット: Arts House Limited

P96, P97

芸術は私たちみんなのものです。

そして、芸術もまた私たちに恩恵を与えてくれます。

芸術は私たちみんなのものです。観客、参加者、活動家、後援者、パートナー、それがどんな形であっても、私たちは文化芸術分野に貢献し、その活気とエネルギーを高めている一員です。そして、芸術もまた私たちに恩恵を与えてくれます。芸術は私たちの心に触れ、元気づけ、私たち個人およびコミュニティとしてのアイデンティティを根付かせてくれます。また、日常的な環境に刺激を与え、身近な街を象徴的で特徴的なものにしてくれます。私たちは、芸術と文化を大切に保存することで、現在の世代が豊かな人生を送ることができるよう、未来の芸術愛好家やパトロンを育てたいと願っています。

文化芸術分野は、その集団的所有意識が高まれば高まるほど、より豊かで多様なものになります。だからこそ私たちは、芸術へのさらなる幅広い参加と支援を奨励し、その影響を社会全体に広げることを目指しています。

「シンガポールアーツプラン(2023-2027)」は、シンガポール国内外から16,500人を超える芸術内外の関係者の幅広い視点に基づいて策定されています。これらの取り組みにより、今後5年間、パートナー、利害関係者、一般市民とともに計画をさらに共同作成していくための強力な土台が完成しました。

芸術の発展のためのロードマップとして、「シンガポールアーツプラン(2023~2027)」とその3つの戦略の柱は、政策、プログラム、および芸術の卓越性と関与をもたらすパートナーシップの優先事項を形作るものです。

私たちは、つながりのある社会に根ざした特色ある都市とクリエイティブエコノミーという私たちの目標を発展させるために、みなさんがこのプロジェクトに参加することを歓迎します。シンガポールにおける芸術の発展には、集団行動、パートナーシップ、協力が必要であり、その結果、私たち全員が恩恵を享受することになるでしょう。

シルバーアーツ2021(Silver Arts 2021)の一環として行われたマヤ・ダンス・シアター(Maya Dance Theatre)による『Shake a Leg Tea Dance』は、1920年代のノスタルジックな雰囲気と、恋愛やデートの思い出を呼び起こすデジタル・パフォーマンスだった。

クレジット: 10:10 Media Productions

P98

補遺: 成果を積み重ねて

P100, P101

シンガポールアーツプラン(2018～2022)の実績評価

本プランは、NACが芸術コミュニティやシンガポール人たちとともに歩んできた道のりを示すものであり、文化芸術分野を発展させるための指針となります。

3つの戦略の柱

人々を鼓舞する

シンガポールの人々は、優れた芸術を創造し、発表し、鑑賞する権利がある

地域社会をつなぐ

多様なコミュニティが一体となって芸術を楽しみ、支援する

世界におけるシンガポールの地位確立

芸術・文化のアイコンや作品が、国内外の観客や批評家から高く評価されている

8つの戦略的優先事項

- 1.シンガポールの芸術をリードし、擁護するNACの役割を強化
- 2.増大する観客への注力を強める
- 3.文化芸術分野における多様な能力の構築
- 4.フリーランスの芸術家に対するセクター全体での支援
- 5.芸術制作とアウトリーチ活動を向上させるためのテクノロジーの活用
- 6.文化芸術分野における研究の強化
- 7.芸術が社会に与える影響を最大化するためのプログラム・デザインの強化
- 8.シンガポールの芸術を国外へ

ハイフン・プロジェクト(Hyphen Projects)は、ショッピングモールの「デザイン・オーチャード」で「ノン・シーズン(The Non Season)」を発表しました。これはシンガポール政府観光局(Singapore Tourism Board)とNACがギルマン・バラックス、オーチャード・ロード、リトル・インディア、チャイナタウンといった主要地区で委託した一連のビジュアル・アート・インスタレーションとプログラムである「アート・アROUND・ザ・シティ(Art Around The City)」の一環です。「ノン・シーズン」は、メイ・レオン(May Leong)、ベッカ・デュバス(Becca d'Bus)、ボビー・ルオ(Bobby Luo)の3人がキュレーションを担当し、ディーバ・アガー(Diva Agar)やマスリ・マズラン(Masuri Mazlan)といったさまざまな芸術家をフィーチャーしました。

クレジット: Hyphen Projects

P102, P103

1 シンガポールの芸術をリードし、擁護するNACの役割を強化

+ 小規模な文化芸術団体への寄付を奨励する「芸術の持続(Sustain the Arts, stART)基金」を通じて芸術支援を拡大。

+ 助成金や手頃な共有スペースを提供することで芸術インフラを整え、店舗スペースにて文化芸術団体の共同設置を促進。

+ 芸術家やシンガポール政府観光局、人民協会(People's Association)、NParksといった文化機関と協力し、SAWや、シンガポール作家祭(Singapore Writers Festival, SWF)などの最高峰のプラットフォームを企画。

+ 「私たちの文化勲章物語(Our Cultural Medallion Story)」をスタート(文化勲章受章者を称え、その功績を称えることを目的としたザ・アーツハウスでのショーケース)

2 成長する観客への注力を強める

+ 助成金やプログラムを通じ、物理的、デジタル、ハイブリッドなど多様な形式のプログラムを支援し、芸術家やエージェンシーとのパートナーシップによりパブリック・アート作品を委嘱。

+ MOEおよび主要機関と協力し、若い学生たち向けの美術館・芸術ベースの学習プログラムを導入。

+ 伝統芸術の発展を支援し、アウトリーチを拡大するために、スタンフォード・アーツ・センター(Stamford Arts Centre)等の芸術活動スペースを再開発。

+ ArtsInYourNeighbourhoodやシルバー・アーツ(Silver Arts)など、さまざまな観客層に対応したプログラムを提供。

3 文化芸術分野における多様な能力の構築

+ 国内外のレジデンスを支援し、デジタル技術、起業家精神、観客育成などの主要分野のトレーニングを導入。

+ 国立教育研究所(National Institute of Education)とのパートナーシップを継続し、芸術教育者にデジタル・スキルと観客育成スキルを習得させる。

+ シンガポール国際芸術祭やSWFの主催者であるArts House Limitedなど、仲介者たちにも多様な役割を与えた。

+ 学校における芸術教育者の能力を向上させ、芸術分野全般での早期教育を深める。

4 フリーランスの芸術家に対するセクター全体での支援

+ ARHを設立し、芸術に従事する個人事業主に求人ポータル、トレーニングディレクトリ、持続可能な活動のためのコワーキングスペースへのアクセスなどのリソースを提供。

+ 1,400人以上の個人事業主に働きかけ、個人事業主コミュニティ内の仲介能力とリーダーシップを構築しながら、法的・財政的アドバイスを提供する講演会やワークショップを開催。

+ NTUC e2i(雇用適正協会:Employment and Employability Institute)と提携し、芸術・文化セクターのためのバーチャル・キャリアフェアを共同で開催し、200件以上の求人情報を紹介。

+ 個人事業主の能力を開発し、その芸術活動を継続させるため、多様な個人事業主をプロジェクトに参加させた。

①エドウィン・トン(Edwin Tong)文化コミュニティ青年省大臣兼第二法相と、1987年の文化勲章受章者ソム・サイード(Som Said)。ザ・アーツハウスで開催された「私たちの文化勲章物語(Our Cultural Medallion Story)」発表会にて。

②ナショナルギャラリーシンガポール主催、NAC後援による「博物館を活用した学習(Museum Based Learning)(美術)プログラム」の一環として行われた現地ツアーにて、リウ・カン(Liu Kang)の「川辺の生活(Life by the River)」についてファシリテーターの説明を聞く学生たち。
クレジット:ナショナルギャラリーシンガポール

③シンガポール国際芸術祭2022で上演されたエカマトラ・シアターによる「バンサワン・ジェマラ・マラム(Bangsawan Gemala Malam)」は、シェイクスピアの名作『真夏の夜の夢』を、バンサワンオペラやヌサンタラに着想を得て現代風にアレンジしたもの。この作品は、STライフ・シアター・アワード2023で最優秀演出家賞、最優秀衣装賞、最優秀男優賞を受賞しました。

クレジット:Arts House Limited

④2022年9月、ARHコネクツ(ARH Connects)は会場でのセッションを再開し、個人事業主助成金および組織変革グラントの受給者と芸術個人事業主らが一堂に会し、ネットワークを構築し、さまざまなトピックについての意見を共有する場を提供しました。

P104, P105

5 アート制作とアウトリーチ活動を向上させるためのテクノロジーの活用

+ 主要機関と提携し、さまざまなデジタル・ツールにおける業界の能力と専門知識を深める。

+ より多くの場所で観客に芸術体験を提供するため、バスカー向けのEサービス・ポータルを開始。

+ 第1回目の「Arts x Tech Lab 2021」に向けて、8カ月間にわたり10件のプロジェクトをインキュベート。芸術的実践を再考し、観客の参加を促す創造的なテクノロジーの活用を探索。

+ 観客が文化芸術イベントを検索できるワンストップ・デジタル・プラットフォームを開発。

6 文化芸術分野における研究の強化

+ 観客とその消費パターンについての理解を深めるために、様々な芸術形態に特化した調査を委託。

+ 芸術文化研究シンポジウムを開催し、研究者や芸術家のネットワークやコミュニティを形成。

+ 月刊の研究ニュースレターを発行。また、文化社会青少年省の一部門であるカルチャーアカデミー(Culture Academy)と協力し、芸術コミュニティの活動を支援するために必要な情報を提供。

+ シンガポール・オンライン・アーツ・リポジトリ(Singapore Online Arts Repository)を通じて、著名な芸術家の紹介や美術史の記録など、リサーチやドキュメンテーションの取り組みを強化。

7 芸術が社会に与える影響を最大化するためのプログラム・デザインの強化

+ 新たに「アート・アンド・カルチャー・ノード(Art and Culture Nodes)」を設立し、十分な支援が行き届いていない地域社会を含む、より広範な地域社会を巻き込むためのパートナーシップを強化。「ウィークケアアーツ(WeCare Arts)」等の取り組み等が挙げられる。

+ 初等・中等教育家庭と芸術をよりよく統合することを目指し、NAC芸術教育プログラムを見直し。

+ コミュニティ・エンゲージメントに関するケース・スタディ、ビフレンダーズ・アーツ・ツールキット(Befrienders Arts Toolkit)、芸術コミュニティのベスト・プラクティスを紹介するリソースを出版。

+ ボランティアやコミュニティ・ネットワークとのパートナーシップを拡大・浸透させ、支援が行き届いていないコミュニティにアクセスし、芸術体験を通じて人々の生活を豊かにする。

8 シンガポールの芸術を国外へ

+ ヴェネチア・ビエンナーレのシンガポール・パビリオンなど、主要な国際的プラットフォームにおいて、著名な芸術家に委嘱し、その作品を紹介。

+ オーストラリア・カウンシル(Australia Council for the Arts)、ブリティッシュ・カウンシル(British Council)、アーツカウンシル・コリア(Arts Council Korea)、在シンガポールフランス大使館との国際的パートナーシップやMoUを通じて、アーティスト間の文化交流を促進。

+ エジンバラ国際文化サミット(Edinburgh International Culture Summit)、ユネスコ(UNESCO)、国際アーツカウンシル・エージェンシー連盟(International Federation of Arts Councils and Culture Agencies)が主催するプラットフォームにて、シンガポールの文化政策におけるソートリーダーシップを紹介。

+ キュンストラハウス・ベタニエン・レジデンシー(Künstlerhaus Bethanien Residency)、NAC- METインターナショナル・アーティスト・レジデンシー(NAC- MET International Artist Residency)、セメティ・芸術社会研究所インターナショナル・レジデンシー(International Residency at Cemeti Institute for Art and Society)などのレジデンシーを通じ、芸術家が東南アジアやヨーロッパの一流文化都市で活動を深め、ネットワークを広げることを支援。

①第1回の「Arts x Tech Lab 2021」のショーケースにて、バーチャルリアリティを体験する来場者たち。

② 毎年開催される「芸術文化研究シンポジウム(Arts and Culture Research Symposium)」は、芸術研究の多様性を認識させ、芸術活動家と研究者がアイデアを議論する場となっています。
クレジット: Institute of Policy Studies

③NACのネットワークである「アート・アンド・カルチャー・ノード(Arts and Culture Nodes)」のひとつであるコミュニティセンター「アウ・タンピネス・ハブ(Our Tampines Hub)」で開催された「ロアの才能(Roar Talents)」。
クレジット:Yu Khing Po

④マルク・アベンスール(Marc Abensour)元在シンガポールフランス大使
ローザ・ダニエル(Rosa Daniel)前NAC CEO。2022年のMoU調印式では、文化芸術機関による視覚芸術、文学、舞台芸術の分野における二国間のアーティスト・イン・レジデンス・プログラムの創設を支援することで合意しました。

P106, P107

COVID-19の流行における文化芸術分野への支援

2020年～2021年にかけてのCOVID-19の流行中、芸術は人々に希望の灯をともしために不可欠な役割を果たしてくれました。NACの継続的な取り組みに加え、芸術文化レジリエンスパッケージ(Arts Culture Resilience Package, ACRP)を通じて、総額7,500万ドルが拠出され、芸術・遺産セクターの支援を継続して参りました。これらの取り組みには以下が含まれます：

+ ACRP運営助成金、会場使用料助成金、レンタル料免除などを活用して、生活費用の維持、人材の確保、運営費の負担軽減に取り組む。

+ 「芸術のための能力開発スキーム(Capabilities Development Scheme for the Arts, CDSA)」を通じて、芸術家をスキルアップさせ、ニューノーマルの時代に対応できるスキルを身につけさせる。

+ デジタル・プレゼンテーション助成金(Digital Presentation Grant, DPG)、委託業務、パートナーシップ等を通じてデジタル化への取り組みを支援・強化し、人々がいつでもどこでも文化芸術を楽しむことができるようにする。

+ 組織変革グラント(Organisation Transformation Grant, OTG)と個人事業主助成金(Self-Employed Person Grant, SEPG)を通して、COVID-19の流行後の復興に向けてセクターの地位を確立する。

2022年3月現在、ACRPの支援を通じて。

+ 240以上の芸術、遺産、クリエイティブ団体が、ACRP運営助成金の恩恵を受けた。

+ 能力開発、デジタル化への取り組み、個人事業主主導のプロジェクト、NACからの委託事業等により、文化芸術団体や芸術家に18,000件以上の雇用および研修の機会が創出された。

+ デジタル化ファンド(Digitalisation Fund)、DPG、CDSA、SEPG、OTGといった取り組みを通じて2,300件以上のプロジェクトを支援。

+ 芸術家や文化施設が制作した新しいデジタル・アート・プログラムを取り上げた「#SGCultureAnywhere」の開始以来、4,400万回以上の視聴が達成。キャンペーンの一環として、私たちは主要パートナー15社と協力し、コンテンツの委託制作と運営を行った。

① 芸術文化レジリエンスパッケージ(Arts and Culture Resilience Package, ACRP)の支援を受けて開催された「ストリート・オブ・ホープ(Streets of Hope)」は、シビック地区の通り沿いで開催されたシンガポールの芸術家のイベントとしては初めての試みであり、最大規模のイベントとなりました。シンガポールの芸術家367人によるオリジナル・アート作品が展示されました。かつて経験したことがないような時間を共有することで、シンガポール人たちの気持ちを高めました。

② 組織変革グラントの支援を受けて、ダンスカンパニーの「スリワナ(Sriwana)」は新しいデジタルの可能性を模索し、変化する聴衆の嗜好や需要に対応するため、物理的、デジタル、ハイブリッドといったさまざまなプラットフォームでプログラムを刷新しました。

P108

QRコードをスキャンして、「シンガポールアーツプラン(2023～2027)」にアクセス

ウェブサイト：

独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業

シンガポールにおける
文化芸術活動に対する支援をはじめとする
文化振興方策等に関する実態調査

報告書 別冊

令和6年5月
Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.